

令和 2 年 6 月 10 日現在

機関番号：82401

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05897

研究課題名（和文）「リポクオリティ」領域研究の推進

研究課題名（英文）Steering group for the LipoQuality program project

研究代表者

有田 誠（ARITA, Makoto）

国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・チームリーダー

研究者番号：80292952

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 200,500,000円

研究成果の概要（和文）：多様性に基づく脂質クオリティの生物学的意義の解明を目指し、総括班では脂質研究をサポートする5つの研究支援センターを設置し、全体で共有することで効率的な研究を展開すると共に、脂質研究の経験が少ない班員の研究をサポートし、より広い視野からの研究を推進した。とくに最先端リポミクス解析拠点は、最新の分析・情報処理技術の開発を進め、領域全体に大きく貢献した。さらに、研究者相互の交流を目指した領域会議の運営、ホームページ、脂質データベース、ニュースレター、国際シンポジウム、若手ワークショップなどにより本領域の学術的進展を積極的に公開し、リポクオリティ研究の裾野を広げる活動を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

脂質分子の質的違い（リポクオリティの違い）に注目する研究は黎明期にあり、世界的に見ても個々の研究者が個別の研究を進めている状況であった。本総括班の形成によりもたらされた成果は、脂質の構造多様性を読み解くための革新的な分析・可視化技術を軸に、脂質分子種の多様性の生物学的意義についての学術的理解を与え、次世代のライフイノベーション研究に独創的な波及効果をもたらすことが期待される。

研究成果の概要（英文）：To understand the importance of Lipid Quality (LipoQuality) in biological systems, we developed a steering group including 5 research support centers that help to promote the LipoQuality program project efficiently by sharing methods, technologies and resources for all members including those who had little experience in lipid biology research. Especially the advanced lipidomics platform played important roles by developing the cutting-edge analytical technologies and bioinformatics to accelerate the whole program. Moreover, we organized annual project meetings, homepage, lipid database, newsletters, international symposia, workshop for young scientists, to prevail our research concept and achievements of this program project.

研究分野：脂質生化学

キーワード：研究支援センター 領域事務局 脂質データベース 広報活動

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

従来の生命科学における脂質研究は、脂質の「量」(クオンティティ)を重視して行われてきたが、脂質には非常に多くの種類が存在する。例えば、脂肪酸は飽和と不飽和に分類され、さらに後者は二重結合の数によりモノ不飽和と多価不飽和脂肪酸に分類される。また、多価不飽和脂肪酸は分子内の二重結合の位置により 6、3 脂肪酸に分類される。このように生体内の脂質は、脂肪酸だけを見ても構造的にヘテロな分子群で構成されるため、分子集合体としてのみならず単一の脂質分子ごとに識別し、機能との連関を明らかにする必要がある。本研究では、脂質分子の質的違いを「リポクオリティ」と捉え、リポクオリティの多様性が果たす生物学的意義の解明を目指した。

リポクオリティは脂質の三大機能に大きな影響を与える。リン脂質のクオリティは、生体膜の流動性や細胞内小胞輸送、ラッフリング膜の形成、オートファジーなどに見られる膜のダイナミックな動きを制御するのみならず、受容体やチャネルなどの膜タンパク質の機能を制御する。脂肪滴の中性脂質クオリティはエネルギー代謝に影響を及ぼす。また、時空間的にリン脂質から酵素的に切り出された多価不飽和脂肪酸は脂質メディエーターに変換され、シグナル分子として多様な生命現象を制御する。さらに、免疫や血管形成などの調節に関わるリゾリン脂質メディエーターにおいては、極性基や脂肪酸種の多様性がその生理活性を規定する上でも重要なリポクオリティ要素である。しかしながら、リポクオリティを明確に区別する解析技術は未だに整備途上にあり、リポクオリティを識別する分子機構やその生物学的意義に関する理解はまさに萌芽的な段階にあった。脂質多様性の意義が明らかになりつつある今こそ、リポクオリティを基軸とした生命現象の理解を目指す新たな学術重点領域を立ち上げる必要があると考えた。

研究開始当初は、脂質分子の質的違い(リポクオリティの違い)に注目する研究は黎明期にあり、世界的に見ても個々の研究者が個別の研究を進めている状況であった。本領域の戦略は、この新しい概念を軸にして多様な専門性を持つ研究者が集結してスケールメリットを得ることで、新しい学術研究を多元的かつ効率的に展開することであり、総括班が管制塔として有機的な結合を促すことで、密度の濃い共同研究を展開することが期待された。

### 2. 研究の目的

近年の質量分析技術の進歩は脂質分子の高感度測定を可能にし、10万分子種を超える脂質の質的多様性が推定されている。しかしながら、多様性に基づく脂質クオリティ(リポクオリティ)の生物学的意義については未知の部分が多い。そこで本領域では、個々の研究室が培ってきた英知を集結し、All Japanの研究体制を構築することで、生命現象におけるリポクオリティの役割を明らかにすることを目的とした。具体的には、リポクオリティの違いを明確に区別できる脂質の一斉分析システムを構築し、リポクオリティの人為的操作を通じて脂質の多様性や不均一性の重要性を明らかにする。さらに、リポクオリティの違いを識別する標的分子の実体とその作用機序を解明し、リポクオリティの生体恒常性維持における役割と疾患発症における意義に迫る。以上より、複数の学問領域を跨ぐ基盤プラットフォームとして本総括班を機能させ、リポクオリティの解析技術と知識の普及を図る。

総括班では、脂質研究をサポートする複数の研究支援センターを領域内に構築し、計画班員・公募班員で共有することで、経済的・時間的に効率的な研究を展開すると共に、脂質研究の経験が少ない班員の研究をサポートし、より広い視野、バイオリソースからのリポクオリティ研究を全国規模で展開する。さらにホームページや公開シンポジウム、ニュースレターの発行を通じて、研究成果や実験プロトコルの公開を積極的に行い、リポクオリティ研究の裾野を大きく広げ

ることにも貢献する。

### 3. 研究の方法

理化学研究所生命医科学研究センター（理研 IMS）内に領域事務所を設立する。計画班員が既に整備している基盤技術をさらに発展させ、総括班内にリポクオリティ研究支援センター（質量分析センター、脂質イメージングセンター、膜機能解析センター、脂質データベース、臨床検体センター）を設置し、備品や研究補佐員を充填することにより、その円滑かつ有機的な推進をサポートする。脂質の機能解明に意欲的な公募班員を選定し、特に脂質研究の経験に乏しい公募班員に対して積極的な研究サポートを行い脂質の研究手法の普及をはかると共に、計画班員だけではカバーできない研究の視点や研究手法の斬新さ、リポクオリティ研究への情熱を重視して、新しい研究領域を開拓する。これにより、特に多様性に基づく脂質クオリティの生物学的意義の解明、および新規生理活性脂質の同定を通じて、脂質研究領域のさらなる拡大が期待される。ホームページ上で「脂質研究実験法(プロトコル)」「領域研究者紹介」「研究成果」「掲示板」「共有リソース(化合物、遺伝子、抗体、遺伝子改変マウスなど)」「脂質データベース」を計画班員・公募班員または一般向けに公開して効率的な研究者間の情報交換を推進する。年1回の領域班会議、若手研究者による「若手研究発表会」、5年間で2回の国際シンポジウムを開催すると共に、年1回の「リポクオリティ・ニュースレター」の発行を通じて、研究内容と研究成果の公知を図り、若手研究者の啓発を積極的に推進する。

### 4. 研究成果

リポクオリティ領域全体の円滑な研究活動を支援するため、総括班として以下の活動を行った。

#### (1) 領域事務運営

領域事務局を理研 IMS 内に設置した。また、領域のホームページ (<https://sites.google.com/site/lipoqualityjpn/>) を開設し、領域概要、領域研究者紹介、研究内容紹介、研究成果、脂質研究実験法、脂質データベース、共有リソース、掲示板、などの項目を整備した。計画班に加えて公募班（前期 20 班・後期 16 班）を加えた領域ホームページの整備および領域メイリングリストなど相互の連絡体制を整えた。

#### (2) 研究支援センターの整備と利用

##### 【質量分析センター】

（有田班）理研 IMS 内にノンターゲット解析用の Q-TOF 型質量分析機器を導入し、従来のターゲット解析と組み合わせてリポクオリティ領域研究の進展に大きく貢献した。脂肪酸代謝物、リン脂質、リゾリン脂質、トリグリセリドなど、より広範囲の脂質分子種について化合物ライブラリーとデータベースを整備し、客観性と網羅性の高い分析を実現し、リポクオリティの違いを明確に識別できる質量分析ハブ機関として数多くの論文発表を行った。また、領域内外の研究者に対してリポドミクス講習会を行った。さらにシンガポール大学 SLING など海外のリポドミクス拠点との連携や、Lipidomics-Standards-Initiative (LSI)、LIPIDMAPS など国際コンソーシアムとの連携を深めた。

（佐々木班）イノシトールリン脂質を中心とした微量リン脂質のターゲット解析システムを運用し、さらに位置異性体の個別解析法と集約解析法を領域内外の研究者に提供した。

##### 【脂質イメージングセンター】

（藤本班）膜脂質分布を定量的に可視化する電顕解析（急速凍結・凍結切断レプリカ標識法）によりイノシトールリン脂質可視化解析法やホスファチジルセリンのナノレベル分布を可視化解析する方法を確立し、論文発表を行った。

(瀬藤班)質量顕微鏡を用いた解析から、各種リン脂質やコレステリルエステルに加え、遊離脂肪酸や従来の手法では測定出来ていなかったエイコサノイド類の組織分解能レベルでの解析に成功した。また、イメージングデータ解析に機械学習的手法を導入する事で、イメージングデータの半自動解析法を確立した。また、マウス脳の分子分布パターンの分類情報をその分子分布イメージ像と共にリポクオリティ・データベースに提供した。

#### 【膜機能解析センター】

(反町班)ホスファチジルセリン (evection-2 PH)、スフィンゴミエリン (Equ11) 結合プローブなど領域研究者により開発された膜ドメイン解析用ツールの領域内共有を促進するため、脂質プローブの利用サポート、脂質ドメイン解析用のモデル細胞の樹立を行った。さらに、個体レベルおよび初代培養細胞において細胞内スフィンゴミエリンを検出するためのツールとして、蛍光標識Equ11を誘導性に発現するトランスジェニックマウスを樹立した。

(岡村班)アンプとAD取り込み装置とテフロン流路による急速還流装置を用いて脂質作用検出イオン電流計測システムを運用した。膜電位プローブMerm2を発現させた貪食細胞の安定株を複製し、膜電位変化にともなう蛍光信号の取得に成功した。イノシトールリン脂質PIP2のレベルを短時間で変更する分子ツールVSPの活性を向上させて、従来の2.5倍の効率で減少できるツールeVSPの改良に成功し、論文を発表した。

#### 【脂質データベース】

(有田班)ノンターゲット解析から得られた質量分析ビッグデータの情報処理技術 (MS-DIAL4) を開発した結果、既存の研究に比べおよそ 10 倍に上る約 8,000 種の脂質分子構造の存在が明らかになり、脂質構造の多様性を捉えることが可能になった (論文発表)。さらに、スプレットシート形式で記録された脂質の生体サンプル、分子クラス情報、定量値を元データとし、これに対してウェブ上のインターフェースから検索をかけて結果をグラフィカルに表示するシステムを構築し、得られた脂質分子の構造・分布・定量情報を集めたりポクオリティ・データベースを公開した (<http://lipidbank.jp/wiki/Lipoquality:Database>)。

#### 【臨床検体センター】

(矢富班)ヒトサンプルの保管、調整する体制を整え、倫理委員会の承認の下、血清、血漿、リポ蛋白、髄液、尿、ヒト手術検体 (肝臓、食道、大腸。癌部および正常部) の臨床検体を収集し、領域内に提供し、多くの研究成果を生み出した。

(本田班)慢性炎症性皮膚疾患である尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎に主に着目し、皮膚組織検体、血清などの臨床検体採取を行い、領域内に提供した。

#### (3) 国際会議、班会議の開催

総括班会議 (7 回)、領域班会議 (5 回)、国際シンポジウム (2 回)、国際ワークショップ (1 回)、若手ワークショップ (1 回)、および最終年度に第 60 回国際脂質生物学会議 (ICBL2019) を主催した。また、計 5 回のニュースレターを発行し、ホームページ上の業績を更新することにより、研究内容と成果の公知を図った。

#### (4) その他

共催シンポジウム開催 (国内 10 件、国際 1 件)、脂質クオリティ総説集刊行 (2 冊)

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計498件（うち査読付論文 357件 / うち国際共著 95件 / うちオープンアクセス 184件）

1. 著者名 内野春希、津川裕司、有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 リポクオリティの違いを捉えるノンターゲット脂質解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ（医歯薬出版）	6. 最初と最後の頁 1238-1244
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮田純、福永興彦、有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 アレルギー疾患における好酸球の脂肪酸代謝異常	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ（医歯薬出版）	6. 最初と最後の頁 1008-1014
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 3 脂肪酸クオリティによる疾患制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ（医歯薬出版）	6. 最初と最後の頁 967-970
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 269
2. 論文標題 脂質クオリティ研究の基礎と臨床（企画・編集）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ（医歯薬出版）	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安田稔、岡橋伸幸、上田政宏、有田誠	4. 巻 30
2. 論文標題 腸内細菌のリポキオリティと生体制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 393-399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 30
2. 論文標題 脂肪酸クオリティによる炎症の制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 355-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 30
2. 論文標題 生体制御にかかわる多彩なりポクオリティ 基礎から病態まで (企画・編集)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyata Jun, Fukunaga Koichi, Kawashima Yusuke, Ohara Osamu, Arita Makoto	4. 巻 69
2. 論文標題 Cysteinyl leukotriene metabolism of human eosinophils in allergic disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Allergology International	6. 最初と最後の頁 28 ~ 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2019.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Tomoaki, Yoshida Mio, Arita Makoto	4. 巻 31
2. 論文標題 Omega-3 fatty acid-derived mediators that control inflammation and tissue homeostasis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 559 ~ 567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lipidomics Standards Initiative Consortium	4. 巻 1
2. 論文標題 Lipidomics needs more standardization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Metabolism	6. 最初と最後の頁 745 ~ 747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42255-019-0094-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsubawa Hiroshi, Satoh Aya, Uchino Haruki, Cajka Tomas, Arita Makoto, Arita Masanori	4. 巻 9
2. 論文標題 Mass Spectrometry Data Repository Enhances Novel Metabolite Discoveries with Advances in Computational Metabolomics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 119 ~ 119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9060119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyata Jun, Fukunaga Koichi, Kawashima Yusuke, Watanabe Takashi, Saitoh Akina, Hirosaki Tomomi, Araki Yasutomo, Kikawada Toru, Betsuyaku Tomoko, Ohara Osamu, Arita Makoto	4. 巻 74
2. 論文標題 Dysregulated fatty acid metabolism in nasal polyp-derived eosinophils from patients with chronic rhinosinusitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1113 ~ 1124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13726	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Tomohito, Horikawa Makoto, Takei Shiro, Yamazaki Fumiyoshi, Ito Takashi K., Kondo Takeshi, Sakurai Takanobu, Kahyo Tomoaki, Ikegami Koji, Sato Shumpei, Sato Ryota, Jinno Yasutaka, Kawano Hiroyuki, Naoe Satoko, Arita Makoto, Kashiwagi Yukiyasu, Setou Mitsutoshi	4. 巻 39
2. 論文標題 Preferential Incorporation of Administered Eicosapentaenoic Acid Into Thin-Cap Atherosclerotic Plaques	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	6. 最初と最後の頁 1802 ~ 1816
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.119.313093	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyamoto J, Igarashi M, Watanabe K, Karaki S, Mukouyama H, Kishino S, Li X, Ichimura A, Irie J, Sugimoto Y, Mizutani T, Sugawara T, Miki T, Ogawa J, Drucker D, Arita M, Itoh H, Kimura I.	4. 巻 10
2. 論文標題 Gut microbiota confers host resistance to obesity by metabolizing dietary polyunsaturated fatty acids	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 4007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11978-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Utsunomiya A, Chino T, Utsunomiya N, Luong VH, Tokuriki A, Naganuma T, Arita M, Higashi K, Saito K, Suzuki N, Ohara A, Sugai M, Sugawara K, Tsuruta D, Oyama N, Hasegawa M.	4. 巻 140
2. 論文標題 Homeostatic Function of Dermokine in the Skin Barrier and Inflammation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Investigative Dermatology	6. 最初と最後の頁 838 ~ 849.e9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jid.2019.09.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoe Satoko, Tsugawa Hiroshi, Takahashi Mikiko, Ikeda Kazutaka, Arita Makoto	4. 巻 9
2. 論文標題 Characterization of Lipid Profiles after Dietary Intake of Polyunsaturated Fatty Acids Using Integrated Untargeted and Targeted Lipidomics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 241 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9100241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawane K, Nagatake T, Hosomi K, Hirata S, Adachi J, Abe Y, Isoyama J, Suzuki H, Matsunaga A, Fukumitsu S, Aida K, Tomonaga T, Arita M, Kunisawa J.	4. 巻 11
2. 論文標題 Dietary Omega-3 Fatty Acid Dampens Allergic Rhinitis via Eosinophilic Production of the Anti-Allergic Lipid Mediator 15-Hydroxyeicosapentaenoic Acid in Mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 2868 ~ 2868
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu11122868	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakashima Y, Sakai Y, Mizuno Y, Furuno K, Hirono K, Takatsuki S, Suzuki H, Onouchi Y, Kobayashi T, Tanabe K, Hamase K, Miyamoto T, Aoyagi R, Arita M, Yamamura K, Tanaka T, Nishio H, Takada H, Ohga S, Hara T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Lipidomics links oxidized phosphatidylcholines and coronary arteritis in Kawasaki disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cardiovascular Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cvr/cvz305	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H, Ikeda K, Takahashi M, Satoh A, Mori Y, Uchino H, Okahashi N, Yamada Y, Tada I, Bonini P, Higashi Y, Okazaki Y, Zhou Z, Zhu Z, Koelmel J, Cajka T, Fiehn O, Saito K, Arita M, Arita M.	4. 巻 in press
2. 論文標題 A lipidome atlas in MS-DIAL 4.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Biotechnology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41587-020-0531-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura I, Miyamoto J, Ohue-Kitano R, Watanabe K, Yamada T, Onuki M, Aoki R, Isobe Y, Kashihara D, Inoue D, Inaba A, Takamura Y, Taira S, Kumaki S, Watanabe M, Ito M, Nakagawa F, Irie J, Kakuta H, Shinohara M, Iwatsuki K, Tsujimoto G, Ohno H, Arita M, Itoh H, Hase K.	4. 巻 367
2. 論文標題 Maternal gut microbiota in pregnancy influences offspring metabolic phenotype in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 eaaw8429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aaw8429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita Masao, Saito Shun, Shinohara Riku, Aoyagi Ryohei, Arita Makoto, Kobayashi Yuichi	4. 巻 31
2. 論文標題 Synthesis of Phosphatidylcholines Possessing Functionalized Acids at sn-2, and 13C-14N and 13C-31P Couplings in Their 13C NMR Spectra	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Synlett	6. 最初と最後の頁 718-722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0039-1691584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirata SI, Nagatake T, Sawane K, Hosomi K, Honda T, Ono S, Ikeda K, Aoyagi R, Adachi J, Abe Y, Ioyama J, Suzuki H, Tomonaga T, Kiyono H, Kabashima K, Arita M, Kunisawa J.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Maternal 3 docosapentaenoic acid inhibits infant allergic dermatitis through TRAIL expressing plasmacytoid dendritic cells in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.14217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shishikura Kyosuke, Kuroha Sayoko, Matsueda Shinnosuke, Iseki Hachiro, Matsui Takeshi, Inoue Azusa, Arita Makoto	4. 巻 33
2. 論文標題 Acyl-CoA synthetase 6 regulates long-chain polyunsaturated fatty acid composition of membrane phospholipids in spermatids and supports normal spermatogenic processes in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 14194 ~ 14203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901074R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyoda Y., Morimoto, Suno, Horita, Yamashita, Hirata, Sekiguchi, Yasuda, Shiroishi, Shimizu, Urushibata, Kajiwara, Inazumi, Hotta, Asada, Nakane, Shiimura, Nakagita, Tsuge, Yoshida, Kuribara, Hosoya, Sugimoto, Nomura, Sato, Hirokawa, Kinoshita, Murata, Takayama, Yamamoto, Narumiya, Iwata, Kobayashi, T	4. 巻 15
2. 論文標題 Ligand binding to human prostaglandin E receptor EP4 at the lipid-bilayer interface	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 18-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41589-018-0131-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitadate, Y., Jrg, D.J., Tokue, M., Maruyama, A., Ichikawa, R., Tsuchiya, S., Segi-Nishida, E., Nakagawa, T., Uchida, A., Kimura-Yoshida, C., Mizuno, S., Sugiyama, F., Azami, T., Ema, M., Noda, C., Kobayashi, S., Matsuo, I., Kanai, Y., Nagasawa, T., Sugimoto, Y., Takahashi, S., Simons, B.D., and Yoshida, S.	4. 巻 24
2. 論文標題 Competition for mitogens regulates spermatogenic stem cell homeostasis in an open niche.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell	6. 最初と最後の頁 79-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2018.11.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Muraoka N, Nara K, Tamura F, Kojima H, Yamakawa H, Sadahiro T, Miyamoto K, Isomi M, Haginiwa S, Tani H, Kurotsu S, Osakabe R, Torii S, Shimizu S, Okano H, Sugimoto Y, Fukuda K, Ieda M.	4. 巻 10
2. 論文標題 Role of cyclooxygenase-2/prostaglandin E2/prostaglandin E receptor 4 signaling in cardiac reprogramming	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08626-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki R, Tsuge K, Kishimoto K, Hayashi Y, Iwaana T, Hohjoh H, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Essential role of prostaglandin E2 and the EP3 receptor in lymphatic vessel development during zebrafish embryogenesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-44095-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuge K, Inazumi T, Shimamoto A, Sugimoto Y.	4. 巻 31
2. 論文標題 Molecular mechanisms underlying prostaglandin E2-exacerbated inflammation and immune diseases	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 597-606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxz021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai K, Dainichi T, Garcet S, Tsuchiya S, Yamamoto Y, Kitoh A, Honda T, Nomura T, Egawa G, Otsuka A, Nakajima S, Matsumoto R, Nakano Y, Otsuka M, Iwakura Y, Grinberg-Bleyer Y, Ghosh S, Sugimoto Y, Guttman-Yassky E, Krueger JG, Kabashima K.	4. 巻 144
2. 論文標題 Cutaneous p38 MAPK 1 activation triggers psoriatic dermatitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1036-1049
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2019.06.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M, Takayanagi Y, Ichino-Yamashita A, Sato K, Sugimoto Y, Kimura T, Nishimori K.	4. 巻 160
2. 論文標題 Functional hierarchy of uterotonics required for successful parturition in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Endocrinology	6. 最初と最後の頁 2800-2810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/en.2019-00499	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara E, Nagaoka Y, Okuno T, Ishigami-Yuasa M, Kagechika H, Terai S, Yokomizo T, Sugimoto Y, Fujita Y, Suzuki A, Nishina H.	4. 巻 25
2. 論文標題 Prostaglandin E2 and its receptor EP2 trigger signaling that contributes to YAP-mediated cell competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 197-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Razali N, Hohjoh H, Inazumi T, Maharjan BD, Nakagawa K, Konishi M, Sugimoto Y, Hasegawa H.	4. 巻 43
2. 論文標題 Induced prostanoid synthesis regulates the balance between Th1- and Th2-producing inflammatory cytokines in the thymus of diet-restricted mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biological and Pharmaceutical Bulletin	6. 最初と最後の頁 649-662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1248/bpb.b19-00838	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Y, Taniguchi T, Inazumi T, Iwamura R, Yoneda K, Odani-Kawabata N, Matsugi T, Sugimoto Y, Shams NK.	4. 巻 36
2. 論文標題 Effects of the selective EP2 receptor agonist omidenepag on adipocyte differentiation in 3T3-L1 cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics	6. 最初と最後の頁 162-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/jop.2019.0079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 269 (1)
2. 論文標題 シクロオキシゲナーゼ経路によるリポクオリティ認識	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1002-1007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦	4. 巻 73 (13)
2. 論文標題 プロスタグランジンD2レセプターのシグナル伝達	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科 (科学評論社)	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M	4. 巻 1864
2. 論文標題 Novel functions of Phospholipase A2s: Overview	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta - Molecular and Cell Biology of Lipids	6. 最初と最後の頁 763-765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2019.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Miki Y, Sato H, Murase R, Taketomi Y, Yamamoto K.	4. 巻 1864
2. 論文標題 Group IID, IIE, IIF and III secreted phospholipase A2s	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta - Molecular and Cell Biology of Lipids	6. 最初と最後の頁 803-818
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2018.08.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi T, Murakami M, Kihara A.	4. 巻 1864
2. 論文標題 The role of PNPLA1 in -O-acylceramide synthesis and skin barrier function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta - Molecular and Cell Biology of Lipids	6. 最初と最後の頁 869-879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2018.09.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori A, Hatano T, Inoshita T, Shiba-Fukushima K, Koinuma T, Meng H, Kubo SI, Spratt S, Cui C, Yamashita C, Miki Y, Yamamoto K, Hirabayashi T, Murakami M, Takahashi Y, Shindou H, Nonaka T, Hasegawa M, Okuzumi A, Imai Y, Hattori N.	4. 巻 116
2. 論文標題 Parkinson 's disease-associated iPLA2-VIA/PLA2G6 regulates neuronal functions and a-synuclein stability through membrane remodeling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 20689-20699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1902958116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jin F, Li X, Deng Y, Timilshina M, Huang B, Kim DY, Chang JH, Ichinose H, Baek SH, Murakami M, Lee YJ, Chang HW.	4. 巻 74
2. 論文標題 The orphan nuclear receptor NR4A1 promotes Fc RI-stimulated mast cell activation and anaphylaxis by counteracting the inhibitory LKB1/AMPK axis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1145-1156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato H, Taketomi Y, Miki Y, Murase R, Yamamoto K, Murakami M.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Secreted phospholipase PLA2G2D contributes to metabolic health by mobilizing omega3 polyunsaturated fatty acids in WAT	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤弘泰、村上誠	4. 巻 30 (2)
2. 論文標題 脂質メディエーターとイムノメタボリズム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 61-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 37 (7)
2. 論文標題 脂質メディエーターが繋ぐ臓器連関と動的恒常性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 149-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武富芳隆、村上誠	4. 巻 37 (10)
2. 論文標題 脂質メディエーターとアレルギー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 88-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上誠	4. 巻 269 (13)
2. 論文標題 ホスホリパーゼA2 による代謝と疾患の制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1024-1028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋中雄太、村上誠	4. 巻 270 (5)
2. 論文標題 リビドミクスから見えてきた酸化脂肪酸によるマスト細胞の制御機構	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 401-407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamata, M Amano, H Ito, Y Fujita, T Otaka, F Hosono, K Kamata, K Takeuchi, Y Yokomizo, T Shimizu, T Majima, M	4. 巻 14
2. 論文標題 Role of the high-affinity leukotriene B4 receptor signaling in fibrosis after unilateral ureteral obstruction in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0202842
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0202842	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamada, K Nakajima, S Ogawa, N Inada, M Shibasaki, H Sato, A Takasawa, R Yoshimori, A Suzuki, Y Watanabe, N Oyama, T Abe, H Inoue, S Abe, T Yokomizo, T Tanuma, S	4. 巻 511
2. 論文標題 Papaverine identified as an inhibitor of high mobility group box 1/receptor for advanced glycation end-products interaction suppresses high mobility group box 1-mediated inflammatory responses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 665-670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2019.01.136	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama, N Takai, T Kamijo, S Suchiva, P Ohba, M Takeshige, T Suzuki, M Hara, M Matsuno, K Harada, S Harada, N Nakae, S Sudo, K Okuno, T Yokomizo, T Ogawa, H Okumura, K Ikeda, S	4. 巻 74
2. 論文標題 Cyclooxygenase inhibition in mice heightens adaptive- and innate-type responses against inhaled protease allergen and IL-33	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 2237-2240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagatake, T Hirata, S I Koga, T Kuroda, E Kobari, S Suzuki, H Hosomi, K Matsumoto, N Yanrismet, Y Shimojou, M Morimoto, S Sasaki, F Ishii, K J Yokomizo, T Kunisawa, J	4. 巻 12
2. 論文標題 BLT1 mediates commensal bacteria-dependent innate immune signals to enhance antigen-specific intestinal IgA responses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol	6. 最初と最後の頁 1082-1091
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0175-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jagusch, H Werner, M Okuno, T Yokomizo, T Werz, O Pohnert, G	4. 巻 21
2. 論文標題 An Alternative Pathway to Leukotriene B4 Enantiomers Involving a 1,8-Diol-Forming Reaction of an Algal Oxylinin	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Org Lett	6. 最初と最後の頁 4667-4670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.9b01554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee, H C Tominaga, M Yasukawa, K Ohba, M Takahashi, N Honda, K Okuno, T Takamori, K Yokomizo, T	4. 巻 95
2. 論文標題 Dietary supplementation of omega-3 fatty acid eicosapentaenoic acid does not ameliorate pruritus in murine models of atopic dermatitis and psoriasis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Dermatol Sci	6. 最初と最後の頁 130-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jdermsci.2019.07.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koutsogiannaki, S Hou, L Babazada, H Okuno, T Blazon-Brown, N Soriano, S G Yokomizo, T Yuki, K	4. 巻 33
2. 論文標題 The volatile anesthetic sevoflurane reduces neutrophil apoptosis via Fas death domain-Fas-associated death domain interaction	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 12668-12679
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901360R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okuno, T Koutsogiannaki, S Hou, L Bu, W Ohto, U Eckenhoff, R G Yokomizo, T Yuki, K	4. 巻 33
2. 論文標題 Volatile anesthetics isoflurane and sevoflurane directly target and attenuate Toll-like receptor 4 system	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 14528-14541
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901570R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujihira, H Masahara-Negishi, Y Akimoto, Y Hirayama, H Lee, H C Story, B A Mueller, W F Jakob, P Clauder-Munster, S Steinmetz, L M Radhakrishnan, S K Kawakami, H Kamada, Y Miyoshi, E Yokomizo, T Suzuki, T	4. 巻 1866
2. 論文標題 Liver-specific deletion of Ngly1 causes abnormal nuclear morphology and lipid metabolism under food stress	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis	6. 最初と最後の頁 165588
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbadis.2019.165588	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi, S S Sou, Y S Saito, T Kuma, A Yabe, T Sugiura, Y Lee, H C Suematsu, M Yokomizo, T Koike, M Terai, S Mizushima, N Waguri, S Komatsu, M	4. 巻 3
2. 論文標題 Loss of autophagy impairs physiological steatosis by accumulation of NCoR1	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Life Sci Alliance	6. 最初と最後の頁 e201900513
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/lisa.201900513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara, E Nagaoka, Y Okuno, T Kofuji, S Ishigami-Yuasa, M Kagechika, H Kamimura, K Terai, S Yokomizo, T Sugimoto, Y Fujita, Y Suzuki, A Nishina, H	4. 巻 25
2. 論文標題 Prostaglandin E2 and its receptor EP2 trigger signaling that contributes to YAP-mediated cell competition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genes Cells	6. 最初と最後の頁 197-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzumura, A Kaneko, H Funahashi, Y Takayama, K Nagaya, M Ito, S Okuno, T Hirakata, T Nonobe, N Kataoka, K Shimizu, H Namba, R Yamada, K Ye, F Ozawa, Y Yokomizo, T Terasaki, H	4. 巻 69
2. 論文標題 n-3 Fatty Acid and Its Metabolite 18-HEPE Ameliorate Retinal Neuronal Cell Dysfunction by Enhancing Muller BDNF in Diabetic Retinopathy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diabetes	6. 最初と最後の頁 724-735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2337/db19-0550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuki, K Bu, W Eckenhoff, R G Yokomizo, T Okuno, T	4. 巻 525
2. 論文標題 The role of propofol hydroxyl group in 5-lipoxygenase recognition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 909-914
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.03.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang, S Kohira, Y Oerita, S Ishimine, M Kobayashi, T Chua, S M B Nakaoka, H Inoue, I Hino, O Yokomizo, T Fukunaga, T H.C., L-0	4. 巻 2
2. 論文標題 Sensitization of Gastric Cancer Cells to Irinotecan by p53 Activation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BPB Rep	6. 最初と最後の頁 130-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木文之 横溝岳彦	4. 巻 37
2. 論文標題 ロイコトリエンB4第1受容体は滲出型加齢黄斑変性症の新規治療標的となる	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 411-414
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto, Y Matsuya, Y Nagai, K Amagase, K Saeki, K Matsumoto, K Yokomizo, T Kato, S	4. 巻 373
2. 論文標題 Leukotriene B4 Receptor Type 2 Accelerates the Healing of Intestinal Lesions by Promoting Epithelial Cell Proliferation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Pharmacol Exp Ther	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1124/jpet.119.263145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishizuka, K Kon, K Lee-Okada, H C Arai, K Uchiyama, A Yamashina, S Yokomizo, T Ikejima, K	4. 巻 -
2. 論文標題 Aging exacerbates high-fat diet-induced steatohepatitis through alteration in hepatic lipid metabolism in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Gastroenterol Hepatol	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.15006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takemasu S, Ito M, Morioka S, Nigorikawa K, Kofuji S, Takasuga S, Eguchi S, Nakanishi H, Matsuoka I, Sasaki J, Sasaki T, Hazeki K	4. 巻 24
2. 論文標題 Lysophosphatidylinositol-acyltransferase-1 is involved in cytosolic Ca <sup>2+</sup> oscillations in macrophages.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes to cells	6. 最初と最後の頁 366-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 McCormick Barry, Craig Helen E., Chu Julia Y., Carlin Leo M., Canel Marta, Wollweber Florian, Toivakka Matilda, Michael Melina, Astier Anne L., Norton Laura, Lilja Johanna, Felton Jennifer M., Sasaki Takehiko, Ivaska Johanna, Hers Ingeborg, Dransfield Ian, Rossi Adriano G., Vermeren Sonja	4. 巻 203
2. 論文標題 A Negative Feedback Loop Regulates Integrin Inactivation and Promotes Neutrophil Recruitment to Inflammatory Sites	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JOURNAL OF IMMUNOLOGY	6. 最初と最後の頁 1579-1588
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1900443	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishio Miki, Miyachi Yousuke, Otani Junji, Tane Shoji, Omori Hirofumi, Ueda Fumihito, Togashi Hideru, Sasaki Takehiko, Mak Tak Wah, Nakao Kazuwa, Fujita Yasuyuki, Nishina Hiroshi, Maehama Tomohiko, Suzuki Akira	4. 巻 33
2. 論文標題 Hippo pathway controls cell adhesion and context-dependent cell competition to influence skin engraftment efficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB JOURNAL	6. 最初と最後の頁 5548-5560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201802005R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujioka Y, Satoh AO, Horiuchi K, Fujioka M, Tsutsumi K, Sasaki J, Nepal P, Kashiwagi S, Paudel S, Nishide S, Nanbo A, Sasaki T, Ohba Y	4. 巻 44
2. 論文標題 A Peptide Derived from Phosphoinositide 3-kinase Inhibits Endocytosis and Influenza Virus Infection.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell structure and function	6. 最初と最後の頁 61-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.19001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koizumi Atsushi, Narita Shintaro, Nakanishi Hiroki, Ishikawa Masaki, Eguchi Satoshi, Kimura Hirotaka, Takasuga Shunsuke, Huang Mingguo, Inoue Takamitsu, Sasaki Junko, Yoshioka Toshiaki, Habuchi Tomonori, Sasaki Takehiko	4. 巻 9
2. 論文標題 Increased fatty acyl saturation of phosphatidylinositol phosphates in prostate cancer progression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SCIENTIFIC REPORTS	6. 最初と最後の頁 13257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49744-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Morioka S, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Fujimoto T, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y	4. 巻 116
2. 論文標題 Polarized PtdIns(4,5)P <sub>2</sub> distribution mediated by a voltage-sensing phosphatase (VSP) regulates sperm motility.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 26020-26028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1916867116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木雄彦, 山本詠士, 佐々木純子	4. 巻 269
2. 論文標題 細胞膜での蛋白質-イノシトールリン脂質相互作用へのアシル基の関与	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ(医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1068-1072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji T, Cheng J, Tatematsu T, Ebata A, Kamikawa H, Fujita A, Gyobu S, Segawa K, Arai H, Taguchi T, Nagata S, Fujimoto T.	4. 巻 116
2. 論文標題 Predominant localization of phosphatidylserine at the cytoplasmic leaflet of the ER, and its TMEM16K-dependent redistribution.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 13368-13373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1822025116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi T, Hayashi M, Ida L, Yamamoto M, Lu C, Kajino T, Cheng J, Nakatochi M, Isomura H, Suzuki M, Fujimoto T, Takahashi T.	4. 巻 38
2. 論文標題 ROR1 CAVIN3 interaction is required for caveolae-dependent endocytosis and prosurvival signaling in lung adenocarcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncogene	6. 最初と最後の頁 5142-5157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-019-0785-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Morioka S, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Fujimoto T, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y.	4. 巻 116
2. 論文標題 Polarized PtdIns(4,5)P2 distribution mediated by a voltage-sensing phosphatase (VSP) regulates sperm motility.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 26020-26026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1916867116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schfer J, Schessner JP, Tsuju T, Funaya C, Bircham PW, Schaeff K, Ruffini G, Fujimoto T, Schuck S.	4. 巻 39
2. 論文標題 ESCRT machinery mediates selective microautophagy of endoplasmic reticulum.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 EMBO J	6. 最初と最後の頁 e102586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 15252/embj.2019102586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuji T, Takatori S, Fujimoto T.	4. 巻 57
2. 論文標題 Definition of phosphoinositide distribution in the nanoscale.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Curr Op Cell Biol	6. 最初と最後の頁 33-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ceb.2018.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soltysik K, Ohsaki Y, Fujimoto T.	4. 巻 2
2. 論文標題 Duo in a mystical realm - nuclear lipid droplets and the inner nuclear membrane.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Contact	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2515256419896965	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻琢磨、藤本豊士	4. 巻 0
2. 論文標題 電子顕微鏡を用いた観察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学(別冊)「脂質解析ハンドブック」	6. 最初と最後の頁 260-267
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大崎雄樹、藤本豊士	4. 巻 30
2. 論文標題 核内脂肪滴の形成機序と機能の解明	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid	6. 最初と最後の頁 346-351
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uranbileg B, Kurano M, Sato M, Ikeda H, Ishizawa T, Hasegawa K, Kokudo N, Yatomi Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Possible involvement of PS-PLA1 and lysophosphatidylserine receptor (LPS1) in hepatocellular carcinoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 2659
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-59590-3	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakawatari K, Kurano M, Araki O, Nishikawa M, Shimamoto S, Igarashi K, Aoki J, Murakami M, Yatomi Y.	4. 巻 503
2. 論文標題 Elevated phosphatidylserine-specific phospholipase A1 level in hyperthyroidism.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Chim Acta.	6. 最初と最後の頁 99-106
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2020.01.011	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Tsukamoto K, Shimizu T, Kassai H, Nakao K, Aiba A, Hara M, Yatomi Y.	4. 巻 69
2. 論文標題 Protection Against Insulin Resistance by Apolipoprotein M/Sphingosine-1-Phosphate.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diabetes	6. 最初と最後の頁 867-881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2337/db19-0811	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Kano K, Hara M, Tsukamoto K, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 476
2. 論文標題 Regulation of plasma glycerol-lysophospholipid levels by lipoprotein metabolism.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem J	6. 最初と最後の頁 3565-3581
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/BCJ20190498	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uranbileg B, Ito N, Kurano M, Saigusa D, Saito R, Uruno A, Kano K, Ikeda H, Yamada Y, Sumitani M, Sekiguchi M, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Alteration of the lysophosphatidic acid and its precursor lysophosphatidylcholine levels in spinal cord stenosis: A study using a rat cauda equina compression model.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific reports	6. 最初と最後の頁 16578
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-52999-5	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita Y, Kurano M, Sakai E, Nishikawa T, Nishikawa M, Sawabe M, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Analysis of urinary sphingolipids using liquid chromatography-tandem mass spectrometry in diabetic nephropathy.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Diabetes Investig	6. 最初と最後の頁 441-449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13154	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sawada T, Kurano M, Shirai H, Iwasaki Y, Tahara K, Hayashi H, Igarashi K, Fujio K, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 22
2. 論文標題 Serum phosphatidylserine-specific phospholipase A1 as a novel biomarker for monitoring systemic lupus erythematosus disease activity.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Rheum Dis	6. 最初と最後の頁 2059-2066
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1756-185X.13689	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Yasukawa K, Ikeda H, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 53
2. 論文標題 Redox state of albumin affects its lipid mediator binding characteristics.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Free Radic Res.	6. 最初と最後の頁 892-900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10715762.2019.1641603	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita Y, Kurano M, Sakai E, Nishikawa M, Sawabe M, Aoki J, Yatomi Y.	4. 巻 54
2. 論文標題 Evaluation of Lysophospholipid Measurement in Cerebrospinal Fluid Samples using Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Lipids.	6. 最初と最後の頁 487-500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lipd.12175	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa M, Kurano M, Nitta T, Kanoh H, Inokuchi JI, Yatomi Y.	4. 巻 19
2. 論文標題 Serum GM3(d18:1-16:0) and GM3(d18:1-24:1) levels may be associated with lymphoma: An exploratory study with haematological diseases.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 6308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-42817-3	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕	4. 巻 30
2. 論文標題 リポクオリティと臨床検査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 417-423
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕	4. 巻 269
2. 論文標題 臨床検査におけるリポクオリティ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 1251-1256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada I, Tsugawa H, Meister I, Zhang P, Shu R, Katsumi R, Wheelock CE, Arita M, Chaleckis R	4. 巻 9
2. 論文標題 Creating a Reliable Mass Spectral-Retention Time Library for All Ion Fragmentation-Based Metabolomics.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 E251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo9110251	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsugawa H, Nakabayashi R, Mori T, Yamada Y, Takahashi M, Rai A, Sugiyama R, Yamamoto H, Nakaya T, Yamazaki M, Kooke R, Bac-Molenaar JA, Oztolan-Erol N, Keurentjes JJB, Arita M, Saito K	4. 巻 16
2. 論文標題 A cheminformatics approach to characterize metabolomes in stable-isotope-labeled organisms.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Methods	6. 最初と最後の頁 295-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41592-019-0358-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Furuhashi S, Sakaguchi T, Murakami T, Fukushima M, Morita Y, Ikegami K, Kikuchi H, Setou M, Takeuchi H.	4. 巻 49
2. 論文標題 Tenascin C in the Tumor-Nerve Microenvironment Enhances Perineural Invasion and Correlates With Locoregional Recurrence in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pancreas	6. 最初と最後の頁 442-454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MPA.0000000000001506.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeyama E, Islam A, Watanabe N, Tsubaki H, Fukushima M, Mamun MA, Sato S, Sato T, Eto F, Yao I, Ito TK, Horikawa M, Setou M.	4. 巻 11
2. 論文標題 Dietary Intake of Green Nut Oil or DHA Ameliorates DHA Distribution in the Brain of a Mouse Model of Dementia Accompanied by Memory Recovery.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 pii: E2371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu11102371.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nampei M, Horikawa M, Ishizu K, Yamazaki F, Yamada H, Kahyo T, Setou M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Unsupervised machine learning using an imaging mass spectrometry dataset automatically reassembles grey and white matter.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49819-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hino K, Kaneko S, Harasawa T, Kimura T, Takei S, Shinohara M, Yamazaki F, Morita SY, Sato S, Kubo Y, Kono T, Setou M, Yoshioka M, Fujino J, Sugihara H, Kojima H, Yamada N, Udagawa J.	4. 巻 39
2. 論文標題 Change in brain plasmalogen composition by exposure to prenatal undernutrition leads to behavioral impairment of rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Neurosci	6. 最初と最後の頁 7689-7702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.2721-18.2019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato T, Horikawa M, Takei S, Yamazaki F, Ito TK, Kondo T, Sakurai T, Kahyo T, Ikegami K, Sato S, Sato R, Jinno Y, Kawano H, Naoe S, Arita M, Kashiwagi Y, Setou M.	4. 巻 39
2. 論文標題 Preferential Incorporation of Administered Eicosapentaenoic Acid Into Thin-Cap Atherosclerotic Plaques.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arterioscler Thromb Vasc Biol	6. 最初と最後の頁 1802-1816
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.119.313093.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mamun MA, Valdes Gonzalez-T, Islam A, Sato T, Sato S, Ito KT, Horikawa M, Yamazaki F, Alarcon RC, Ido T, Setou M.	4. 巻 27
2. 論文標題 Analysis of potential anti-aging beverage Pru, a traditional Cuban refreshment, by desorption electrospray ionization-mass spectrometry and FTICR tandem mass spectrometry.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Food and Drug Analysis	6. 最初と最後の頁 833-840
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jfda.2019.05.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 菊島健児、瀬藤光利	4. 巻 30
2. 論文標題 リポクオリティの可視化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Lipid	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤智仁、佐藤駿平、堀川誠、瀬藤光利	4. 巻 0
2. 論文標題 イメージングMS	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 実験医学別冊	6. 最初と最後の頁 268-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒牧修平、佐藤智仁、堀川誠、華表友暁、瀬藤光利	4. 巻 27
2. 論文標題 質量顕微鏡法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 79-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒牧修平、瀬藤光利	4. 巻 17
2. 論文標題 量子科学技術の生体応用	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 719-731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻井孝信、瀬藤光利	4. 巻 269
2. 論文標題 組織リボクオリティのマスイメージング	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1245-1249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大山壮歩、堀川誠、櫻井孝信、瀬藤光利	4. 巻 70
2. 論文標題 細胞と組織の質量分析イメージング	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 化学工業	6. 最初と最後の頁 P1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawanabe, A, Mizutani N, Polat Onur K, Yonezawa T, Kawai T, Mori M X, Okamura Y.	4. 巻 152
2. 論文標題 Engineering an enhanced voltage-sensing phosphatase	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of General Physiology	6. 最初と最後の頁 e201912491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1085/jgp.201912491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Morioka S, Sasaki J, Watanabe M, Sakimura K, Fujimoto T, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y.	4. 巻 116
2. 論文標題 Polarized PtdIns(4,5)P <sub>2</sub> distribution mediated by a voltage-sensing phosphatase (VSP) regulates sperm motility.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 26020-26028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1916867116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukumura S, Yamauchi K, Kawanabe A, Yamamoto A, Nakaza M, Kubota T, Kato S, Sasaki R, Okamura Y, Takahashi M.	4. 巻 407
2. 論文標題 Functional analysis of a double-point mutation in the KCNJ2 gene identified in a family with Andersen-Tawil syndrome.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences.	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mizutani N, Okochi Y, Okamura Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Distinct functional properties of two electrogenic isoforms of the SLC34 Na-Pi cotransporter	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Physiol. Reports	6. 最初と最後の頁 e14156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14814/phy2.14156	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ratanayotha Adisorn, Kawai Takafumi, Okamura Yasushi	4. 巻 316
2. 論文標題 Real-time functional analysis of Hv1 channel in neutrophils: a new approach from zebrafish model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	6. 最初と最後の頁 R819 ~ R831
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/ajpregu.00326.2018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Y, Okochi Y.	4. 巻 95
2. 論文標題 Molecular mechanisms of coupling to voltage sensors in voltage-evoked cellular signals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci.	6. 最初と最後の頁 111-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakata S, Okamura Y.	4. 巻 597
2. 論文標題 Dynamic structural rearrangements and functional regulation of voltage-sensing phosphatase	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Physiol.	6. 最初と最後の頁 29-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村康司, 水谷夏希, 大河内善史	4. 巻 269
2. 論文標題 ホスフォイノシチドによるチャンネル・トランスポーターの制御	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1108-1113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami Akari, Maekawa Masashi, Kawai Katsuhisa, Nakayama Jun, Araki Nobukazu, Semba Kentaro, Taguchi Tomohiko, Kamei Yoshiaki, Takada Yasutsugu, Higashiyama Shigeki	4. 巻 110
2. 論文標題 Cullin 3/KCTD10 E3 complex is essential for Rac1 activation through RhoB degradation in human epidermal growth factor receptor 2 positive breast cancer cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 650 ~ 661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13899	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arata Yoshiyuki, Watanabe Ayaka, Motosugi Ryo, Iemura Shun ichiro, Natsume Tohru, Mukai Kojiro, Taguchi Tomohiko, Hirayama Shoshiro, Hamazaki Jun, Murata Shigeo	4. 巻 24
2. 論文標題 FAM48A mediates compensatory autophagy induced by proteasome impairment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 559 ~ 568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12708	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taguchi Tomohiko, Mukai Kojiro	4. 巻 59
2. 論文標題 Innate immunity signalling and membrane trafficking	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Cell Biology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jceb.2019.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Cheng Jinglei, Tatematsu Tsuyako, Ebata Aoi, Kamikawa Hiroki, Fujita Akikazu, Gyobu Sayuri, Segawa Katsumori, Arai Hiroyuki, Taguchi Tomohiko, Nagata Shigekazu, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 116
2. 論文標題 Predominant localization of phosphatidylserine at the cytoplasmic leaflet of the ER, and its TMEM16K-dependent redistribution	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 13368 ~ 13373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1822025116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanigawa, K., Maekawa, M., Kiyoi, T., Nakayama, J., Kitazawa, R., Kitazawa, S., Semba, K., Taguchi, T., Akita, S., Yoshida, M., Ishimaru, K., Watanabe, Y., and Higashiyama, S.	4. 巻 234
2. 論文標題 SNX9 determines the surface levels of integrin 1 in vascular endothelial cells: Implication in poor prognosis of human colorectal cancers overexpressing SNX9.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Cell. Physiol.	6. 最初と最後の頁 17280-17294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jcp.28346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hansen, A. L., Mukai, K., Schopfer, F. J., Taguchi, T., and Holm, C. K.	4. 巻 16
2. 論文標題 STING palmitoylation as a therapeutic target.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Mol Immunol	6. 最初と最後の頁 236-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41423-019-0205-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chang Hyeun Wook, Kanegasaki Shiro, Jin Fansi, Deng Yifeng, You Zhiwei, Chang Jae Hoon, Kim Dong Young, Timilshina Maheshwor, Kim Jae Ryong, Lee Youn Ju, Toyama Sorimachi Noriko, Tsuchiya Tomoko	4. 巻 75
2. 論文標題 A common signaling pathway leading to degranulation in mast cells and its regulation by CCR1 ligand	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 1371 ~ 1381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.14186	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi J, Hori M, Iha H, Toyama-Sorimachi N, Hagiwara S, Kuroda Y, Koyama D, Izumi T, Yasui H, Suzuki A, Furukawa Y.	4. 巻 34
2. 論文標題 Soluble SLAMF7 promotes the growth of myeloma cells via homophilic interaction with surface SLAMF7.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 180-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0525-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi T, Shimabukuro-Demoto S, Tsutsui H, Toyama-Sorimachi N	4. 巻 17
2. 論文標題 Type I interferon limits mast cell-mediated anaphylaxis by controlling secretory granule homeostasis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Biol.	6. 最初と最後の頁 e3000530
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000530	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 反町典子、Nguyen Tien Dat、小林俊彦	4. 巻 72
2. 論文標題 オルガネラを基軸とした炎症制御機構の理解と疾患治療戦略	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 313-321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 反町典子、小林俊彦	4. 巻 271
2. 論文標題 リソソーム局在型アミノ酸トランスポーターを標的とした免疫難病治療への挑戦	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa Hiroshi, Nakabayashi Ryo, Mori Tetsuya, Yamada Yutaka, Takahashi Mikiko, Rai Amit, Sugiyama Ryosuke, Yamamoto Hiroyuki, Nakaya Taiki, Yamazaki Mami, Kooke Rik, Bac-Molenaar Johanna A., Oztolan-Erol Nihal, Keurentjes Joost J. B., Arita Masanori, Saito Kazuki	4. 巻 16
2. 論文標題 A cheminformatics approach to characterize metabolomes in stable-isotope-labeled organisms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Methods	6. 最初と最後の頁 295 ~ 298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41592-019-0358-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Soltysik K, Ohsaki Y, Tatematsu T, Cheng J, Fujimoto T	4. 巻 10
2. 論文標題 Nuclear lipid droplets derive from a lipoprotein precursor and regulate phosphatidylcholine synthesis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08411-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 46
2. 論文標題 Lipids and lipid domains of the yeast vacuole	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical Society Transactions	6. 最初と最後の頁 1047 ~ 1054
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/BST20180120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sobol Margarita, Krausova Alzbeta, Yildirim Sukriye, Kalasova Ilona, Faberova Veronika, Vrkoslav Vladimir, Philimonenko Vlada, Marasek Pavel, Pastorek Lukas, Capek Martin, Lubovska Zuzana, Ulicna Livia, Tsuji Takuma, Lisa Miroslav, Cvacka Josef, Fujimoto Toyoshi, Hozak Pavel	4. 巻 131
2. 論文標題 Nuclear phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate islets contribute to efficient RNA polymerase II-dependent transcription	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cell Science	6. 最初と最後の頁 jcs211094
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.211094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Hana, Arasaki Kohei, Ohsaki Yuki, Fujimoto Toyoshi, Ohtomo Takayuki, Yamada Junji, Tagaya Mitsuo	4. 巻 59
2. 論文標題 Syntaxin 17 promotes lipid droplet formation by regulating the distribution of acyl-CoA synthetase 3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 805 ~ 819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M081679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yang Long, Wang Leilei, Ketkar Harshada, Ma Jinzhu, Yang Guang, Cui Shuang, Geng Tingting, Mordue Dana G., Fujimoto Toyoshi, Cheng Gong, You Fuping, Lin Rongtuan, Fikrig Erol, Wang Penghua	4. 巻 9
2. 論文標題 UBXN3B positively regulates STING-mediated antiviral immune responses	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-04759-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugo Masashi, Kimura Hana, Arasaki Kohei, Amemiya Toshiki, Hirota Naohiko, Dohmae Naoshi, Imai Yuzuru, Inoshita Tsuyoshi, Shiba Fukushima Kahori, Hattori Nobutaka, Cheng Jinglei, Fujimoto Toyoshi, Wakana Yuichi, Inoue Hiroki, Tagaya Mitsuo	4. 巻 37
2. 論文標題 Syntaxin 17 regulates the localization and function of PGAM5 in mitochondrial division and mitophagy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 e98899
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201798899	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Takatori Sho, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 57
2. 論文標題 Definition of phosphoinositide distribution in the nanoscale	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Cell Biology	6. 最初と最後の頁 33 ~ 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccb.2018.10.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Fujita Akikazu, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 1804
2. 論文標題 Immunoelectron Microscopy of Gangliosides	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Methods in molecular biology	6. 最初と最後の頁 231 ~ 239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-8552-4_11	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻琢磨、藤本豊士	4. 巻 36
2. 論文標題 膜リン脂質クオリティの可視化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 89-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦.	4. 巻 50
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症病態制御機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 118-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋創健, 杉本幸彦.	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティの違いに基づくプロスタノイドのがん疾患制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 1675-1680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明, 杉本幸彦.	4. 巻 70
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症, 免疫調節機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科. 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 216-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋創健, 杉本幸彦	4. 巻 26
2. 論文標題 プロスタノイド受容体を介した免疫・炎症応答亢進機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 375-379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muraoka Naoto, Nara Kaori, Tamura Fumiya, Kojima Hidenori, Yamakawa Hiroyuki, Sadahiro Taketaro, Miyamoto Kazutaka, Isomi Mari, Haginiwa Sho, Tani Hidenori, Kurotsu Shota, Osakabe Rina, Torii Satoru, Shimizu Shigeomi, Okano Hideyuki, Sugimoto Yukihiro, Fukuda Keiichi, Ieda Masaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Role of cyclooxygenase-2-mediated prostaglandin E2-prostaglandin E receptor 4 signaling in cardiac reprogramming	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08626-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitadate Y, Jorg DJ, Tokue M, Maruyama A, Ichikawa R, Tsuchiya S, Segi-Nishida E, Nakagawa T, Uchida A, Kimura-Yoshida C, Mizuno S, Sugiyama F, Azami T, Ema M, Noda C, Kobayashi S,	4. 巻 24
2. 論文標題 Competition for Mitogens Regulates Spermatogenic Stem Cell Homeostasis in an Open Niche	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell	6. 最初と最後の頁 79 ~ 92.e6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2018.11.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toyoda Y, Morimoto K, Suno R, Horita S, Yamashita K, Hirata K, Sekiguchi Y, Yasuda S, Shiroishi M, Shimizu T, Urushibata Y, Kajiwara Y, Inazumi T, Hotta Y, Asada H, Nakane T, Shiimura Y,	4. 巻 15
2. 論文標題 Ligand binding to human prostaglandin E receptor EP4 at the lipid-bilayer interface	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 18 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41589-018-0131-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto Reiko, Dainichi Teruki, Tsuchiya Soken, Nomura Takashi, Kitoh Akihiko, Hayden Matthew S., Ishii Ken J., Tanaka Mayuri, Honda Tetsuya, Egawa Gyohei, Otsuka Atsushi, Nakajima Saeko, Sakurai Kenji, Nakano Yuri, Kobayashi Takashi, Sugimoto Yukihiko, Kabashima Kenji	4. 巻 3
2. 論文標題 Epithelial TRAF6 drives IL-17-mediated psoriatic inflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e121175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.121175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsukayama Izumi, Toda Keisuke, Takeda Yasunori, Mega Takuto, Tanaka Mitsuki, Kawakami Yuki, Takahashi Yoshitaka, Kimoto Masumi, Yamamoto Kei, Miki Yoshimi, Murakami Makoto, Suzuki-Yamamoto Toshiko	4. 巻 62
2. 論文標題 Preventive effect of <i>Dioscorea japonica</i> on squamous cell carcinoma of mouse skin involving down-regulation of prostaglandin E <sub>2</sub> synthetic pathway	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	6. 最初と最後の頁 139 ~ 147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3164/jcbr.17-54	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高須賀俊輔, 佐々木雄彦	4. 巻 36
2. 論文標題 イノシトールリン脂質におけるリン酸化クオリティ制御の病態生理学的意義	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 1591-1607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morioka Shin, Nigorikawa Kiyomi, Okada Eri, Tanaka Yoshimasa, Kasuu Yoshihiro, Yamada Miho, Kofuji Satoshi, Takasuga Shunsuke, Nakanishi Hiroki, Sasaki Takehiko, Hazeki Kaoru	4. 巻 131
2. 論文標題 TMEM55a localizes to macrophage phagosomes to downregulate phagocytosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cell Science	6. 最初と最後の頁 jcs213272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.213272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Makinoshima Hideki, Umemura Shigeki, Suzuki Ayako, Nakanishi Hiroki, Maruyama Ami, Udagawa Hibiki, Mimaki Sachiyo, Matsumoto Shingo, Niho Seiji, Ishii Genichiro, Tsuboi Masahiro, Ochiai Atsushi, Esumi Hiroyasu, Sasaki Takehiko, Goto Koichi, Tsuchihara Katsuya	4. 巻 78
2. 論文標題 Metabolic Determinants of Sensitivity to Phosphatidylinositol 3-Kinase Pathway Inhibitor in Small-Cell Lung Carcinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 2179 ~ 2190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-17-2109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liggins Marc C., Flesher Jessica L., Jahid Sohail, Vasudeva Priya, Eby Victoria, Takasuga Shunsuke, Sasaki Junko, Sasaki Takehiko, Boissy Raymond E., Ganesan Anand K.	4. 巻 14
2. 論文標題 PIKfyve regulates melanosome biogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS Genetics	6. 最初と最後の頁 e1007290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pgen.1007290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishio Miki, Miyachi Yousuke, Otani Junji, Tane Shoji, Omori Hirofumi, Ueda Fumihito, Togashi Hideru, Sasaki Takehiko, Mak Tak Wah, Nakao Kazuwa, Fujita Yasuyuki, Nishina Hiroshi, Maehama Tomohiko, Suzuki Akira	4. 巻 33
2. 論文標題 Hippo pathway controls cell adhesion and context-dependent cell competition to influence skin engraftment efficiency	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 5548 ~ 5560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201802005R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takemasu Shinya, Ito Masaki, Morioka Shin, Nigorikawa Kiyomi, Kofuji Satoshi, Takasuga Shunsuke, Eguchi Satoshi, Nakanishi Hiroki, Matsuoka Isao, Sasaki Junko, Sasaki Takehiko, Hazeki Kaoru	4. 巻 24
2. 論文標題 Lysophosphatidylinositol acyltransferase 1 is involved in cytosolic Ca <sup>2+</sup> oscillations in macrophages	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes to Cells	6. 最初と最後の頁 366-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gtc.12681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕 .	4. 巻 264
2. 論文標題 脂肪酸クオリティに着目した新しい臨床検査への可能性 .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 979-983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕 .	4. 巻 50
2. 論文標題 リゾリン脂質と病態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕 .	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティに注目した臨床検査の可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 1767-1772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 葺野 信, 矢富 裕 .	4. 巻 90
2. 論文標題 ヒト疾患におけるリゾリン脂質メディエーター .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 643-650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uranbileg Baasanjav, Nishikawa Takeshi, Ikeda Hitoshi, Kurano Makoto, Sato Masaya, Saigusa Daisuke, Aoki Junken, Watanabe Toshiaki, Yatomi Yutaka	4. 巻 17
2. 論文標題 Evidence Suggests Sphingosine 1-Phosphate Might Be Actively Generated, Degraded, and Transported to Extracellular Spaces With Increased S1P 2 and S1P 3 Expression in Colon Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Colorectal Cancer	6. 最初と最後の頁 e171 ~ e182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clcc.2017.11.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurano Makoto, Miyagaki Tomomitsu, Miyagawa Takuya, Igarashi Koji, Shimamoto Satoshi, Ikeda Hitoshi, Aoki Junken, Sato Shinichi, Yatomi Yutaka	4. 巻 45
2. 論文標題 Association between serum autotaxin or phosphatidylserine-specific phospholipase A1 levels and melanoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Dermatology	6. 最初と最後の頁 571 ~ 579
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1346-8138.14278	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuneyama Koichi, Morimoto Yuki, Shimizu Tomo, Jona Masahiro, Kassai Hidetoshi, Nakao Kazuki, Aiba Atsu, Yatomi Yutaka, Kurano Makoto	4. 巻 118
2. 論文標題 Apolipoprotein M Protects Lipopolysaccharide-Treated Mice from Death and Organ Injury	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Thrombosis and Haemostasis	6. 最初と最後の頁 1021 ~ 1035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/s-0038-1641750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano Makoto, Ikeda Hitoshi, Iso-O Naoyuki, Hara Masumi, Tsukamoto Kazuhisa, Yatomi Yutaka	4. 巻 475
2. 論文標題 Regulation of the metabolism of apolipoprotein M and sphingosine 1-phosphate by hepatic PPAR activity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical Journal	6. 最初と最後の頁 2009 ~ 2024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/BCJ20180052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi Nozomi, Honjo Megumi, Kurano Makoto, Yatomi Yutaka, Igarashi Koji, Kano Kuniyuki, Aoki Junken, Aihara Makoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Increased aqueous autotaxin and lysophosphatidic acid levels are potential prognostic factors after trabeculectomy in different types of glaucoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29649-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mishima Yuko, Kurano Makoto, Kobayashi Tamaki, Nishikawa Masako, Ohkawa Ryunosuke, Tozuka Minoru, Yatomi Yutaka	4. 巻 38
2. 論文標題 Dihydro-sphingosine 1-phosphate interacts with carrier proteins in a manner distinct from that of sphingosine 1-phosphate	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bioscience Reports	6. 最初と最後の頁 BSR20181288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/BSR20181288	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ku wajima Ken, Sumitani Masahiko, Kurano Makoto, Kano Kuniyuki, Nishikawa Masako, Uranbileg Baasanjav, Tsuchida Rikuhei, Ogata Toru, Aoki Junken, Yatomi Yutaka, Yamada Yoshitsugu	4. 巻 13
2. 論文標題 Lysophosphatidic acid is associated with neuropathic pain intensity in humans: An exploratory study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0207310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0207310	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimura Takuya, Kurano Makoto, Morita Yoshifumi, Yoshikawa Naoyuki, Nishikawa Masako, Igarashi Koji, Shimamoto Satoshi, Aoki Junken, Yatomi Yutaka	4. 巻 56
2. 論文標題 Autotaxin and soluble IL-2 receptor concentrations in cerebrospinal fluids are useful for the diagnosis of central nervous system invasion caused by haematological malignancies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Clinical Biochemistry: International Journal of Laboratory Medicine	6. 最初と最後の頁 240 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0004563218818197	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YATOMI Yutaka, KURANO Makoto, IKEDA Hitoshi, IGARASHI Koji, KANO Kuniyuki, AOKI Junken	4. 巻 94
2. 論文標題 Lysophospholipids in laboratory medicine	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the Japan Academy, Series B	6. 最初と最後の頁 373 ~ 389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.94.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano Makoto, Tsuneyama Koichi, Morimoto Yuki, Nishikawa Masako, Yatomi Yutaka	4. 巻 33
2. 論文標題 Apolipoprotein M suppresses the phenotypes of IgA nephropathy in hyper-IgA mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 5181 ~ 5195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201801748R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口友彦, 小林俊彦, 反町典子, 仁木隆裕	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティ認識プローブの開発と応用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 217-221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 反町典子, 小林俊彦	4. 巻 265
2. 論文標題 エンドリソソーム環境に依存した自然免疫応答偏向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1094-1100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林俊彦、向井康治朗、田口友彦、反町典子	4. 巻 69
2. 論文標題 炎症・感染応答を担うオルガネラ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 99-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe-Takahashi Miho, Yamasaki Shinji, Murata Masayuki, Kano Fumi, Motoyama Jun, Yamate Jyoji, Omi Jumpei, Sato Waka, Ukai Hirofumi, Shimasaki Kentaro, Ikegawa Masaya, Tamura-Nakano Miwa, Yanoshita Ryohei, Nishino Yuri, Miyazawa Atsuo, Natori Yasuhiro, Toyama-Sorimachi Noriko, Nishikawa Kiyotaka	4. 巻 8
2. 論文標題 Exosome-associated Shiga toxin 2 is released from cells and causes severe toxicity in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10776
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29128-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishino Atsuo, Okamura Yasushi	4. 巻 246
2. 論文標題 Evolutionary History of Voltage-Gated Sodium Channels	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Handbook of Experimental Pharmacology, Springer	6. 最初と最後の頁 3~32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1007/164_2017_70	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ratanayotha Adisorn, Kawai Takafumi, Okamura Yasushi	4. 巻 316
2. 論文標題 Real-time functional analysis of Hv1 channel in neutrophils: a new approach from zebrafish model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	6. 最初と最後の頁 R819-R831
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1152/ajpregu.00326.2018	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OKAMURA Yasushi、OKOCHI Yoshifumi	4. 巻 95
2. 論文標題 Molecular mechanisms of coupling to voltage sensors in voltage-evoked cellular signals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the Japan Academy, Series B	6. 最初と最後の頁 111 ~ 135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.95.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakata Souhei、Okamura Yasushi	4. 巻 597
2. 論文標題 Dynamic structural rearrangements and functional regulation of voltage sensing phosphatase	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 29 ~ 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP274113	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arima Hiroki、Tsutsui Hidekazu、Sakamoto Ayako、Yoshida Manabu、Okamura Yasushi	4. 巻 1860
2. 論文標題 Induction of divalent cation permeability by heterologous expression of a voltage sensor domain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Biomembranes	6. 最初と最後の頁 981 ~ 990
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamem.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Arima Hiroki、Tsutsui Hidekazu、Okamura Yasushi	4. 巻 12
2. 論文標題 Conservation of the Ca <sup>2+</sup> -permeability through the voltage sensor domain of mammalian CatSper subunit	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Channels	6. 最初と最後の頁 240 ~ 248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/19336950.2018.1476791	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sanchez Colline, Berthier Christine, Allard Bruno, Perrot Jimmy, Bouvard Clement, Tsutsui Hidekazu, Okamura Yasushi, Jacquemond Vincent	4. 巻 150
2. 論文標題 Tracking the sarcoplasmic reticulum membrane voltage in muscle with a FRET biosensor	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of General Physiology	6. 最初と最後の頁 1163-1177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1085/jgp.201812035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwaki Masayo, Takeshita Kohei, Kondo Hiroko X., Kinoshita Kengo, Okamura Yasushi, Takano Yu, Nakagawa Atsushi, Kandori Hideki	4. 巻 122
2. 論文標題 Zn <sup>2+</sup> -Binding to the Voltage-Gated Proton Channel Hv1/VSOP	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Physical Chemistry B	6. 最初と最後の頁 9076 ~ 9080
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jpcc.8b04890	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawanabe Akira, Hashimoto Masaki, Nishizawa Manami, Nishizawa Kazuhisa, Narita Hirota, Yonezawa Tomoko, Jinno Yuka, Sakata Souhei, Nakagawa Atsushi, Okamura Yasushi	4. 巻 7
2. 論文標題 The hydrophobic nature of a novel membrane interface regulates the enzyme activity of a voltage-sensing phosphatase	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 2097-2131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.41653	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamura Yasushi, Kawanabe Akira, Kawai Takafumi	4. 巻 98
2. 論文標題 Voltage-Sensing Phosphatases: Biophysics, Physiology, and Molecular Engineering	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Physiological Reviews	6. 最初と最後の頁 2097 ~ 2131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/physrev.00056.2017	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西野 敦雄, 岡村 康司	4. 巻 91
2. 論文標題 NaV チャネル全史-細菌からヒトまで-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村康司、大澤匡範	4. 巻 36
2. 論文標題 脂質 - イオンチャネル相互連関	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 「脂質クオリティ」実験医学増刊	6. 最初と最後の頁 97-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima Yusuke, Miyata Jun, Watanabe Takashi, Shioya Juri, Arita Makoto, Ohara Osamu	4. 巻 18
2. 論文標題 Proteogenomic Analyses of Cellular Lysates Using a Phenol-Guanidinium Thiocyanate Reagent	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Proteome Research	6. 最初と最後の頁 301-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jproteome.8b00609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mizukami Tomoharu, Ikeda Kazutaka, Shimanaka Yuta, Korogi Katsunari, Zhou Chunyu, Takase Hiroshi, Tsuiji Hitomi, Kono Nozomu, Kohno Takao, Arai Hiroyuki, Arita Makoto, Hattori Mitsuharu	4. 巻 505
2. 論文標題 Reelin deficiency leads to aberrant lipid composition in mouse brain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 81 ~ 86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.09.089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Jieping, Chen Chih-Yu, Arita Makoto, Kim Kuijin, Li Xiangyong, Zhang Hongman, Kang Jing X	4. 巻 39
2. 論文標題 An omega-3 polyunsaturated fatty acid derivative, 18-HEPE, protects against CXCR4-associated melanoma metastasis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Carcinogenesis	6. 最初と最後の頁 1380-1388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/carcin/bgy117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Burla B, Arita M, Arita M, Bendt AK, Cazenave-Gassiot A, Dennis EA, Ekroos K, Han X, Ikeda K, Liebisch G, Lin MK, Loh TP, Meikle PJ, Oresic M, Quehenberger O, Shevchenko A, Torta F, Wakelam MJO, Wheelock CE, Wenk MR.	4. 巻 59
2. 論文標題 MS-based lipidomics of human blood plasma: a community-initiated position paper to develop accepted guidelines	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 2001 ~ 2017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.S087163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueharaguchi Yuri, Honda Tetsuya, Kusuba Nobuhiro, Hanakawa Sho, Adachi Akimasa, Sawada Yu, Otsuka Atsushi, Kitoh Akihiko, Dainichi Teruki, Egawa Gyohei, Nakashima Chisa, Nakajima Saeko, Murata Teruasa, Ono Sachiko, Arita Makoto, Narumiya Shuh, Miyachi Yoshiki, Kabashima Kenji	4. 巻 142
2. 論文標題 Thromboxane A <sub>2</sub> facilitates IL-17A production from V <sub>α</sub> 4 <sup>+</sup> T cells and promotes psoriatic dermatitis in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 680 ~ 683.e2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagatake T, Shiogama Y, Inoue A, Kikuta J, Honda T, Tiwari P, Kishi T, Yanagisawa A, Isobe Y, Matsumoto N, Shimojou M, Morimoto S, Suzuki H, Hirata S, Steneberg P, Edlund H, Aoki J, Arita M, Kiyono H, Yasutomi Y, Ishii M, Kabashima K, Kunisawa J.	4. 巻 142
2. 論文標題 The 17,18-EpETE-GPR 40 axis ameliorates contact hypersensitivity by inhibiting neutrophil mobility in mice and cynomolgus macaques	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 470 ~ 484.e12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.09.053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamada Miki, Takahashi Naoki, Matsuda Yumi, Sato Keisuke, Yokoji Mai, Sulijaya Benso, Maekawa Tomoki, Ushiki Tatsuo, Mikami Yoshikazu, Hayatsu Manabu, Mizutani Yusuke, Kishino Shigenobu, Ogawa Jun, Arita Makoto, Tabeta Koichi, Maeda Takeyasu, Yamazaki Kazuhisa	4. 巻 8
2. 論文標題 A bacterial metabolite ameliorates periodontal pathogen-induced gingival epithelial barrier disruption via GPR40 signaling	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-27408-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe Yosuke, Itagaki Mai, Ito Yuko, Naoe Satoko, Kojima Kotoe, Ikeguchi Mitsunori, Arita Makoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Comprehensive analysis of the mouse cytochrome P450 family responsible for omega-3 epoxidation of eicosapentaenoic acid	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-26325-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 B. Gowda Siddabasave Gowda, Ikeda Kazutaka, Arita Makoto	4. 巻 410
2. 論文標題 Facile determination of sphingolipids under alkali condition using metal-free column by LC-MS/MS	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Analytical and Bioanalytical Chemistry	6. 最初と最後の頁 4793 ~ 4803
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-018-1116-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hata Masayuki, Ikeda Hanako O., Iwai Sachiko, Iida Yuto, Gotoh Norimoto, Asaka Isao, Ikeda Kazutaka, Isobe Yosuke, Horii Aya, Nakagawa Saori, Yamato Susumu, Arita Makoto, Yoshimura Nagahisa, Tsujikawa Akitaka	4. 巻 115
2. 論文標題 Reduction of lipid accumulation rescues Bietti's crystalline dystrophy phenotypes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 3936 ~ 3941
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1717338115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe Yosuke, Kawashima Yusuke, Ishihara Tomoaki, Watanabe Kenji, Ohara Osamu, Arita Makoto	4. 巻 13
2. 論文標題 Identification of Protein Targets of 12/15-Lipoxygenase-Derived Lipid Electrophiles in Mouse Peritoneal Macrophages Using Omega-Alkynyl Fatty Acid	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 887 ~ 893
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.7b01092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮田純、有田誠	4. 巻 71
2. 論文標題 アレルギー性好酸球における脂質代謝異常のメタボローム解析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科 (科学評論社)	6. 最初と最後の頁 34-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木秀憲、有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 脂肪酸代謝バランスによるマクロファージの機能制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 2353-2357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 「脂質クオリティ」生命機能と健康を支える脂質の多様性 (企画・編集)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 概論/リボクオリティから解き明かす生命現象	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1580-1584
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田和貴、青柳良平、有田誠	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティを識別するリピドミクス解析技術	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1797-1803
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 津川裕司、池田和貴、有田誠、有田正規	4. 巻 36
2. 論文標題 脂質クオリティを捉える解析手法とデータベース	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊(羊土社)	6. 最初と最後の頁 1804-1811
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura Keita, Horikawa Makoto, Sato Shumpei, Miyake Hideaki, Setou Mitsutoshi	4. 巻 10
2. 論文標題 Discovery of lipid biomarkers correlated with disease progression in clear cell renal cell carcinoma using desorption electrospray ionization imaging mass spectrometry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 1688-1703
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26706	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Naoto, Mochizuki Takaharu, Yamazaki Fumiyoshi, Takei Shiro, Mano Hidetoshi, Matsugi Takeshi, Setou Mitsutoshi	4. 巻 14
2. 論文標題 MALDI imaging mass spectrometry revealed atropine distribution in the ocular tissues and its transit from anterior to posterior regions in the whole-eye of rabbit after topical administration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0211376-0211376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0211376	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mihara Yuki, Horikawa Makoto, Sato Shumpei, Eto Fumihiro, Hanada Mitsuru, Banno Tomohiro, Arima Hideyuki, Ushirozako Hiroki, Yamada Tomohiro, Xu Dongmin, Okamoto Ayako, Yamazaki Fumiyoshi, Takei Shiro, Omura Takao, Yao Ikuko, Matsuyama Yukihiko, Setou Mitsutoshi	4. 巻 698
2. 論文標題 Lysophosphatidic acid precursor levels decrease and an arachidonic acid-containing phosphatidylcholine level increases in the dorsal root ganglion of mice after peripheral nerve injury	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 69 ~ 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.12.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ageta H, Ageta-Ishihara N, Hitachi K, Karayel O, Onouchi T, Yamaguchi H, Kahyo T, Hatanaka K, Ikegami K, Yoshioka Y, Nakamura K, Kosaka N, Nakatani M, Uezumi A, Ide T, Tsutsumi Y, Sugimura H, Kinoshita M, Ochiya T, Mann M, Setou M, Tsuchida K.	4. 巻 9
2. 論文標題 UBL3 modification influences protein sorting to small extracellular vesicles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 3636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06197-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeda Makoto, Sakaguchi Takanori, Hiraide Takanori, Shibasaki Yasushi, Morita Yoshifumi, Kikuchi Hiroto, Ikegami Koji, Setou Mitsutoshi, Konno Hiroyuki, Takeuchi Hiroya	4. 巻 109
2. 論文標題 Role of caveolin-1 in hepatocellular carcinoma arising from non-alcoholic fatty liver disease	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2401 ~ 2411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13659	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Shumpei, Horikawa Makoto, Kondo Takeshi, Sato Tomohito, Setou Mitsutoshi	4. 巻 8
2. 論文標題 A power law distribution of metabolite abundance levels in mice regardless of the time and spatial scale of analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 10315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-28667-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀川誠、武井史郎、瀬藤光利	4. 巻 36
2. 論文標題 リボクオリティの可視化と操作	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学増刊 (羊土社)	6. 最初と最後の頁 103-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishimine Momoko, Lee Hyeon-Cheol, Nakaoka Hirofumi, Orita Hajime, Kobayashi Toshiyuki, Mizuguchi Konomi, Endo Mikumi, Inoue Ituro, Sato Koichi, Yokomizo Takehiko	4. 巻 2018
2. 論文標題 The Relationship between TP53 Gene Status and Carboxylesterase 2 Expression in Human Colorectal Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Disease Markers	6. 最初と最後の頁 1~7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1155/2018/5280736	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shoji Hiromichi, Ikeda Naho, Kitamura Tomohiro, Suganuma Hiroki, Ohba Mai, Okuno Toshiaki, Yokomizo Takehiko, Shimizu Toshiaki	4. 巻 107
2. 論文標題 Urinary prostaglandin D2 metabolite excretion during the first six months of life was significantly lower in breast-fed than formula-fed infants	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Acta Paediatrica	6. 最初と最後の頁 95-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1111/apa.14068	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawanishi Noriaki, Takagi Kana, Lee Hyeon-Cheol, Nakano Daiki, Okuno Toshiaki, Yokomizo Takehiko, Machida Shuichi	4. 巻 314
2. 論文標題 Endurance exercise training and high-fat diet differentially affect composition of diacylglycerol molecular species in rat skeletal muscle	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 American Journal of Physiology-Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	6. 最初と最後の頁 R892 ~ R901
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1152/ajpregu.00371.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hori Tetsuya, Okuno Toshiaki, Hirata Kunio, Yamashita Keitaro, Kawano Yoshiaki, Yamamoto Masaki, Hato Masakatsu, Nakamura Motonao, Shimizu Takao, Yokomizo Takehiko, Miyano Masashi, Yokoyama Shigeyuki	4. 巻 14
2. 論文標題 Na <sup>+</sup> -mimicking ligands stabilize the inactive state of leukotriene B4 receptor BLT1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 262 ~ 269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/nchembio.2547	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno Toshiaki, Gijon Miguel A., Zarini Simona, Martin Sarah A., Barkley Robert M., Johnson Christopher A., Ohba Mai, Yokomizo Takehiko, Murphy Robert C.	4. 巻 59
2. 論文標題 Altered eicosanoid production and phospholipid remodeling during cell culture	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 542 ~ 549
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1194/jlr.M083030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Liu Min, Shen Juan, Yuan Huimin, Chen Fengling, Song Huaidong, Qin Hui, Li Yanqin, Xu Jiabo, Ye Qing, Li Shenxian, Saeki Kazuko, Yokomizo Takehiko	4. 巻 233
2. 論文標題 Leukotriene B4 receptor 2 regulates the proliferation, migration, and barrier integrity of bronchial epithelial cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cellular Physiology	6. 最初と最後の頁 6117 ~ 6124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1002/jcp.26455	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakanishi Yoshimitsu, Tan Modong, Ichiki Takako, Inoue Asuka, Yoshihara Jun-ichi, Maekawa Naoto, Takenoshita Itsuki, Yanagida Keisuke, Yamahira Shinya, Yamaguchi Satoshi, Aoki Junken, Nagamune Teruyuki, Yokomizo Takehiko, Shimizu Takao, Nakamura Motonao	4. 巻 11
2. 論文標題 Stepwise phosphorylation of leukotriene B4receptor 1 defines cellular responses to leukotriene B4	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science Signaling	6. 最初と最後の頁 5390 ~ 5390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1126/scisignal.aao5390	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Ohba Mai, Saeki Kazuko, Koga Tomoaki, Okuno Toshiaki, Kobayashi Yuichi, Yokomizo Takehiko	4. 巻 504
2. 論文標題 Profiling of bioactive lipids in different dendritic cell subsets using an improved multiplex quantitative LC-MS/MS method	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 562 ~ 568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.bbrc.2018.06.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sasaki Fumiyuki, Koga Tomoaki, Ohba Mai, Saeki Kazuko, Okuno Toshiaki, Ishikawa Keijiro, Nakama Takahito, Nakao Shintaro, Yoshida Shigeo, Ishibashi Tatsuro, Ahmadiéh Hamid, Kanavi Mozghan Rezaei, Hafezi-Moghadam Ali, Penninger Josef M., Sonoda Koh-Hei, Yokomizo Takehiko	4. 巻 3
2. 論文標題 Leukotriene B4 promotes neovascularization and macrophage recruitment in murine wet-type AMD models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e96902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1172/jci.insight.96902	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Hirakata Toshiaki, Lee Hyeon-Cheol, Ohba Mai, Saeki Kazuko, Okuno Toshiaki, Murakami Akira, Matsuda Akira, Yokomizo Takehiko	4. 巻 33
2. 論文標題 Dietary -3 fatty acids alter the lipid mediator profile and alleviate allergic conjunctivitis without modulating Th2 immune responses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The FASEB Journal	6. 最初と最後の頁 3392 ~ 3403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1096/fj.201801805R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda Akira, Asada Yosuke, Suita Naomasa, Iwamoto Satoshi, Hirakata Toshiaki, Yokoi Norihiko, Ohkawa Yasuyuki, Okada Yukinori, Yokomizo Takehiko, Ebihara Nobuyuki	4. 巻 143
2. 論文標題 Transcriptome profiling of refractory atopic keratoconjunctivitis by RNA sequencing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 1610 ~ 1614.e6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1016/j.jaci.2018.11.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lee Hyeon-Cheol, Yokomizo Takehiko	4. 巻 504
2. 論文標題 Applications of mass spectrometry-based targeted and non-targeted lipidomics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 576 ~ 581
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.bbrc.2018.03.081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno Toshiaki, Yokomizo Takehiko	4. 巻 38
2. 論文標題 Biological functions of 12(S)-hydroxyheptadecatrienoic acid as a ligand of leukotriene B4 receptor 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Inflammation and Regeneration	6. 最初と最後の頁 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1186/s41232-018-0087-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokomizo Takehiko, Nakamura Motonao, Shimizu Takao	4. 巻 128
2. 論文標題 Leukotriene receptors as potential therapeutic targets	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 2691 ~ 2701
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1172/JCI97946	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito Tetsuya, Kuma Akiko, Sugiura Yuki, Ichimura Yoshinobu, Obata Miki, Kitamura Hiroshi, Okuda Shujiro, Lee Hyeon-Cheol, Ikeda Kazutaka, Kanegae Yumi, Saito Izumu, Auwerx Johan, Motohashi Hozumi, Suematsu Makoto, Soga Tomoyoshi, Yokomizo Takehiko, Waguri Satoshi, Mizushima Noboru, Komatsu Masaaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Autophagy regulates lipid metabolism through selective turnover of NCoR1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) DOI: 10.1038/s41467-019-08829-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 古賀友紹, 佐伯和子, 横溝岳彦	4. 巻 70
2. 論文標題 生理活性脂質ロイコトリエンB4とその受容体による免疫調節機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 209-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 怜., 横溝 岳彦	4. 巻 26
2. 論文標題 【生理活性脂質研究の最前線】 BLT2受容体の上皮保護作用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 380-383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平形寿彬, 李賢喆, 横溝岳彦	4. 巻 69
2. 論文標題 脂肪酸由来の脂質メディエーターによるアレルギー炎症の制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 569-575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横溝 岳彦	4. 巻 36
2. 論文標題 【脂質クオリティ 生命機能と健康を支える脂質の多様性】(第3章)リポクオリティによる疾患制御 ロイコトリエン受容体の生理・病態における役割	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 実験医学
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nosaka Takuto, Baba Tomohisa, Tanabe Yamato, Sasaki Soichiro, Nishimura Tatsunori, Imamura Yoshiaki, Yurino Hideaki, Hashimoto Shinichi, Arita Makoto, Nakamoto Yasunari, Mukaida Naofumi	4. 巻 200
2. 論文標題 Alveolar Macrophages Drive Hepatocellular Carcinoma Lung Metastasis by Generating Leukotriene B4	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Immunology	6. 最初と最後の頁 1839-1852
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/jimmunol.1700544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mochimaru T., Fukunaga K., Miyata J., Matsusaka M., Masaki K., Kabata H., Ueda S., Suzuki Y., Goto T., Urabe D., Inoue M., Isobe Y., Arita M., Betsuyaku T.	4. 巻 73
2. 論文標題 12-OH-17,18-Epoxyeicosatetraenoic acid alleviates eosinophilic airway inflammation in murine lungs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Allergy	6. 最初と最後の頁 369 ~ 378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/all.13297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Keita, Sakaguchi Tsuyoshi, Nanba Yutaro, Suganuma Yuta, Morita Masao, Hong Song, Lu Yan, Jun Bokkyoo, Bazan Nicolas G., Arita Makoto, Kobayashi Yuichi	4. 巻 83
2. 論文標題 Stereoselective Total Synthesis of Macrophage-Produced Prohealing 14,21-Dihydroxy Docosahexaenoic Acids	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Organic Chemistry	6. 最初と最後の頁 154 ~ 166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.7b02510	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Codagnone M, Cianci E, Lamolinara A, Mari V C, Nespoli A, Isopi E, Mattoscio D, Arita M, Bragonzi A, Iezzi M, Romano M, Recchiuti A	4. 巻 11
2. 論文標題 Resolvin D1 enhances the resolution of lung inflammation caused by long-term Pseudomonas aeruginosa infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mucosal Immunology	6. 最初と最後の頁 35 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/mi.2017.36	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsgawa H, Ikeda K, Arita M.	4. 巻 1862
2. 論文標題 The importance of bioinformatics for connecting data-driven lipidomics and biological insights.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta	6. 最初と最後の頁 762-765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbailip.2017.05.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoyagi Ryohei, Ikeda Kazutaka, Isobe Yosuke, Arita Makoto	4. 巻 58
2. 論文標題 Comprehensive analyses of oxidized phospholipids using a measured MS/MS spectra library	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Lipid Research	6. 最初と最後の頁 2229 ~ 2237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.D077123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Loo TM, Kamachi F, Watanabe Y, Yoshimoto S, Kanda H, Arai Y, Nakajima-Takagi Y, Iwama A, Koga T, Sugimoto Y, Ozawa T, Nakamura M, Kumagai M, Watashi K, Taketo M, Aoki T, Narumiya S, Oshima M, Arita M, Hara E, Ohtani N.	4. 巻 7
2. 論文標題 Gut Microbiota Promotes Obesity-Associated Liver Cancer through PGE Mediated Suppression of Antitumor Immunity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 522 ~ 538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-16-0932	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimanaka Yuta, Kono Nozomu, Taketomi Yoshitaka, Arita Makoto, Okayama Yoshimichi, Tanaka Yuki, Nishito Yasumasa, Mochizuki Tatsuki, Kusuvara Hiroyuki, Adibekian Alexander, Cravatt Benjamin F, Murakami Makoto, Arai Hiroyuki	4. 巻 23
2. 論文標題 Omega-3 fatty acid epoxides are autocrine mediators that control the magnitude of IgE-mediated mast cell activation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Medicine	6. 最初と最後の頁 1287-1297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nm.4417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yotsumoto Satoshi, Muroi Yuito, Chiba Tatsuya, Ohmura Rio, Yoneyama Maki, Magarisawa Megumi, Dodo Kosuke, Terayama Naoki, Sodeoka Mikiko, Aoyagi Ryohei, Arita Makoto, Arakawa Satoko, Shimizu Shigeomi, Tanaka Masato	4. 巻 7
2. 論文標題 Hyperoxidation of ether-linked phospholipids accelerates neutrophil extracellular trap formation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 16026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-15668-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aikawa Shizu, Kano Kuniyuki, Inoue Asuka, Wang Jiao, Saigusa Daisuke, Nagamatsu Takeshi, Hirota Yasushi, Fujii Tomoyuki, Tsuchiya Soken, Taketomi Yoshitaka, Sugimoto Yukihiko, Murakami Makoto, Arita Makoto, Kurano Makoto, Ikeda Hitoshi, Yatomi Yutaka, Chun Jerold, Aoki Junken	4. 巻 36
2. 論文標題 Autotaxin-lysophosphatidic acid-LPA3 signaling at the embryo-epithelial boundary controls	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 2146 ~ 2160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201696290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 有田誠	4. 巻 264
2. 論文標題 脂肪酸クオリティの多様性と病態 (企画・編集)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医学のあゆみ (医歯薬出版)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田美桜、磯部洋輔、石原知明、有田誠	4. 巻 50
2. 論文標題 3 脂肪酸由来脂質メディエーターと炎症制御	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞 (ニューサイエンス社)	6. 最初と最後の頁 8-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 25
2. 論文標題 リボクオリティと炎症・免疫の制御 (企画・編集)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 炎症と免疫 (先端医学社)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永沼達郎、有田誠	4. 巻 25
2. 論文標題 脂肪酸クオリティと炎症・アレルギーの制御	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 炎症と免疫 (先端医学社)	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lai Zijuan, Tsugawa Hiroshi, Wohlgemuth Gert, Mehta Sajjan, Mueller Matthew, Zheng Yuxuan, Ogiwara Atsushi, Meissen John, Showalter Megan, Takeuchi Kohei, Kind Tobias, Beal Peter, Arita Masanori, Fiehn Oliver	4. 巻 15
2. 論文標題 Identifying metabolites by integrating metabolome databases with mass spectrometry cheminformatics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Methods	6. 最初と最後の頁 53~56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmeth.4512	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 有田正規、津川裕司	4. 巻 72
2. 論文標題 化学とメタボロミクス	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 化学	6. 最初と最後の頁 26-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwamoto Satoshi, Koga Tomoaki, Ohba Mai, Okuno Toshiaki, Koike Masato, Murakami Akira, Matsuda Akira, Yokomizo Takehiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Non-steroidal anti-inflammatory drug delays corneal wound healing by reducing production of 12-hydroxyheptadecatrienoic acid, a ligand for leukotriene B4 receptor 2	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-13122-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saeki Kazuko, Yokomizo Takehiko	4. 巻 33
2. 論文標題 Identification, signaling, and functions of LTB 4 receptors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Seminars in Immunology	6. 最初と最後の頁 30 ~ 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.smim.2017.07.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki Fumiyuki, Koga Tomoaki, Saeki Kazuko, Okuno Toshiaki, Kazuno Saiko, Fujimura Tsutomu, Ohkawa Yasuyuki, Yokomizo Takehiko	4. 巻 12
2. 論文標題 Biochemical and immunological characterization of a novel monoclonal antibody against mouse leukotriene B4 receptor 1	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0185133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0185133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeda Tomoki, Komiya Yukiko, Koga Takayuki, Ishida Takumi, Ishii Yuji, Kikuta Yasushi, Nakaya Michio, Kurose Hitoshi, Yokomizo Takehiko, Shimizu Takao, Uchi Hiroshi, Furue Masutaka, Yamada Hideyuki	4. 巻 292
2. 論文標題 Dioxin-induced increase in leukotriene B4 biosynthesis through the aryl hydrocarbon receptor and its relevance to hepatotoxicity owing to neutrophil infiltration	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 10586 ~ 10599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.764332	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoji Hiromichi, Ikeda Naho, Kitamura Tomohiro, Suganuma Hiroki, Ohba Mai, Okuno Toshiaki, Yokomizo Takehiko, Shimizu Toshiaki	4. 巻 107
2. 論文標題 Urinary prostaglandin D2 metabolite excretion during the first six months of life was significantly lower in breast-fed than formula-fed infants	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Paediatrica	6. 最初と最後の頁 95 ~ 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/apa.14068	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井由美子 劉珉 佐伯和子 横溝岳彦	4. 巻 67
2. 論文標題 皮膚保護作用を有する脂質メディエーター12-HHT	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 106-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Hirotaka, Eguchi Satoshi, Sasaki Junko, Kuba Keiji, Nakanishi Hiroki, Takasuga Shunsuke, Yamazaki Masakazu, Goto Akiteru, Watanabe Hiroyuki, Itoh Hiroshi, Imai Yumiko, Suzuki Akira, Mizushima Noboru, Sasaki Takehiko	4. 巻 2
2. 論文標題 Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e89462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1172/jci.insight.89462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Junya, Nakanishi Hiroki, Kunii Yasuto, Sugiura Yuki, Yuki Dai, Wada Akira, Hino Mizuki, Niwa Shin-Ichi, Kondo Takeshi, Waki Michihiko, Hayasaka Takahiro, Masaki Noritaka, Akatsu Hiroyasu, Hashizume Yoshio, Yamamoto Sakon, Sato Shinji, Sasaki Takehiko, Setou Mitsutoshi, Yabe Hirooki	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iizuka-Hishikawa Yoshiko, Hishikawa Daisuke, Sasaki Junko, Takubo Keiyo, Goto Motohito, Nagata Katsuyuki, Nakanishi Hiroki, Shindou Hideo, Okamura Tadashi, Ito Chizuru, Toshimori Kiyotaka, Sasaki Takehiko, Shimizu Takao	4. 巻 292
2. 論文標題 Lysophosphatidic acid acyltransferase 3 tunes the membrane status of germ cells by incorporating docosahexaenoic acid during spermatogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 12065 ~ 12076
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.791277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shindou Hideo, Koso Hideto, Sasaki Junko, Nakanishi Hiroki, Sagara Hiroshi, Nakagawa Koh M., Takahashi Yoshikazu, Hishikawa Daisuke, Iizuka-Hishikawa Yoshiko, Tokumasu Fuyuki, Noguchi Hiroshi, Watanabe Sumiko, Sasaki Takehiko, Shimizu Takao	4. 巻 292
2. 論文標題 Docosahexaenoic acid preserves visual function by maintaining correct disc morphology in retinal photoreceptor cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 12054 ~ 12064
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M117.790568	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Hirotaka, Matsuyama Yasushi, Araki Sachiko, Koizumi Atsushi, Kariya Yumi, Takasuga Shunsuke, Eguchi Satoshi, Nakanishi Hiroki, Sasaki Junko, Sasaki Takehiko	4. 巻 11
2. 論文標題 The effect and possible clinical efficacy of in vivo inhibition of neutrophil extracellular traps by blockade of PI3K-gamma on the pathogenesis of microscopic polyangiitis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Modern Rheumatology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14397595.2017.1367116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Malek M, Kielkowska A, Chessa T, Anderson K, Barneda D, Pir P, Nakanishi H, Eguchi S, Koizumi A, Sasaki J, Juvin V, Kiselev V, Niewczas I, Gray A, Valayer A, Spensberger D, Imbert M, Felisbino S, Habuchi T, Beinke S, Cosulich S, Le Novere N, Sasaki T, Clark J, Hawkins P, Stephens L	4. 巻 68
2. 論文標題 PTEN Regulates PI(3,4)P2 Signaling Downstream of Class I PI3K	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Molecular Cell	6. 最初と最後の頁 566 ~ 580.e10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2017.09.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang Mingguo, Narita Shintaro, Inoue Takamitsu, Koizumi Atsushi, Saito Mitsuru, Tsuruta Hiroshi, Numakura Kazuyuki, Satoh Shigeru, Nanjo Hiroshi, Sasaki Takehiko, Habuchi Tomonori	4. 巻 8
2. 論文標題 Fatty acid binding protein 4 enhances prostate cancer progression by upregulating matrix metalloproteinases and stromal cell cytokine production	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 111780-111794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.22908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aktar Sharmin, Takatori Sho, Tsuji Takuma, Orii Minami, Ohsaki Yuki, Cheng Jinglei, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 50
2. 論文標題 A New Electron Microscopic Method to Observe the Distribution of Phosphatidylinositol 3,4-bisphosphate	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Histochemica et Cytochemica	6. 最初と最後の頁 141 ~ 147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1267/ahc.17025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai Norihiro, Suzuki Michitaka, Ishizu Yoji, Kuzuya Teiji, Honda Takashi, Hayashi Kazuhiko, Ishigami Masatoshi, Hirooka Yoshiki, Ishikawa Tetsuya, Goto Hidemi, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 148
2. 論文標題 Hepatocyte-specific depletion of ubiquitin regulatory X domain containing protein 8 accelerates fibrosis in a mouse non-alcoholic steatohepatitis model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Histochemistry and Cell Biology	6. 最初と最後の頁 219 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00418-017-1572-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oku Masahide, Maeda Yuichiro, Kagohashi Yoko, Kondo Takeshi, Yamada Mai, Fujimoto Toyoshi, Sakai Yasuyoshi	4. 巻 216
2. 論文標題 Evidence for ESCRT- and clathrin-dependent microautophagy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Cell Biology	6. 最初と最後の頁 3263 ~ 3274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201611029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Fujimoto Megumi, Tatematsu Tsuyako, Cheng Jinglei, Orii Minami, Takatori Sho, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Niemann-Pick type C proteins promote microautophagy by expanding raft-like membrane domains in the yeast vacuole	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 eLife	6. 最初と最後の頁 e25960
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7554/eLife.25960	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji Takuma, Fujimoto Toyoshi	4. 巻 7
2. 論文標題 Freeze-fracture-etching Electron Microscopy for Facile Analysis of Yeast Ultrastructure	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BIO-PROTOCOL	6. 最初と最後の頁 e2556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.2556	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohsaki, Y., Soltysik, K., and Fujimoto, T	4. 巻 997
2. 論文標題 The lipid droplet and the endoplasmic reticulum	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Adv Exp Med Biol	6. 最初と最後の頁 111-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-10-4567-7_8	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sobol Margarita, Krausova Alzbeta, Yildirim Sukriye, Kalasova Ilona, Faberova Veronika, Vrkoslav Vladimir, Philimonenko Vlada, Marasek Pavel, Pastorek Lukas, Capek Martin, Lubovska Zuzana, Ulicna Livia, Tsuji Takuma, Lisa Miroslav, Cvacka Josef, Fujimoto Toyoshi, Hozak Pavel	4. 巻 131
2. 論文標題 Nuclear phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate islets contribute to efficient RNA polymerase II-dependent transcription	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Cell Science	6. 最初と最後の頁 jcs211094
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.211094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki Hidehiko, Nagatake Takahiro, Nasu Ayaka, Lan Huangwenxian, Ikegami Koji, Setou Mitsutoshi, Hamazaki Yoko, Kiyono Hiroshi, Yagi Kiyohito, Kondoh Masuo, Kunisawa Jun	4. 巻 8
2. 論文標題 Impaired airway mucociliary function reduces antigen-specific IgA immune response to immunization with a claudin-4-targeting nasal vaccine in mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-21120-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hama Kotaro, Fujiwara Yuko, Morita Masashi, Yamazaki Fumiyoshi, Nakashima Yuko, Takei Shiro, Takashima Shigeo, Setou Mitsutoshi, Shimozawa Nobuyuki, Imanaka Tsuneo, Yokoyama Kazuaki	4. 巻 53
2. 論文標題 Profiling and Imaging of Phospholipids in Brains of Abcd1-Deficient Mice	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Lipids	6. 最初と最後の頁 85 ~ 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/lipd.12022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Eiji, Yao Ikuko, Setou Mitsutoshi	4. 巻 495
2. 論文標題 Visualization of local phosphatidylcholine synthesis within hippocampal neurons using a compartmentalized culture system and imaging mass spectrometry	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 1048 ~ 1054
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.11.108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikedo Taichi, Minami Manabu, Kataoka Hiroharu, Hayashi Kosuke, Nagata Manabu, Fujikawa Risako, Yamazaki Fumiyo, Setou Mitsutoshi, Yokode Masayuki, Miyamoto Susumu	4. 巻 495
2. 論文標題 Imaging mass spectroscopy delineates the thinned and thickened walls of intracranial aneurysms	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 332 ~ 338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2017.10.133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito TK, Lu C, Khan J, Nguyen Q, Huang HZ, Kim D, Phillips J, Tan J, Lee Y, Nguyen T, Khessib S, Lim N, Mekvanich S, Oh J, Pineda VV, Wang W, Bitto A, An JY, Morton JF, Setou M, Ladiges WC, Kaeberlein M.	4. 巻 8
2. 論文標題 Hepatic S6K1 Partially Regulates Lifespan of Mice with Mitochondrial Complex I Deficiency	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Genetics	6. 最初と最後の頁 113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2017.00113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hosokawa Yuko, Masaki Noritaka, Takei Shiro, Horikawa Makoto, Matsushita Shoko, Sugiyama Eiji, Ogura Hiroyuki, Shiya Norihiko, Setou Mitsutoshi	4. 巻 12
2. 論文標題 Recurrent triple-negative breast cancer (TNBC) tissues contain a higher amount of phosphatidylcholine (32:1) than non-recurrent TNBC tissues	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0183724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0183724	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishio Tomohisa, Kurabe Nobuya, Goto-Inoue Naoko, Nakamura Toshio, Sugimura Haruhiko, Setou Mitsutoshi, Maekawa Masato	4. 巻 471
2. 論文標題 Immunohistochemical expression analysis of leucine-rich PPR-motif-containing protein (LRPPRC), a candidate colorectal cancer biomarker identified by shotgun proteomics using iTRAQ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 276 ~ 282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2017.06.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Junya, Nakanishi Hiroki, Kunii Yasuto, Sugiura Yuki, Yuki Dai, Wada Akira, Hino Mizuki, Niwa Shin-Ichi, Kondo Takeshi, Waki Michihiko, Hayasaka Takahiro, Masaki Noritaka, Akatsu Hiroyasu, Hashizume Yoshio, Yamamoto Sakon, Sato Shinji, Sasaki Takehiko, Setou Mitsutoshi, Yabe Hirooki	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 45050 ~ 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kato Hikaru, Kai Aika, Kawabata Tetsuro, Sunderhaus James D., McAfoos Timothy J., Finefield Jennifer M., Sugimoto Yukihiko, Williams Robert M., Tsukamoto Sachiko	4. 巻 27
2. 論文標題 Enantioselective inhibitory abilities of enantiomers of notoamides against RANKL-induced formation of multinuclear osteoclasts	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters	6. 最初と最後の頁 4975 ~ 4978
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmcl.2017.10.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Loo TM, Kamachi F, Watanabe Y, Yoshimoto S, Kanda H, Arai Y, Nakajima-Takagi Y, Iwama A, Koga T, Sugimoto Y, Ozawa T, Nakamura M, Kumagai M, Watashi K, Taketo M, Aoki T, Narumiya S, Oshima M, Arita M, Hara E, Ohtani N.	4. 巻 7
2. 論文標題 Gut Microbiota Promotes Obesity-Associated Liver Cancer through PGE Mediated Suppression of Antitumor Immunity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 522 ~ 538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-16-0932	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yano Akiko, Takahashi Yuko, Moriguchi Hiromi, Inazumi Tomoaki, Koga Tomoaki, Otaka Akira, Sugimoto Yukihiko	4. 巻 1862
2. 論文標題 An aromatic amino acid within intracellular loop 2 of the prostaglandin EP2 receptor is a prerequisite for selective association and activation of G s	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochim. Biophys. Acta. Mol. Cell Biol. Lipids.	6. 最初と最後の頁 615 ~ 622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2017.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aikawa Shizu, Kano Kuniyuki, Inoue Asuka, Wang Jiao, Saigusa Daisuke, Nagamatsu Takeshi, Hirota Yasushi, Fujii Tomoyuki, Tsuchiya Soken, Taketomi Yoshitaka, Sugimoto Yukihiko, Murakami Makoto, Arita Makoto, Kurano Makoto, Ikeda Hitoshi, Yatomi Yutaka, Chun Jerold, Aoki Junken	4. 巻 36
2. 論文標題 Autotaxin-lysophosphatidic acid-LPA3 signaling at the embryo-epithelial boundary controls decidualization pathways.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The EMBO Journal	6. 最初と最後の頁 2146 ~ 2160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15252/embj.201696290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 土屋創健、杉本幸彦	4. 巻 89
2. 論文標題 ゼブラフィッシュにおけるプロスタグランジンシステム	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 6
2. 論文標題 雌性生殖生理におけるプロスタグランジン受容体の役割	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 別冊B10 Clinica 慢性炎症と疾患	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲住知明、杉本幸彦	4. 巻 50
2. 論文標題 プロスタグランジンE2による炎症病態制御機構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 118-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Nishikawa M, Kuma H, Jona M, Yatomi Y.	4. 巻 12
2. 論文標題 Involvement of Band3 in the efflux of sphingosine 1-phosphate from erythrocytes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0177543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0177543	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano Makoto, Hasegawa Koji, Kunimi Motoei, Hara Masumi, Yatomi Yutaka, Teramoto Tamio, Tsukamoto Kazuhisa	4. 巻 1863
2. 論文標題 Sitosterol prevents obesity-related chronic inflammation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta.	6. 最初と最後の頁 191 ~ 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbaliip.2017.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano Makoto, Yatomi Yutaka	4. 巻 25
2. 論文標題 Sphingosine 1-Phosphate and Atherosclerosis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	6. 最初と最後の頁 16 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5551/jat.RV17010	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Honda Tetsuya, Nomura Takashi, Kabashima Kenji	4. 巻 140
2. 論文標題 Advances in atopic dermatitis and urticarial in 2016	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 369 ~ 376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2017.06.005	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本田哲也, 椛島健治	4. 巻 25
2. 論文標題 皮膚疾患と脂質メディエーター	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アレルギー・免疫	6. 最初と最後の頁 30-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Toshihiko, Tsutsui Hidemitsu, Shimabukuro-Demoto Shiho, Yoshida-Sugitani Reiko, Karyu Hitomi, Furuyama-Tanaka Kaori, Ohshima Daisuke, Kato Norihiro, Okamura Tadashi, Toyama-Sorimachi Noriko	4. 巻 29
2. 論文標題 Lysosome biogenesis regulated by the amino-acid transporter SLC15A4 is critical for functional integrity of mast cells	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Immunology	6. 最初と最後の頁 551 ~ 566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/intimm/dxx063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang Xiao-Xing, Hu Yongjun, Keep Richard F., Toyama-Sorimachi Noriko, Smith David E.	4. 巻 124
2. 論文標題 A novel role for PHT1 in the disposition of L-histidine in brain: In vitro slice and in vivo pharmacokinetic studies in wildtype and Pht1 null mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochemical Pharmacology	6. 最初と最後の頁 94 ~ 102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bcp.2016.11.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 小林俊彦, 向井康治朗, 田口友彦, 反町典子	4. 巻 63
2. 論文標題 炎症・感染応答を担うオルガネラ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床免疫アレルギー科	6. 最初と最後の頁 99-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大河内善史、川鍋陽、岡村康司	4. 巻 25
2. 論文標題 炎症抑制に関わる電位依存性プロトンチャネルHv1/VSOPの機能(リポクオリティによる膜タンパク質の機能制御と炎症・免疫)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 炎症と免疫 2017年7月号	6. 最初と最後の頁 17-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Souhei Sakata, Makoto Matsuda, Akira Kawanabe, Yasushi Okamura	4. 巻 14
2. 論文標題 Domain-to-domain coupling in voltage-sensing phosphatase	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biophysics and physicobiology	6. 最初と最後の頁 85-97
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophysico.14.0_85	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Arima Hiroki, Tsutsui Hidekazu, Sakamoto Ayako, Yoshida Manabu, Okamura Yasushi	4. 巻 1860
2. 論文標題 Induction of divalent cation permeability by heterologous expression of a voltage sensor domain	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Biomembranes	6. 最初と最後の頁 981 ~ 990
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamem.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Takafumi, Tatsumi Shoki, Kihara Shinji, Sakimura Kenji, Okamura Yasushi	4. 巻 12
2. 論文標題 Mechanistic insight into the suppression of microglial ROS production by voltage-gated proton channels (VSOP/Hv1)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Channels	6. 最初と最後の頁 1 ~ 8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/19336950.2017.1385684	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Takafumi, Okochi Yoshifumi, Ozaki Tomohiko, Imura Yoshio, Koizumi Schuichi, Yamazaki Maya, Abe Manabu, Sakimura Kenji, Yamashita Toshihide, Okamura Yasushi	4. 巻 142
2. 論文標題 Unconventional role of voltage-gated proton channels (VSOP/Hv1) in regulation of microglial ROS production	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Neurochemistry	6. 最初と最後の頁 686 ~ 699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jnc.14106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ratanayotha Adisorn, Kawai Takafumi, Higashijima Shin-ichi, Okamura Yasushi	4. 巻 5
2. 論文標題 Molecular and functional characterization of the voltage-gated proton channel in zebrafish neutrophils	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Physiological Reports	6. 最初と最後の頁 e133345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14814/phy2.13345	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 河合 喬文、筒井 秀和、岡村 康司	4. 巻 68
2. 論文標題 増大特集 細胞多様性解明に資する光技術 見て、動かす .見えなかったものを見る 電位センサードメインを用いた膜電位プローブの進歩	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 444 ~ 445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.2425200686	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H, Ikeda K, Tanaka W, Senoo Y, Arita M, Arita M.	4. 巻 9
2. 論文標題 Comprehensive identification of sphingolipid species by in silico retention time and tandem mass spectral library.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Cheminform	6. 最初と最後の頁 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13321-017-0205-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi T, Anjo T, Kaneko A, Senoo Y, Shibata A, Takama H, Yokoyama K, Nishito Y, Ono T, Taya C, Muramatsu K, Fukami K, Muñoz-Garcia A, Brash AR, Ikeda K, Arita M, Akiyama M, Murakami M	4. 巻 8
2. 論文標題 PNPLA1 has a crucial role in skin barrier function by directing acylceramide biosynthesis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Commun	6. 最初と最後の頁 14609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms14609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arita M	4. 巻 65
2. 論文標題 Eosinophil polyunsaturated fatty acid metabolism and its potential control of inflammation and allergy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Allergol Int	6. 最初と最後の頁 S2-S5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2016.05.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsugawa H, Kind T, Nakabayashi R, Yukihiro D, Tanaka W, Cajka T, Saito K, Fiehn O, Arita M	4. 巻 88
2. 論文標題 Hydrogen Rearrangement Rules: Computational MS/MS Fragmentation and Structure Elucidation Using MS-FINDER Software	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anal Chem	6. 最初と最後の頁 7946-7958
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.6b00770	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Carroll AJ, Salek RM, Arita M, Kopka J, Walther D	4. 巻 4
2. 論文標題 Editorial: Metabolome Informatics and Statistics: Current State and Emerging Trends	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Front Bioeng Biotechnol	6. 最初と最後の頁 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fbioe.2016.00063	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wohlgemuth G, Mehta SS, Mejia RF, Neumann S, Pedrosa D, Pluskal T, Schymanski EL, Willighagen EL, Wilson M, Wishart DS, Arita M, Dorrestein PC, Bandeira N, Wang M, Schulze T, Salek RM, Steinbeck C, Nainala VC, Mistrik R, Nishioka T, Fiehn O	4. 巻 34
2. 論文標題 SPLASH, a hashed identifier for mass spectra	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Biotechnol	6. 最初と最後の頁 1099-1101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nbt.3689	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 津川裕司、有田正規	4. 巻 54
2. 論文標題 生体内の低分子代謝産物を網羅的に捉えるための新技術	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 化学と生物	6. 最初と最後の頁 151-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 26
2. 論文標題 3脂肪酸の代謝と抗炎症作用に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 脂質栄養学 (日本脂質栄養学会)	6. 最初と最後の頁 27-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 17
2. 論文標題 Overview/リボクオリティが制御する血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 115-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤仁、有田誠	4. 巻 17
2. 論文標題 脂肪酸クオリティ制御と血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 137-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 67
2. 論文標題 リビドミクスによる脂肪酸代謝と疾患制御の解析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学 (医学書院)	6. 最初と最後の頁 189-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Sugiura Y, Yuki D, Wada A, Hino M, Niwa SI, Kondo T, Waki M, Hayasaka T, Masaki N, Akatsu H, Hashizume Y, Yamamoto S, Sato S, Sasaki T, Setou M, Yabe H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura H, Eguchi S, Sasaki J, Kuba K, Nakanishi H, Takasuga S, Yamazaki M, Goto A, Watanabe H, Itoh H, Imai Y, Suzuki A, Mizushima N, Sasaki T	4. 巻 2
2. 論文標題 Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 e89462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.89462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morioka S, Nigorikawa K, Sasaki J, Hazeki K, Kasuu Y, Sasaki T, Hazeki O	4. 巻 6
2. 論文標題 Myeloid cell-specific inositol polyphosphate-4-phosphatase type I knockout mice impair bacteria clearance in a murine peritonitis model.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Innate Immun	6. 最初と最後の頁 444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1753425916652714	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂東 倫行、佐々木 雄彦	4. 巻 257
2. 論文標題 イノシトールリン脂質のがん転移への関与 : "invadopodia"の形成機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1211-1215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shintani-Domoto Y, Hayasaka T, Maeda D, Masaki N, Ito TK, Sakuma K, Tanaka M, Kabashima K, Takei S, Setou M, Fukayama M.	4. 巻 S1570-9639
2. 論文標題 Different desmin peptides are distinctly deposited in cytoplasmic aggregations and cytoplasm of desmin-related cardiomyopathy patients.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta	6. 最初と最後の頁 30048-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbapap.2017.03.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto J, Nakanishi H, Kunii Y, Sugiura Y, Yuki D, Wada A, Hino M, Niwa SI, Kondo T, Waki M, Hayasaka T, Masaki N, Akatsu H, Hashizume Y, Yamamoto S, Sato S, Sasaki T, Setou M, Yabe H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 45050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45050.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki H, Suzuki T, Ito K, Takahara T, Goto-Inoue N, Setou M, Sakata K, Ishida N.	4. 巻 S0378-1119
2. 論文標題 Minos-insertion mutant of the Drosophila GBA gene homologue showed abnormal phenotypes of climbing ability, sleep and life span with accumulation of hydroxy-glucocerebroside.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Gene.	6. 最初と最後の頁 30139-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2017.03.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Yamamoto N, Suzuki M, Mano Y, Sano M, Zaima N, Sasaki T, Setou M, Unno N.	4. 巻 9
2. 論文標題 Insufficient Lymph Drainage Causes Abnormal Lipid Accumulation and Vein Wall Degeneration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ann Vasc Dis.	6. 最初と最後の頁 277-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3400/avd.oa.16-00122.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ijaz F, Hatanaka Y, Hatanaka T, Tsutsumi K, Iwaki T, Umemura K, Ikegami K, Setou M.	4. 巻 28
2. 論文標題 Proper cytoskeletal architecture beneath the plasma membrane of red blood cells requires Tt114.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell.	6. 最初と最後の頁 535-544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E16-02-0089.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita S, Masaki N, Sato K, Hayasaka T, Sugiyama E, Hui SP, Chiba H, Mase N, Setou M.	4. 巻 409
2. 論文標題 Selective improvement of peptides imaging on tissue by supercritical fluid wash of lipids for matrix-assisted laser desorption/ionization mass spectrometry.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem.	6. 最初と最後の頁 1475-1480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-016-0119-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Phua SC, Chiba S, Suzuki M, Su E, Elle RC, Ganesh PV, Setou M, Rohatgi R, Jeremy RF, Ikegami K, Inoue T.	4. 巻 168
2. 論文標題 Dynamic Remodeling of Membrane Composition Drives Cell Cycle through Primary Cilia Excision.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 264-279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2016.12.032.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kugo H, Zaima N, Tanaka H, Mouri Y, Yanagimoto K, Hayamizu K, Hashimoto K, Sasaki T, Sano M, Yata T, Urano T, Setou M, Unno N, Moriyama T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Adipocyte in vascular wall can induce the rupture of abdominal aortic aneurysm.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 31268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep31268.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiraide T, Ikegami K, Sakaguchi T, Morita Y, Hayasaka T, Masaki N, Waki M, Sugiyama E, Shinriki S, Takeda M, Shibasaki Y, Miyazaki S, Kikuchi H, Okuyama H, Inoue M, Setou M, Konno H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Accumulation of arachidonic acid-containing phosphatidylinositol at the outer edge of colorectal cancer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 29935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep29935.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xu D, Omura T, Masaki N, Arima H, Banno T, Okamoto A, Hanada M, Takei S, Matsushita S, Sugiyama E, Setou M, Matsuyama Y.	4. 巻 6
2. 論文標題 Increased arachidonic acid-containing phosphatidylcholine is associated with reactive microglia and astrocytes in the spinal cord after peripheral nerve injury.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 26427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep26427.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurabe N, Igarashi H, Ohnishi I, Tajima S, Inoue Y, Takahashi Y, Setou M, Sugimura H.	4. 巻 7
2. 論文標題 Visualization of sphingolipids and phospholipids in the fundic gland mucosa of human stomach using imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World J Gastrointest Pathophysiol.	6. 最初と最後の頁 235-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4291/wjgp.v7.i2.235.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitakaze K, Mizutani Y, Sugiyama E, Tasaki C, Tsuji D, Maita N, Hirokawa T, Asanuma D, Kamiya M, Sato K, Setou M, Urano Y, Togawa T, Otaka A, Sakuraba H, Itoh K.	4. 巻 126
2. 論文標題 Protease-resistant modified human $\alpha$ -hexosaminidase B ameliorates symptoms in GM2 gangliosidosis model.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Clin. Invest.	6. 最初と最後の頁 1691-703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI85300.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyawaki S, Imai H, Hayasaka T, Masaki N, Ono H, Ochi T, Ito A,	4. 巻 322
2. 論文標題 Imaging mass spectrometry detects dynamic changes of	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neuroscience.	6. 最初と最後の頁 66-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2016.02.013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬藤光利	4. 巻 64
2. 論文標題 質量顕微鏡法の開発とその応用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Mass Spectrom. Soc. Jpn	6. 最初と最後の頁 201-218
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堀川誠、武井史郎、瀬藤光利	4. 巻 67
2. 論文標題 脂質分解イメージングで脂質を"見る"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 198-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Makino A, Hullin-Matsuda F, Murate M, Abe M, Tomishige N, Fukuda M, Yamashita S, Fujimoto T, Vidal H, Lagarde M, Delton-Vandenbroucke I, Kobayashi T	4. 巻 27
2. 論文標題 Acute accumulation of free cholesterol induces the degradation of perilipin 2 and Rab18-dependent fusion of ER and lipid droplets in cultured human hepatocytes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell	6. 最初と最後の頁 3293-3304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E15-10-0730	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takabe W, Urano Y, Vo D-K H, Shibuya K, Tanno M, Kitagishi H, Fujimoto T, Noguchi N	4. 巻 57
2. 論文標題 Esterification of 24(S)-hydroxycholesterol induces formation of atypical lipid droplet-like structures, leading to neuronal cell death	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 2005-2014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M068775	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohsaki Y, Soltysik K, Fujimoto T	4. 巻 997
2. 論文標題 The lipid droplet and the endoplasmic reticulum	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Advances in Experimental Medicine and Biology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-10-4567-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本豊士、大崎雄樹、辻琢磨	4. 巻 35
2. 論文標題 電子顕微鏡による脂肪滴と膜脂質の探索	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc. Clin. Electron Microsc	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto T, Parmryd I	4. 巻 4
2. 論文標題 Interleaflet coupling, pinning and leaflet asymmetry- major players in plasma membrane nanodomain formation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontier Cell Dev Biol	6. 最初と最後の頁 155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcell.2016.00155	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Inagaki S, Tsutsui H, Suzuki K, Agetsuma M, Arai Y, Jinno Y, Bai G, Daniels M, Okamura Y, Matsuda M, Nagai T	4. 巻 7
2. 論文標題 Genetically encoded bioluminescent voltage indicator for multi-purpose use in wide range of bioimaging	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 42398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep42398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakata S, Miyawaki N, McCormack TJ, Arima H, Kawanabe A, Ozkucur N, Kurokawa T, Jinno Y, Fujiwara Y, Okamura Y	4. 巻 1858
2. 論文標題 Comparison between mouse and sea urchin orthologs of voltage-gated proton channel suggests role of S3 segment in activation gating	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Acta	6. 最初と最後の頁 2972-2983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamem.2016.09.008.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakata S, Jinno Y, Kawanabe A, Okamura Y	4. 巻 113
2. 論文標題 Voltage-dependent motion of the catalytic region of voltage-sensing phosphatase monitored by a fluorescent amino acid	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl Acad. Sci. USA	6. 最初と最後の頁 7521-7526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1604218113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Y	4. 巻 113
2. 論文標題 Simple scheme of lipid enzyme can explain complex lives of phosphoinositides	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc. Natl Acad. Sci. USA	6. 最初と最後の頁 7012-7014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1607427113	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang XX, Hu Y, Keep RF, Toyama-Sorimachi N, Smith DE.	4. 巻 15
2. 論文標題 A novel role for PHT1 in the disposition of l-histidine in brain: In vitro slice and in vivo pharmacokinetic studies in wildtype and Pht1 null mice.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem Pharmacol.	6. 最初と最後の頁 94-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bcp.2016.11.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 反町典子	4. 巻 67
2. 論文標題 細胞膜の機能的区画化におけるクラスターとドメインの概念とその制御	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学 特集号「脂質ワールド」	6. 最初と最後の頁 220-226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano, M., Hara, M., Nojiri, T., Ikeda, H., Tsukamoto, K., and Yatomi, Y.	4. 巻 173
2. 論文標題 Resveratrol exerts a biphasic effect on apolipoprotein M.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br. J. Pharmacol	6. 最初と最後の頁 222-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.13360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uranbileg, B., Ikeda, H., Kurano, M., Enooku, K., Sato, M., Saigusa, D., Aoki, J., Ishizawa, T., Hasegawa, K., Kokudo, N., and Yatomi, Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Increased mRNA Levels of Sphingosine Kinases and S1P Lyase and Reduced Levels of S1P Were Observed in Hepatocellular Carcinoma in Association with Poorer Differentiation and Earlier Recurrence.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0149462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0149462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Emoto, S., Kurano, M., Kano, K., Matsusaki, K., Yamashita, H., Nishikawa, M., Igarashi, K., Ikeda, H., Aoki, J., Kitayama, J., and Yatomi, Y.	4. 巻 58
2. 論文標題 Analysis of glycerol-lysophospholipids in gastric cancerous ascites.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Lipid Res	6. 最初と最後の頁 763-771
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.P072090	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano, M., Hara, M., Ikeda, H., Tsukamoto, K., and Yatomi, Y	4. 巻 37
2. 論文標題 Involvement of Cholesteryl Ester Transfer Protein in the Shift of Sphingosine 1-Phosphate Among Lipoproteins and in the Modulation of its Functions.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.	6. 最初と最後の頁 506-514
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.116.308692	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano, M., Kano, K., Dohi, T., Matsumoto, H., Igarashi, K., Nishikawa, M., Ohkawa, R., Ikeda, H., Miyauchi, K., Daida, H., Aoki, J., and Yatomi, Y.	4. 巻 58
2. 論文標題 Different Origins of Lysophospholipid Mediators between Coronary and Peripheral Arteries in Acute Coronary Syndrome.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Lipid Res.	6. 最初と最後の頁 433-442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.P071803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enooku K, Uranbileg B, Ikeda H, Kurano M, Sato M, Kudo H, Maki H, Koike K, Hasegawa K, Kokudo N, Yatomi Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Higher LPA2 and LPA6 mRNA Levels in Hepatocellular Carcinoma Are Associated with Poorer Differentiation, Microvascular Invasion and Earlier Recurrence with Higher Serum Autotaxin Levels.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0161825
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0161825.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagura, Y., Tsuno, NH., Kano, K., Inoue, A., Aoki, J., Hirowatari, Y., Kaneko, M., Kurano, M., Matsuhashi, M., Ohkawa, R., Tozuka, M., Yatomi, Y., and Okazaki, H.	4. 巻 26
2. 論文標題 Regulation of the lysophosphatidylserine and sphingosine 1-phosphate levels in autologous whole blood by the pre-storage leukocyte reduction	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Transfus. Med.	6. 最初と最後の頁 365-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tme.12326	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato M, Ikeda H, Uranbileg B, Kurano M, Saigusa D, Aoki J, Maki H, Kudo H, Hasegawa K, Kokudo N, Yatomi Y.	4. 巻 6
2. 論文標題 Sphingosine kinase-1, S1P transporter spinster homolog 2 and S1P2 mRNA expressions are increased in liver with advanced fibrosis in human.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 32119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep32119.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 蔵野 信 .	4. 巻 64
2. 論文標題 肝疾患による二次性脂質異常症 .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床病理	6. 最初と最後の頁 518-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔵野 信 .	4. 巻 27
2. 論文標題 急性冠症候群の病態生理におけるマイナーリソリン脂質の関与の可能性 .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本血栓止血学会誌	6. 最初と最後の頁 460-465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔵野 信 .	4. 巻 64
2. 論文標題 HDLの抗血栓作用 .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床病理	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔵野 信, 矢富 裕 .	4. 巻 259
2. 論文標題 スフィンゴシン1-リン酸とHDL .	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 878-879
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chiba, T., Nakahara, T., Hashimoto-Hachiya, A., Yokomizo, T., Uchi, H., Furue, M.	4. 巻 25
2. 論文標題 The leukotriene B4 receptor BLT2 protects barrier function via actin polymerization with phosphorylation of myosin phosphatase target subunit 1 in human keratinocytes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Exp Dermatol	6. 最初と最後の頁 532-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/exd.12976	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichiki, T., Koga, T., Okuno, T., Saeki, K., Yamamoto, Y., Yamamoto, H., Sakaguchi, M., Yokomizo, T.	4. 巻 30
2. 論文標題 Modulation of leukotriene B4 receptor 1 signaling by receptor for advanced glycation end products (RAGE)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 1811-1822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201500117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichiki, T., Koga, T., Yokomizo, T.	4. 巻 35
2. 論文標題 Receptor for Advanced Glycation End Products Regulates Leukotriene B4 Receptor 1 Signaling	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 DNA Cell Biol	6. 最初と最後の頁 747-750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/dna.2016.3552	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishii, Y., Saeki, K., Liu, M., Sasaki, F., Koga, T., Kitajima, K., Meno, C., Okuno, T., Yokomizo, T.	4. 巻 30
2. 論文標題 Leukotriene B4 receptor type 2 (BLT2) enhances skin barrier function by regulating tight junction proteins	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 933-947
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.15-279653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kojo, K., Ito, Y., Eshima, K., Nishizawa, N., Ohkubo, H., Yokomizo, T., Shimizu, T., Watanabe, M., Majima, M.	4. 巻 6
2. 論文標題 BLT1 signalling protects the liver against acetaminophen hepatotoxicity by preventing excessive accumulation of hepatic neutrophils	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 29650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep29650	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oba, J., Nakahara, T., Hashimoto-Hachiya, A., Liu, M., Abe, T., Hagihara, A., Yokomizo, T., Furue, M.	4. 巻 11
2. 論文標題 CD10-Equipped Melanoma Cells Acquire Highly Potent Tumorigenic Activity: A Plausible Explanation of Their Significance for a Poor Prognosis	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0149285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0149285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shigematsu, M., Koga, T., Ishimori, A., Saeki, K., Ishii, Y., Taketomi, Y., Ohba, M., Jo-Watanabe, A., Okuno, T., Harada, N., Harayama, T., Shindou, H., Li, J. D., Murakami, M., Hoka, S., Yokomizo, T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Leukotriene B4 receptor type 2 protects against pneumolysin-dependent acute lung injury	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 34560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep34560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tabe, Y., Hatanaka, Y., Nakashiro, M., Sekihara, K., Yamamoto, S., Matsushita, H., Kazuno, S., Fujimura, T., Ikegami, T., Nakanaga, K., Matsumoto, H., Ueno, T., Aoki, J., Yokomizo, T., Konopleva, M., Andreeff, M., Miida, T., Iwabuchi, K., Sasai, K.	4. 巻 92
2. 論文標題 Integrative genomic and proteomic analyses identifies glycerol-3-phosphate acyltransferase as a target of low-dose ionizing radiation in EBV infected-B cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Radiat Biol	6. 最初と最後の頁 24-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3109/09553002.2015.1106021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hijioka, M., Anan, J., Ishibashi, H., Kurauchi, Y., Hisatsune, A., Seki, T., Koga, T., Yokomizo, T., Shimizu, T., Katsuki, H.	4. 巻 360
2. 論文標題 Inhibition of Leukotriene B4 Action Mitigates Intracerebral Hemorrhage-Associated Pathological Events in Mice	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Pharmacol Exp Ther	6. 最初と最後の頁 399-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1124/jpet.116.238824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Luo, L., Tanaka, R., Kanazawa, S., Lu, F., Hayashi, A., Yokomizo, T., Mizuno, H.	4. 巻 31
2. 論文標題 A synthetic leukotriene B4 receptor type 2 agonist accelerates the cutaneous wound healing process in diabetic rats by indirect stimulation of fibroblasts and direct stimulation of keratinocytes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Diabetes Complications	6. 最初と最後の頁 13-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jdiacomp.2016.09.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okuno, T., Koutsogiannaki, S., Ohba, M., Chamberlain, M., Bu, W., Lin, F. Y., Eckenhoff, R. G., Yokomizo, T., Yuki, K.	4. 巻 31
2. 論文標題 Intravenous anesthetic propofol binds to 5-lipoxygenase and attenuates leukotriene B4 production	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 1584-1594
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201601095R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 横溝岳彦	4. 巻 67
2. 論文標題 【脂質ワールド】 新規脂質メディエーターと受容体 古くて新しい脂質メディエーター・12-ヒドロキシ ヘプタデカトリエン酸の生理作用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生体の科学	6. 最初と最後の頁 232-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横溝岳彦	4. 巻 23
2. 論文標題 快人快説 最先端の研究テクノロジー紹介 微量サンプル中の微量脂質を定量化する驚異の質量分析技術	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 LiSA	6. 最初と最後の頁 1179-1188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横溝岳彦	4. 巻 4
2. 論文標題 「脂質マシナリー」研究 脂質メディエーターの最新の研究成果	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 腎臓内科・泌尿器科	6. 最初と最後の頁 610-617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井由美子, 劉珉, 佐伯和子, 横溝岳彦	4. 巻 67
2. 論文標題 皮膚保護作用を有する脂質メディエーター12-HHT	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 106-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yano A, Takahashi Y, Moriguchi H, Inazumi T, Koga T, Otaka A, Sugimoto Y.	4. 巻 1862
2. 論文標題 An aromatic amino acid within intracellular loop 2 of the prostaglandin EP2 receptor is a prerequisite for selective association and activation of G <sub>s</sub> .	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids	6. 最初と最後の頁 615-622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbalip.2017.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yabuki Y, Koide T, Miyasaka N, Wakisaka N, Masuda M, Ohkura M, Nakai J, Tsuge K, Tsuchiya S, Sugimoto Y, Yoshihara Y.	4. 巻 19
2. 論文標題 Olfactory receptor for prostaglandin F2 mediates male fish courtship behavior.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Neurosci	6. 最初と最後の頁 897-904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nn.4314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuchiya H, Hohjoh H, Fujiwara Y, Sugimoto Y, Koshimizu T.	4. 巻 470
2. 論文標題 Prostaglandin D2 elicits the reversible neurite retraction in hypothalamic cell line.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 804-810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.01.091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎、杉本幸彦	4. 巻 256
2. 論文標題 プロスタノイド受容体を介した免疫・炎症応答亢進の分子機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 561-566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎、稲住知明、杉本幸彦	4. 巻 17
2. 論文標題 「プロスタノイドクオリティと心血管系制御」血管医学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 血管医学	6. 最初と最後の頁 37-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakayori N, Kikkawa T, Tokuda H, Kiryu E, Yoshizaki K, Kawashima H, Yamada T, Arai H, Kang JX, Katagiri H, Shibata H, Innis SM, Arita M, Osumi N.	4. 巻 34
2. 論文標題 Maternal dietary balance between omega-6 and omega-3 polyunsaturated fatty acids impairs neocortical development via epoxy metabolites.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Stem Cells	6. 最初と最後の頁 470-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/stem.2246.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Endo J, Arita M.	4. 巻 67
2. 論文標題 Cardioprotective mechanism of omega-3 polyunsaturated fatty acids.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cardiol	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjcc.2015.08.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katakura M, Hashimoto M, Inoue T, Mamun AA, Tanabe Y, Arita M, Shido O.	4. 巻 10
2. 論文標題 Chronic arachidonic acid administration decreases docosahexaenoic acid and eicosapentaenoic acid-derived metabolites in kidneys of aged rats.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0140884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0140884.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada Y, Honda T, Hanakawa S, Nakamizo S, Murata T, Ueharaguchi-Tanada Y, Ono S, Amano W, Nakajima S, Egawa G, Tanizaki H, Otsuka A, Kitoh A, Dainichi T, Ogawa N, Kobayashi Y, Yokomizo T, Arita M, Nakamura M, Miyachi Y, Kabashima K.	4. 巻 212
2. 論文標題 Resolvin E1 inhibits dendritic cell migration in the skin and attenuates contact hypersensitivity responses.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Exp Med	6. 最初と最後の頁 1921-1930
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20150381.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirahashi J, Hanafusa N, Wada T, Arita M, Hishikawa K, Hayashi M, Nangaku M.	4. 巻 54
2. 論文標題 Aspirin and eicosapentaenoic acid may arrest progressive IgA nephropathy: a potential alternative to immunosuppression.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 2377-2382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.54.4623.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakato M, Matsuo M, Kono N, Arita M, Arai H, Ogawa J, Kioka N, Ueda K.	4. 巻 56
2. 論文標題 Neurite outgrowth stimulation by n3 and n6 polyunsaturated fatty acids of phospholipids in apolipoprotein E containing lipoproteins secreted from glial cells.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 1880-1890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M058164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Goto T, Urabe D, Masuda K, Isobe Y, Arita M, Inoue M.	4. 巻 80
2. 論文標題 Total synthesis of four stereoisomers of (4Z,7Z,10Z,12E,16Z,18E)-14,20-dihydroxy-4,7,10,12,16,18-docosahexaenoic acid and their anti-inflammatory activities.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Org Chem	6. 最初と最後の頁 7713-7726
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.joc.5b01461.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kunisawa J, Arita M, Hayasaka T, Harada T, Iwamoto R, Nagasawa R, Shikata S, Nagatake T, Suzuki H, Hashimoto E, Kurashima Y, Suzuki Y, Arai H, Setou M, Kiyono H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Dietary 3 fatty acid exerts anti-allergic effect through the conversion to 17,18-epoxyeicostetraenoic acid in the gut.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 9750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep09750.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masterson JC, McNamee EN, Fillon SA, Hosford L, Harris R, Fernando SD, Jedlicka P, Iwamoto R, Jacobsen E, Protheroe C, Eltzschig HK, Colgan SP, Arita M, Lee JJ, Furuta GT.	4. 巻 64
2. 論文標題 Eosinophil-mediated signaling attenuates inflammatory responses in experimental colitis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gut	6. 最初と最後の頁 1236-1247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/gutjnl-2014-306998.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsugawa H, Cajka T, Kind T, Ma Y, Higgins B, Ikeda K, Kanazawa M, VanderGheynst J, Fiehn O, Arita M.	4. 巻 12
2. 論文標題 MS-DIAL: data-independent MS/MS deconvolution for comprehensive metabolome analysis.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Methods	6. 最初と最後の頁 523-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nmeth.3393.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 有田誠	4. 巻 46
2. 論文標題 脂肪酸クオリティによる炎症性疾患の制御	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 感染炎症免疫	6. 最初と最後の頁 22-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 11
2. 論文標題 3 脂肪酸の分子栄養学	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 アンチエイジング医学 (メディカルレビュー社)	6. 最初と最後の頁 845-851
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 41
2. 論文標題 3 脂肪酸のメタボローム解析と心臓リモデリング抑制作用	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 内分泌・糖尿病・代謝内科（科学評論社）	6. 最初と最後の頁 380-384
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 254
2. 論文標題 多価不飽和脂肪酸の代謝と炎症の制御	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ（医歯薬出版）	6. 最初と最後の頁 1127-1130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 33
2. 論文標題 3 脂肪酸の代謝と疾患制御のメタボロミクス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学増刊号「脂質疾患学」（羊土社）	6. 最初と最後の頁 2361-2366
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 4
2. 論文標題 炎症の収束に関わる脂肪酸代謝系とその機能	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 別冊BIO Clinica「慢性炎症と疾患」（北隆館）	6. 最初と最後の頁 27-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 63
2. 論文標題 脂肪酸代謝と炎症のメタボロミクス	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科 (科学評論社)	6. 最初と最後の頁 118-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠	4. 巻 4
2. 論文標題 3 脂肪酸の代謝と心臓保護作用	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 別冊B10 Clinica 「慢性炎症と疾患」 (北隆館)	6. 最初と最後の頁 99-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有田誠、遠藤仁	4. 巻 15
2. 論文標題 3系多価不飽和脂肪酸による心臓リモデリング抑制	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 循環plus (メディカルトリビューン社)	6. 最初と最後の頁 7-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ip, LR., Poulgiannis, G., Viciano, FC., Sasaki, J., Kofuji, S., Spanswick, VJ., Hochhauser, D., Hartley, JA., Sasaki, T., Gewinner, CA.	4. 巻 6
2. 論文標題 Loss of INPP4B causes a DNA repair defect through loss of BRCA1, ATM and ATR and can be targeted with PARP inhibitor treatment.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 10548-10562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kofuji, S., Kimura, H., Nakanishi, H., Nanjo, H., Takasuga, S., Liu, H., Eguchi, S., Nakamura, R., Itoh, R., Ueno, N., Asanuma, K., Huang, M., Koizumi, A., Habuchi, T., Yamazaki, M., Suzuki, A., Sasaki, J., Sasaki, T.	4. 巻 5
2. 論文標題 INPP4B Is a PtdIns (3,4,5) P3 Phosphatase That Can Act as a Tumor Suppressor.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cancer Discov.	6. 最初と最後の頁 730-739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Li, Chew C., Lunardi, A., Gulluni, F., Ruan, DT., Chen, M., Salmena, L., Nishino, M., Papa, A., Ng, C., Fung, J., Clohessy, JG., Sasaki, J., Sasaki, T., Bronson, RT., Hirsch, E., Pandolfi, PP.	4. 巻 5
2. 論文標題 In Vivo Role of INPP4B in Tumor and Metastasis Suppression through Regulation of PI3K-AKT Signaling at Endosomes.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cancer Discov.	6. 最初と最後の頁 740-751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nigorikawa, K., Hazeki, K., Sasaki, J., Omori, Y., Miyake, M., Morioka, S., Guo, Y., Sasaki, T., Hazeki, O	4. 巻 10
2. 論文標題 Inositol Polyphosphate-4-Phosphatase Type I Negatively Regulates Phagocytosis via Dephosphorylation of Phagosomal PtdIns(3,4)P2	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0142091
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0142091.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hammond, GR., Takasuga, S., Sasaki, T., Balla, T	4. 巻 10
2. 論文標題 The ML1Nx2 Phosphatidylinositol 3,5Bisphosphate Probe Shows Poor Selectivity in Cells.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0139957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0139957.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Norton L, Lindsay Y, Deladeriere A, Chessa T, Guillou H, Suiire S, Lucocq J, Walker S, Andrews S, Segonds-Pichon A, Rausch O, Finan P, Sasaki T, Du CJ, Bretschneider T, Ferguson GJ, Hawkins PT, Stephens L	4. 巻 60
2. 論文標題 Localizing the lipid products of PI3K in neutrophils	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Adv Biol Regul	6. 最初と最後の頁 36-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbior.2015.10.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 小藤智史, 佐々木雄彦	4. 巻 34
2. 論文標題 INPP4BはPTEN欠損による発がんへのフェイルセーフ機構を担う	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 450-453
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arima H, Omura T, Hayasaka T, Masaki N, Hanada M, Xu D, Banno T, Kobayashi K, Takeuchi H, Kadomatsu K, Matsushita Y, Setou M.	4. 巻 297
2. 論文標題 Reductions of docosahexaenoic acid-containing phosphatidylcholine levels in the anterior horn of an ALS mouse model.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 127-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2015.03.060.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hossen MA, Nagata Y, Waki M, Ide Y, Takei S, Fukano H, Romero-Perez GA, Tajima S, Yao I, Ohnishi K, Setou M.	4. 巻 407
2. 論文標題 Decreased level of phosphatidylcholine (16:0/20:4) in multiple myeloma cells compared to plasma cells: A single-cell MALDI-IMS approach.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem	6. 最初と最後の頁 5273-5280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-015-8741-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaki N, Ishizaki I, Hayasaka T, Fisher GL, Sanada N, Yokota H, Setou M.	4. 巻 5
2. 論文標題 Three-Dimensional Image of Cleavage Bodies in Nuclei Is Configured Using Gas Cluster Ion Beam with Time-of-Flight Secondary Ion Mass Spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 10000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep10000.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sumpownon C, Engsusophon A, Siangcham T, Sugiyama E, Soonklang N, Meeratana P, Wanichanon C, Hanna PJ, Setou M, Sobhon P.	4. 巻 223
2. 論文標題 Variation of prostaglandin E2 concentrations in ovaries and its effects on ovarian maturation and oocyte proliferation in the giant fresh water prawn, <i>Macrobrachium rosenbergii</i> .	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Gen Comp Endocrinol.	6. 最初と最後の頁 129-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygcen.2015.04.019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki T, Shimoda M, Ito K, Hanai S, Aizawa H, Kato T, Kawasaki K, Yamaguchi T, Ryoo HD, Goto-Inoue N, Setou M, Tsuji S, Ishida N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Collection: Expression of Human Gaucher Disease Gene GBA Generates Neurodevelopmental Defects and ER Stress in <i>Drosophila</i> Eye.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLos One	6. 最初と最後の頁 e0135619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0135619.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Zaima N, Sasaki T, Sano M, Yamamoto N, Saito T, Inuzuka K, Hayasaka T, Goto-Inoue N, Sato K, Kugo H, Moriyama T, Konno H, Setou M, Unno N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Hypoperfusion of the Adventitial Vasa Vasorum Develops an Abdominal Aortic Aneurysm.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLos One	6. 最初と最後の頁 e0134386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0134386.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hameed S, Ikegami K, Sugiyama E, Matsushita S, Kimura Y, Hayasaka T, Sugiura Y, Masaki N, Waki M, Ohta I, Hossen MA, Setou M.	4. 巻 407
2. 論文標題 Direct profiling of the phospholipid composition of adult <i>Caenorhabditis elegans</i> using whole-body imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Bioanal Chem	6. 最初と最後の頁 7589-7602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00216-015-8932-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka H, Zaima N, Sasaki T, Yamamoto N, Inuzuka K, Sano M, Saito T, Hayasaka T, Goto-Inoue N, Sato K, Kugo H, Moriyama T, Konno H, Setou M, Unno N.	4. 巻 52
2. 論文標題 Imaging mass spectrometry reveals a unique distribution of triglycerides in abdominal aortic aneurysmal wall.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Vasc Res	6. 最初と最後の頁 127-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000439169	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kunisawa J, Sugiura Y, Wake T, Nagatake T, Suzuki H, Nagasawa R, Shikata S, Honda K, Hashimoto E, Suzuki Y, Setou M, Suematsu M, Kiyono H.	4. 巻 13
2. 論文標題 Mode of Bioenergetic Metabolism during B Cell Differentiation in the Intestine Determines the Distinct Requirement for Vitamin B1.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 122-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2015.08.063.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama E, Masaki N, Matsushita S, Setou M.	4. 巻 87
2. 論文標題 Ammonium sulfate improves detection of hydrophilic quaternary ammonium compounds through decreased ion suppression in matrix-assisted laser desorption/ionization imaging mass spectrometry.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Anal Chem	6. 最初と最後の頁 11176-11181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.5b02672.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirano-Sakamaki W, Sugiyama E, Hayasaka T, Ravid R, Setou M, Taki T.	4. 巻 589
2. 論文標題 Alzheimer's disease is associated with disordered localization of ganglioside GM1 molecular species in the human dentate gyrus.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 FEBS Lett	6. 最初と最後の頁 3611-3616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.febslet.2015.09.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamazaki K, Masaki M, Kohmura-Kobayashi Y, Chizuko Y, Hayasaka T, Itoh H, Setou M, Kanayama N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Decrease in Sphingomyelin (d18:1/16:0) in Stem Villi and Phosphatidylcholine (16:0/20:4) in Terminal Villi of Human Term Placentas with Pathohistological Maternal Malperfusion.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLos One	6. 最初と最後の頁 e0142609.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0142609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Senoo N, Miyoshi N, Goto-Inoue N, Minami K, Yoshimura R, Morita A, Sawada N, Matsuda J, Ogawa J, Setou M, Kamei Y, Miura S.	4. 巻 56
2. 論文標題 PGC-1 <sup>-</sup> mediated changes in phospholipid profiles of exercise-trained skeletal muscle.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Lipid Res	6. 最初と最後の頁 2286-2296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1194/jlr.M060533.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwata T, Ito I, Niimi A, Ikegami K, Marumo S, Tanabe N, Nakaji H, Kanemitsu Y, Matsumoto H, Kamei J, Setou M, Mishima M.	4. 巻 10
2. 論文標題 Mechanical Stimulation by Postnasal Drip Evokes Cough.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLos One	6. 最初と最後の頁 e0141823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0141823.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyoshi T, Ota H, Iijima K, Son BK, Kahyo T, Setou M, Ogawa S, Ouchi Y, Akishita M.	4. 巻 244
2. 論文標題 A novel organ culture model of aorta for vascular calcification.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Atherosclerosis	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.atherosclerosis.2015.11.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山崎文義、瀬藤光利	4. 巻 63
2. 論文標題 質量分析イメージング法による病理組織解析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床病理	6. 最初と最後の頁 472-480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤智仁、杉山栄二、松下祥子、武井史郎、瀬藤光利	4. 巻 33
2. 論文標題 質量顕微鏡法による脂質解析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学増刊	6. 最初と最後の頁 2521-2527
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野圭吾、深野華、有久巨、瀬藤光利	4. 巻 34
2. 論文標題 質量顕微鏡の原理とその応用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 病理と臨床&nbsp;	6. 最初と最後の頁 203-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawanabe A, Okamura Y	4. 巻 594
2. 論文標題 Effects of unsaturated fatty acids on the kinetics of voltage-gated proton channels heterologously expressed in cultured cells	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Physiol.	6. 最初と最後の頁 595-610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1113/JP271274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okochi Y, Aratani Y, Adissu H, Miyawaki N, Sasaki M, Suzuki K, Okamura Y	4. 巻 6
2. 論文標題 The voltage-gated proton channel Hv1/VSOP inhibits neutrophil granule release	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Leukocyte Biol.	6. 最初と最後の頁 7-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1189/jlb.3HI0814-393R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiwara Y, Kondo H, Shirota M, Kobayashi M, Takeshita K, Nakagawa A, Okamura Y, Kinoshita K	4. 巻 6
2. 論文標題 Structural basis for the membrane association of ankyrinG via palmitoylation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 23981
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep23981	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuda H, Yonezawa Y, Takano Y, Okamura Y, Fujiwara Y	4. 巻 291 (11)
2. 論文標題 Direct Interaction between the Voltage-sensors Produces Cooperative Sustained Deactivation in Voltage-gated H <sup>+</sup> Channel Dimers	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 5935-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.666834	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹下浩平、岡村康司、中川敦史	4. 巻 87(5)
2. 論文標題 電位依存性プロトンチャンネルVSOPの結晶構造から考察するプロトン漏洩制御機構	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 生化学	6. 最初と最後の頁 625-628
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村康司	4. 巻 56(3)
2. 論文標題 電位依存性プロトンチャンネルにおけるプロトン透過の機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生物物理	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2142/biophys.56.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohsaki Y, Kawai T, Yoshikawa Y, Cheng J, Jokitalo E, Fujimoto T	4. 巻 212
2. 論文標題 PML isoform II plays a critical role in nuclear lipid droplet formation	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Cell Biol	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201507122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takatori S, Tatematsu T, Cheng J, Matsumoto J, Akano T, Fujimoto T	4. 巻 17
2. 論文標題 Phosphatidylinositol 3,5-bisphosphate-rich membrane domains in endosomes and lysosomes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Traffic	6. 最初と最後の頁 154-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tra.12346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi T, Lu C, Yanagisawa K, Can Lu, Usukura J, Cheng J, Hotta N, Shimada Y, Ida R, Isomura H, Suzuki M, Fujimoto T, Takahashi T	4. 巻 7
2. 論文標題 ROR1 sustains caveolae and survival signaling as a scaffold of cavin-1 and caveolin-1	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 10060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms10060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arasaki K, Shimizu H, Mogari H, Nishida N, Hirota N, Furuno A, Kudo Y, Baba M, Baba N, Cheng J, Fujimoto T, Ishihara N, Ortiz-Sandoval C, Barlow L, Raturi A, Dohmae N, Wakana Y, Inoue H, Tani K, Dacks J, Simmen T, Tagaya M	4. 巻 32
2. 論文標題 A Role for the Ancient SNARE Syntaxin 17 in Regulating Mitochondrial Division	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Dev Cell	6. 最初と最後の頁 304-317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.devcel	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kagawa Y, Yasumoto Y, Sharifi K, Ebrahimi M, Islam A, Miyazaki H, Yamamoto Y, Sawada T, Tokuda N, Kobayashi S, Maekawa M, Yoshikawa T, Takaki E, Nakai A, Kogo H, Fujimoto T, Owada Y	4. 巻 63
2. 論文標題 Fatty acid-binding protein 7 regulates function of caveolae in astrocytes through expression of caveolin-1	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Glia	6. 最初と最後の頁 780-794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/glia.22784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki M, Murakami T, Cheng J, Kano H, Fukata M, Fujimoto T	4. 巻 26
2. 論文標題 ELMOD2 is anchored to lipid droplets by palmitoylation and regulates ATGL recruitment	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Mol Biol Cell	6. 最初と最後の頁 2333-2342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1091/mbc.E14-11-1504	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamauchi Y, Iwamoto N, Rogers MA, Abe-Dohmae S, Fujimoto T, Chang CC, Ishigami M, Kishimoto T, Kobayashi T, Ueda K, Furukawa K, Chang TY, and Yokoyama S	4. 巻 290
2. 論文標題 Deficiency in the lipid exporter ABCA1 impairs retrograde sterol movement and disrupts sterol sensing at the endoplasmic reticulum	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 23464-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.662668	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takatori S, Fujimoto T	4. 巻 57
2. 論文標題 Microscopy of membrane lipids - how precisely can we define their distribution	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Essays in Biochemistry	6. 最初と最後の頁 81-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1042/bse0570081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi T, Tanaka T, and Toyama-Sorimachi N.	4. 巻 5 (16)
2. 論文標題 Separation of Intracellular Vesicles for Immunoassays.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Bio-protocol	6. 最初と最後の頁 e1571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seto E, Yoshida-Sugitani R, Kobayashi T, Toyama-Sorimachi N.	4. 巻 10(15)
2. 論文標題 The assembly of EDC4 and Dcp1a into processing bodies is critical for the translational regulation of IL-6.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0123223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0123223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Henmi, Y., Oe, N., Kono, N., Taguchi, T., Takei, K., and Tanabe, K.	4. 巻 342
2. 論文標題 Phosphatidic acid induces EHD3-containing membrane tubulation and is required for receptor recycling. <i>Exp. Cell Res.</i> 342, 1-10.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 <i>Exp. Cell Res.</i>	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yexcr.2016.02.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林俊彦、反町典子	4. 巻 34
2. 論文標題 学研メディカル秀潤社	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 細胞工学6月号	6. 最初と最後の頁 557-561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林俊彦、反町典子	4. 巻 33
2. 論文標題 羊土社	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学増刊号	6. 最初と最後の頁 75-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Asahara, M., Ito, N., Yokomizo, T., Nakamura, M., Shimizu, T., Yamada, Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 The absence of the leukotriene B4 receptor BLT1 attenuates peripheral inflammation and spinal nociceptive processing following intraplantar formalin injury.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 <i>Mol Pain</i>	6. 最初と最後の頁 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12990-015-0010-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hori, T., Nakamura, M., Yokomizo, T., Shimizu, T., Miyano, M.	4. 巻 4
2. 論文標題 The leukotriene B4 receptor BLT1 is stabilized by transmembrane helix capping mutations.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Rep	6. 最初と最後の頁 243-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi:10.1016/j.bbrep.2015.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno, T., Ishitani, T., Yokomizo, T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Biochemical Characterization of Three BLT Receptors in Zebrafish.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0117888
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0117888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zandi S, Nakao S, Chun K H, Fiorina P, Sun D, Arita R, Zhao M, Kim E, Schueller O, Campbell S, Taher M, Melhorn M I, Schering A, Gatti F, Tezza S, Xie F, Vergani A, Yoshida S, Ishikawa K, Yamaguchi M, Sasaki F, Schmidt-Ullrich R, Hata Y, Enaida H, Yuzawa M, Yokomizo T, Kim Y B, Sweetnam P, Ishibashi T, Hafezi-Moghadam A	4. 巻 10
2. 論文標題 ROCK-Isoform-Specific Polarization of Macrophages Associated with Age-Related Macular Degeneration.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 1173-1186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2015.01.050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishii, Y., Saeki, K., Liu, M., Sasaki, F., Koga, T., Kitajima, K., Meno, C., Okuno, T., Yokomizo, T.	4. 巻 30
2. 論文標題 Leukotriene B4 receptor type 2 (BLT2) enhances skin barrier function by regulating tight junction proteins.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 933-947
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.15-279653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Modulation of leukotriene B4 receptor 1 signaling by receptor for advanced glycation end products (RAGE).	4. 巻 30
2. 論文標題 Ichiki, T., Koga, T., Okuno, T., Saeki, K., Yamamoto, Y., Yamamoto, H., Sakaguchi, M., Yokomizo, T.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 1811-1822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201500117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yokomizo, T	4. 巻 157
2. 論文標題 Two distinct leukotriene B4 receptors, BLT1 and BLT2.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 65-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvu078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Liu, M., Yokomizo, T.	4. 巻 157
2. 論文標題 The role of leukotrienes in allergic diseases.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Allergol Int	6. 最初と最後の頁 17-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2014.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐伯和子, 劉珉, 横溝岳彦.	4. 巻 254
2. 論文標題 12-HHT 皮膚創傷治癒に働く新しいiCOX代謝物.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1121-1125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐伯和子, 劉珉, 横溝岳彦.	4. 巻 26
2. 論文標題 血小板由来の脂質メディエーター12-HHTは角化細胞の移動を亢進させ皮膚創傷治癒を促進する.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 血栓止血	6. 最初と最後の頁 611-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李賢哲, 奥野利明, 横溝岳彦.	4. 巻 64
2. 論文標題 脂質メディエーターによる免疫・炎症応答の制御	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 386-390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横溝岳彦	4. 巻 33
2. 論文標題 第1世代脂質メディエーター エイコサノイド	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 2344-2348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横溝岳彦	4. 巻 22
2. 論文標題 【アセトアミノフェン】薬理的側面から 古くて新しい謎だらけの薬	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 LiSA	6. 最初と最後の頁 874-877
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 市木貴子, 古賀友紹, 横溝岳彦.	4. 巻 256
2. 論文標題 ロイコトリエン受容体	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 554-560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Y, Inazumi T, Tsuchiya S	4. 巻 157
2. 論文標題 Roles of prostaglandin receptors in female reproduction	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biochem	6. 最初と最後の頁 73-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvu081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawahara K, Hohjoh H, Inazumi T, Tsuchiya S, Sugimoto Y	4. 巻 1851
2. 論文標題 Prostaglandin E2-induced inflammation: relevance of prostaglandin E receptors	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta	6. 最初と最後の頁 414-421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbailip.2014.07.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamizo S, Egawa G, Tomura M, Sakai S, Tsuchiya S, Kitoh A, Honda T, Otsuka A, Nakajima S, Dainichi T, Tanizaki H, Mitsuyama M, Sugimoto Y, Kawai K, Yoshikai Y, Miyachi Y, Kabashima K	4. 巻 135
2. 論文標題 Dermal V 4+ T cells possess a migratory potency to the draining lymph nodes and modulate CD8+ T cell activity through TNF- production	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Invest Dermatol	6. 最初と最後の頁 1007-1015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/jid.2014.516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higashi S, Katagi K, Shintani N, Ikeda K, Sugimoto Y, Tsuchiya S, Inoue N, Tanaka S, Koumoto M, Kasai A, Nakazawa T, Takano H A, Hamagami K, Tomimoto S, Yoshida T, Ohkubo T, Nagayasu K, Ago Y, Onaka Y, Hashimoto R, Ichikawa A, Baba A, Hashimoto H	4. 巻 461
2. 論文標題 p13 overexpression in pancreatic &szlig;-cells ameliorates type 2 diabetes in high-fat-fed mice	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 612-617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2015.04.074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda K, Tomimoto S, Tsuchiya S, Hamagami K, Shintani N, Sugimoto Y, Ichikawa A, Kasai A, Nakazawa T, Nagayasu K, Hayata-Takano A, Baba A, Hashimoto H	4. 巻 2
2. 論文標題 Comparative gene expression profiles in pancreatic islets associated with agouti yellow mutation and PACAP overexpression in mice	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Rep	6. 最初と最後の頁 179-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrep.2015.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inada M, Takita M, Yokoyama S, Watanabe K, Tominari T, Matsumoto C, Hirata M, Maru Y, Maruyama T, Sugimoto Y, Narumiya S, Uematsu S, Akira S, Murphy G, Nagase H, Miyaura C	4. 巻 290
2. 論文標題 Direct melanoma cell contact induces stromal cell autocrine prostaglandin E2-EP4 receptor signaling that drives tumor growth, angiogenesis and metastasis	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 29781-29793
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M115.669481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsuchiya, H., Hohjoh, H., Fujiwara, Y., Sugimoto, Y., Koshimizu, T.	4. 巻 470
2. 論文標題 Prostaglandin D2 elicits the reversible neurite retraction in hypothalamic cell line.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 804-810
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2016.01.091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yabuki, Y., Koide, T., Miyasaka, N., Wakisaka, N., Masuda, M., Ohkura, M., Nakai, J., Tsuge, K., Tsuchiya, S., Sugimoto, Y., Yoshihara, Y.	4. 巻 19
2. 論文標題 Olfactory receptor for prostaglandin F2 mediates male fish courtship behavior.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature Neurosci.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 63
2. 論文標題 プロスタグランジンによる皮膚マスト細胞の成熟と活性化	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床免疫・アレルギー科	6. 最初と最後の頁 62-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 145
2. 論文標題 プロスタグランジンによる神経機能の調節機構	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日薬理誌	6. 最初と最後の頁 237-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎亮, 北條寛典, 杉本幸彦	4. 巻 47
2. 論文標題 炎症反応におけるプロスタグランジンE2の役割	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 細胞	6. 最初と最後の頁 266-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎, 杉本幸彦	4. 巻 33 (15)
2. 論文標題 プロスタグランジンによる女性生殖制御の意義	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 164-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉本幸彦	4. 巻 254 (12)
2. 論文標題 急性炎症にかかわるプロスタグランジンとその働き	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 1091-1096
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 告恭史郎, 杉本幸彦	4. 巻 256(5)
2. 論文標題 プロスタノイド受容体を介した免疫・炎症応答亢進の分子機構	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 561-566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uranbileg B, Ikeda H, Kurano M, Enooku K, Sato M, Saigusa D, Aoki J, Ishizawa T, Hasegawa K, Kokudo N, Yatomi Y	4. 巻 11
2. 論文標題 Increased mRNA Levels of Sphingosine Kinases and S1P Lyase and Reduced Levels of S1P Were Observed in Hepatocellular Carcinoma in Association with Poorer Differentiation and Earlier Recurrence	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0149462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0149462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Hara M, Nojiri T, Ikeda H, Tsukamoto K, Yatomi Y	4. 巻 173
2. 論文標題 Resveratrol exerts a biphasic effect on apolipoprotein M	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br J Pharmacol	6. 最初と最後の頁 222-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bph.13360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Dohi T, Nojiri T, Kobayashi T, Hirowatari Y, Inoue A, Kano K, Matsumoto H, Igarashi K, Nishikawa M, Miyauchi K, Daida H, Ikeda H, Aoki J, Yatomi Y	4. 巻 4
2. 論文標題 Blood levels of serotonin are specifically correlated with plasma lysophosphatidylserine among the glycerol-lysophospholipids	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 BBA Clin	6. 最初と最後の頁 92-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbacli.2015.08.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tokuhara Y, Kurano M, Shimamoto S, Igarashi K, Nojiri T, Kobayashi T, Masuda A, Ikeda H, Nagamatsu T, Fujii T, Aoki J, Yatomi Y	4. 巻 10
2. 論文標題 A New Enzyme Immunoassay for the Quantitative Determination of Classical Autotaxins (ATX <sub>1</sub> , ATX <sub>2</sub> , and ATX <sub>3</sub> ) and Novel Autotaxins (ATX <sub>4</sub> and ATX <sub>5</sub> )	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0130074
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0130074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohkawa R, Kurano M, Mishima Y, Nojiri T, Tokuhara Y, Kishimoto T, Nakamura K, Okubo S, Hosogaya S, Ozaki Y, Yokota H, Igarashi K, Ikeda H, Tozuka M, Yatomi Y	4. 巻 48
2. 論文標題 Possible involvement of sphingomyelin in the regulation of the plasma sphingosine 1-phosphate level in human subjects	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clin Biochem	6. 最初と最後の頁 690-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinbiochem.2015.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishikawa M, Kurano M, Ikeda H, Aoki J, Yatomi Y	4. 巻 22
2. 論文標題 Lysophosphatidylserine has Bilateral Effects on Macrophages in the Pathogenesis of Atherosclerosis	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Atheroscler Thromb	6. 最初と最後の頁 518-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5551/jat.25650	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Suzuki A, Inoue A, Tokuhara Y, Kano K, Matsumoto H, Igarashi K, Ohkawa R, Nakamura K, Dohi T, Miyauchi K, Daida H, Tsukamoto K, Ikeda H, Aoki J, Yatomi Y	4. 巻 35
2. 論文標題 Possible involvement of minor lysophospholipids in the increase in plasma lysophosphatidic acid in acute coronary syndrome	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Arterioscler Thromb Vasc Biol	6. 最初と最後の頁 463-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/ATVBAHA.114.304748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurano M, Tsukamoto K, Hara M, Ohkawa R, Ikeda H, Yatomi Y	4. 巻 35
2. 論文標題 LDL receptor and ApoE are involved in the clearance of ApoM-associated sphingosine 1-phosphate	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 2477-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M114.596445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 葦野 信, 可野 邦行, 矢富 裕, 青木 淳賢	4. 巻 33
2. 論文標題 リゾリン脂質を標的とした診断と創薬	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 実験医学増刊号「脂質疾患学」(羊土社)	6. 最初と最後の頁 178-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔵野 信, 矢富 裕	4. 巻 63
2. 論文標題 リゾリン脂質と動脈硬化：虚血性心疾患予防への新たなアプローチとしての可能性	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 呼吸と循環	6. 最初と最後の頁 847-851
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢富 裕	4. 巻 63
2. 論文標題 脂質メディエーターの臨床検査	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床病理	6. 最初と最後の頁 1183-1186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢富 裕	4. 巻 23
2. 論文標題 リゾリン脂質と免疫制御 基礎から応用へ オートタキシン	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 炎症と免疫	6. 最初と最後の頁 280-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計601件 (うち招待講演 282件 / うち国際学会 208件)

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Biology of LipoQuality: Omega-3 fatty acid cascade that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism that confers anti-inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 The 7th International Conference on Food Factors (ICoFF2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 (特別講演) リポクオリティの生物学：炎症や組織恒常性を制御する 3 脂肪酸代謝カスケード
3. 学会等名 第93回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Advanced lipidomics to unveil the potential link between lipid metabolism and biological phenotypes
3. 学会等名 RIKEN Glyco-lipidologue Project Symposium 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 JKiC研究開発フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 (特別講演)リポクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第6回公開シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態・バイオロジーを制御する多彩なりポクオリティ
3. 学会等名 第30回分子糖尿病学シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒羽小羊子、堅田侑作、宍倉匡祐、栗原俊英、有田誠
2. 発表標題 網膜中DHA含有リン脂質の生理学的意義の解明
3. 学会等名 第13回メタボロームシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津川裕司、池田和貴、高橋みき子、有田正規、有田誠
2. 発表標題 MS-DIAL4.0によるlipidomics standards initiativeに基づく120脂質クラスの包括的解析
3. 学会等名 第13回メタボロームシンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 5th LipidALL International Lipid Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Polyunsaturated fatty acid metabolism that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 2019 NHR1/IBMS joint International Conference on Inflammation and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティと脂質栄養
3. 学会等名 日本脂質栄養学会第28回大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 炎症や組織恒常性を制御する 3 脂肪酸代謝カスケード
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東瑛美、山根剛、宮田純、有田誠
2. 発表標題 好酸球性気道炎症における12/15-リポキシゲナーゼの機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野祐介、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 ヒト培養ケラチノサイトにおける脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋優花、小川護、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性結膜炎における12/15-リポキシゲナーゼの機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守先由輝子、岡橋伸幸、高藤真由子、池田和貴、有田誠
2. 発表標題 共役リノール酸が脂質代謝に与える影響の包括的解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡橋伸幸、安田柊、上田政宏、津川裕司、池田和貴、有田誠
2. 発表標題 LC-Q-TOFMSを用いた腸内細菌代謝物のノンターゲットリピドミクス
3. 学会等名 第44回日本医用マススペクトル学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野愛美、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性接触性皮膚炎の病態形成過程における脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of omega-3/6 fatty acid balance in inflammation and related diseases
3. 学会等名 The 3rd JCS Council Forum on Basic Cardiovascular research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野愛美、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アレルギー性接触性皮膚炎の病態制御に関わる脂肪酸代謝系の包括的解析
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iino Y, Naganuma T, Arita M
2. 発表標題 Untargeted lipidomics revealed dysregulated ceramide metabolism in the initiation phase of atopic dermatitis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshida M, Ishihara T, Arita M
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid epoxygenase is involved in the regulation of immunological homeostasis in the skin
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Aoki H, Kang JX, Arita M.
2. 発表標題 Fat-1 transgenic mice exhibit less fibrosis and inflammatory phenotypes in nonalcoholic fatty liver disease
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirata T, Ikeda K, Yamamoto K, Arita M
2. 発表標題 Untargeted lipidomics of human vascular endothelial cells under shear stress
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oka Y, Yonejima Y, Yasuda S, Arita M
2. 発表標題 Gut microbial metabolite 10-hydroxy-cis-12-octadecaenoic acid (HYA), a novel postbiotics with anti-inflammatory property
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sasaki H, Kaneda Y, Rogi T, Shibata H, Aoyagi R, Ikeda K, Arita M
2. 発表標題 Age-associated changes in phospholipid profiles and polyunsaturated fatty acid metabolism in the brain: a lipidomics analysis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyata J, Fukunaga K, Kawashima Y, Watanabe T, Saitoh A, Hirosaki T, Ohara O, Arita M
2. 発表標題 Dysregulated fatty acid metabolism in nasal polyp-derived eosinophils from patients with chronic rhinosinusitis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa M, Isobe Y, Ishihara T, Uchno Y, Tsubota K, Arita M
2. 発表標題 Eosinophils promote corneal wound healing via the 12/15-lipoxygenase pathway
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ikeda K, Yasuda S, Arita M
2. 発表標題 Multi-lipidomics for grasping metabolic crosstalk between host and intestinal bacteria
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsugawa H, Satoh A, Uchino H, Takahashi M, Arita M, Arita M
2. 発表標題 A computational workflow to link untargeted and targeted lipidomics
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsugawa H, Ikeda K, Suwa K, Arita M, Arita M
2. 発表標題 Database for understanding the quality of lipids
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Biology of LipoQuality: omega-3 fatty acid cascade that controls inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質代謝とアレルギー性炎症
3. 学会等名 第68回日本アレルギー学会学術集会（会長企画JSA-JSIシンポジウム）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 オメガ3脂肪酸代謝による疾患制御
3. 学会等名 第73回日本栄養・食糧学会シンポジウム（油脂・コレステロール研究会共催）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems
3. 学会等名 William Harvey Research Institute Seminar（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本美穂，大窪喜丸，稲住知明，杉本聡子，土屋創健，杉本幸彦
2. 発表標題 多価不飽和脂肪酸としての 3脂肪酸摂取が雌性生殖と母性行動に与える影響
3. 学会等名 日本薬学会第140年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲住知明, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体による脂質恒常性の調節機構
3. 学会等名 第93回日本薬理学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木諒也, 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンI2受容体によるマスト細胞の炎症応答の制御機構
3. 学会等名 第36回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大塚友絵, 稲住知明, 大窪喜丸, 馬驍彦, 杉本聡子, 土屋創健, 廣田泰, 竹尾透, 中潟直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 複数のプロスタグランジン受容体による着床調節機構
3. 学会等名 第36回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症におけるプロスタグランジンE受容体の役割
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 食事由来 3脂肪酸含有食が雌性生殖と母性行動に与える影響
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲住知明, 大窪喜丸, 馬驍彦, 大塚友絵, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 複数の受容体を介したプロスタグランジンの着床制御機構
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症におけるプロスタグランジンE受容体機能の解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 高 3脂肪酸含有食が母性行動に与える影響とその分子機構の解析
3. 学会等名 第18回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩穴拓也, 告恭史郎, 岸本幸一朗, 岩崎亮, 稲住知明, 川原敦雄, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ腎臓形成におけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hashimoto M, Okubo K, Inazumi T, Sugimoto T, Tsuchiya S, Yamashita A, Suhara Y, Arita M, Sugimoto Y.
2. 発表標題 The effect of dietary omega-3 fatty acids on female reproduction and nursing behavior
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inazumi T, Okubo K, Xiaoyen Ma, Otsuka T, Hirai Y, Sugimoto T, Tsuchiya S, Takeo T, Nakagata N, Sugimoto Y.
2. 発表標題 The role of multiple prostanoid receptors in embryo implantation and spacing
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugimoto Y.
2. 発表標題 Roles of prostaglandin EP4 receptor axis in adipocytes: relevance of LipoQuality
3. 学会等名 2nd International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田沙夜可, 佐藤弘康, 武富芳隆, 曾我朋義, 相葉俊樹, 大迫誠一郎, 村上誠
2. 発表標題 リン脂質とエピゲノムを結ぶ新規脂質代謝酵素の解析
3. 学会等名 第23回日本栄養病態学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 リン脂質代謝異常と循環器疾患
3. 学会等名 第80回BLOOD VESSEL CLUB (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平林哲也, 武市拓也, 笠原浩二, Alan R. Brash, 村上誠, 秋山真志
2. 発表標題 アシルセラミド代謝を介した皮膚バリア形成機構
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2ファミリーによる代謝調節
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 ホスホリパーゼA2を起点としたリゾリン脂質経路とアレルギー
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長崎祐樹, 川井恵梨佳, 田中充樹, 戸田圭祐, 津嘉山泉, 川上祐生, 高橋吉孝, 岡崎愉加, 三木寿美, 山本圭, 村上誠, 山本登志子
2. 発表標題 ヒトとウシの乳汁中脂質プロファイル解析
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月茅可, 高宮里奈, 杉本奈央, 三木寿美, 武富芳隆, 村上誠
2. 発表標題 乾癬におけるXIIA型ホスホリパーゼA2 (sPLA2-XIIA) の役割
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梁陸伊韻, 三木寿美, 平林哲也, 平家圭奈子, 小林哲幸, 山本圭, 武富芳隆, 高宮里奈, 村上誠
2. 発表標題 皮膚における新規細胞質型ホスホリパーゼA2 (cPLA2, cPLA2) の機能解析
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤弘泰, 武富芳隆, 三木寿美, 村上誠
2. 発表標題 脂肪細胞のベージュ化に関わる2種類のThermogenic sPLA2sの同定
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原田沙夜可, 武富芳隆, 川口舞, 平林哲也, 大迫誠一郎, 村上誠
2. 発表標題 リゾホスホリパーゼPNPLA7はメチオニン欠乏により誘導されエビゲノム制御に関わる
3. 学会等名 フォーラム2019衛生薬学・環境トキシコロジー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2分子ファミリーによるリポクオリティ調節と疾患制御
3. 学会等名 第17回レドックス・ライフイノベーションシンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murakami M.
2. 発表標題 Phospholipid metabolism and lipid mediators in health and diseases
3. 学会等名 Asia Pacific Society for Biology and Medical Sciences (APSBMS) 2019 Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 sPLA2ファミリーと代謝疾患
3. 学会等名 第40回日本炎症・再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2と炎症・再生
3. 学会等名 第40回日本炎症・再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 PLA2分子群と皮膚疾患
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口舞，平林哲也，笠原浩二，村上誠
2. 発表標題 PNPLA8、PNPLA7を介した内因性コリン産生経路は肝臓のメチル基供給に寄与する
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本圭, 箱井春香, 三木寿美, 村上誠
2. 発表標題 IIF型分泌性ホスホリパーゼA2/リゾプラスマローゲン経路は表皮肥厚性疾患の新規創薬ターゲットである
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takagi K, Taketomi Y, Tanoue A, Matsuyama T, Sakaue K, Machida K, Murakami M, Inoue H.
2. 発表標題 PLA2G3-driven lysophospholipid pathway protects against allergic asthma
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Harada S, Taketomi Y, Kawaguchi M, Hirabayashi T, Murakami M.
2. 発表標題 The lysophospholipase PNPLA7 is induced by methionine depletion and is linked to epigenetic regulation
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawaguchi M, Hirabayashi T, Murakami M.
2. 発表標題 Phosphatidylcholine catabolism mediated by PNPLA8 and PNPLA7 has an important role in supplying methyl groups in the liver
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Liang L, Heike K, Kobayashi T, Hirabayashi T, Miki Y, Yamamoto K, Taketomi Y, Murakami M.
2. 発表標題 Group IVE phospholipase A2 (cPLA2 ) mobilizes the non-canonical lipid mediator N-acylethanolamine in mouse skin
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miki Y, Taketomi Y, Yamamoto K, Hosomi K, Kunisawa J, Siddabasave GB, Ikeda K, Arita M, Murakami M.
2. 発表標題 Group IIA phospholipase A2 regulates gut microbiome
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murase R, Taketomi Y, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M.
2. 発表標題 Distinct Roles of phospholipase A2s in colitis and colonic cancer
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato H, Taketomi Y, Miki Y, Yamamoto K, Makoto Murakami
2. 発表標題 Group IID phospholipase A2 promotes browning of white adipose tissue and limits diet-induced obesity
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taketomi Y, Miyazaki T, Sato H, Miki Y, Murakami M.
2. 発表標題 Group III phospholipase A2 promotes atherosclerosis
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kudou K, Miki Y, Higuchi H, Yamamoto K, Murakami M, Kotani A.
2. 発表標題 Exosome could be the source of lipid mediator in cancer platform
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toda K, Nagasaki Y, Tsukayama I, Tamenobu A, Konoike Y, Ganeko N, Ito H, Kawakami Y, Takahashi Y, Miki Y, Yamamoto K, Murakami M, Suzuki-Yamamoto T.
2. 発表標題 Inhibition of arachidonate 5-lipoxygenase and improvement in psoriasis by red rice proanthocyanidin
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto K, Hakoï H, Miki Y, Murakami M.
2. 発表標題 Group IIF phospholipase A2/lysoplasmalogen axis is a novel drug target for epidermal-hyperplasic disease
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Murakami M.
2. 発表標題 LipoQuality regulation by the phospholipase A2 family
3. 学会等名 2nd International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上誠
2. 発表標題 脂質とアレルギー疾患
3. 学会等名 第68回日本アレルギー学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口舞, 平林哲也, 村上誠
2. 発表標題 Identification of a novel metabolic pathway that links phospholipids to methionine metabolism
3. 学会等名 第19回東京大学生命科学シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yokomizo, T
2. 発表標題 The roles of omega-3 and omega-6 fatty acids in ocular diseases
3. 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids, Invited lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Okuno, T Takahashi, N Yokomizo, T
2 . 発表標題 COX-2, cPGES, and SLC02A1-dependent ammonic PGE2 accumulation during human labor
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hashimoto, Y Ito, N Saigusa, D Okuno, T Yokomizo, T
2 . 発表標題 Lysophosphatidic Acid Mediates Acute Inflammatory Pain in Mice Models
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Uzawa, H Saeki, K Koga, T Okuno, T Miyatsuka, T Watada, H Yokomizo, T
2 . 発表標題 The role of leukotriene A4 hydrolase in metabolism
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Koutsogiannaki, S Wang, W Bautista, J Okuno, T Yokomizo, T Yuki, K
2 . 発表標題 2 integrins affect eicosanoid production and breast cancer growth
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nagatake, T Hirata, S I Koga, T Kuroda, E Kobari, S Suzuki, H Hosomi, K Matsumoto, N Yanrismet, Y Shimojou, M Marimoto, S Sasaki, F Ishii, K J Yokomizo, T Kunisawa, J
2 . 発表標題 BLT1 promotes intestinal IgA production against oral vaccine by mediating commensal bacteria-dependent innate immune signals for plasma cell proliferation
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Chi, Y Saeki, K Yokomizo, T
2 . 発表標題 Protective roles of leukotriene B4 receptor type 2 in pneumolysin-induced epithelial injury
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Koga, T Sasaki, F Saeki, K Okuno, T Nakao, M Yokomizo, T
2 . 発表標題 Spatiotemporal regulation of novel DC subsets by LTB4-BLT1 signaling
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hirakata, T Lee, C H Yasukawa, K Adachi, K Saeki, K Okuno, T Murakami, A Matsuda, A Yokomizo, T
2 . 発表標題 Deficiency of BLT1, the high-affinity receptor for LTB4, alleviates allergic conjunctivitis in mice
3 . 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Ri, K Lee, C H Yokomizo, T
2. 発表標題 Regulatory mechanism of expression of polyunsaturated fatty acids-related genes
3. 学会等名 60th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李賢哲、李慶賢、平形寿彬、横溝岳彦
2. 発表標題 脂肪酸不飽和化酵素FADS2欠損マウスにおける脂質プロファイル異常
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李慶賢、李賢哲、横溝岳彦
2. 発表標題 高度不飽和脂肪酸欠乏時における脂質関連遺伝子発現の変動
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥野利明、高橋七瀬、横溝岳彦
2. 発表標題 ヒト陣痛における羊水中PGE2蓄積は細胞質型PGE合成酵素依存적である
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上野紀子、中西広樹、李賢哲、横溝岳彦
2. 発表標題 リン脂質におけるイオンモビリティ値である衝突断面積の解析
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木文之、古賀友紹、横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4産生経路およびロイコトリエンB4受容体BLT1は滲出型加齢黄斑変性症の新規治療標的となる
3. 学会等名 第40回日本炎症・再生学会 (シンポジウム) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴澤博嗣、古賀友紹、佐伯和子、奥野利明、綿田裕孝、横溝岳彦
2. 発表標題 代謝におけるロイコトリエンA4水解酵素の役割の解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李賢哲、Cravatt, B F、横溝岳彦
2. 発表標題 セリン加水分解酵素ABHD4の生化学的解析および機能解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hoshino, Y Ito, N Saigusa, D Okuno, T Yokomizo, T
2. 発表標題 Lysophosphatidic acid mediates formalin-induced inflammatory pain in mice
3. 学会等名 49th Annual meeting of the society for Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yokomizo, T
2. 発表標題 The roles of leukotriene B4 receptor in macrophage and dendritic cell
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases, Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okuno, T Jimbo, K Ohgaki, R Kanai, Y Shimizu, T Yokomizo, T
2. 発表標題 Identification of a novel mutation in SLC02A1 gene, encoding a prostaglandin transporter
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases, Progress in Lipid Research-Young Investigator Award Lecture (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasukawa, K Lee, C H Tominaga, M Ohba, M Takahashi, N Honda, K Okuno, T Takamori, K Yokomizo, T
2. 発表標題 The effects of dietary supplementation of an omega-3 fatty acid eicosapentaenoic acid on pruritus in murine atopic dermatitis and psoriasis models
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishizuka, K Kon, K Lee, H C Arai, K Uchiyama, A Fukada, H Yamashina, S Yokomizo, T Ikejima, A Ikejima, K
2. 発表標題 Age-related enhancement of cellular stresses and lipotoxicity exacerbates dietary steatohepatitis in mice
3. 学会等名 AASLD The Liver Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tada, M Uchiyama, A Lee, H C Arai, K Fukuhara, K Kon, K Yamashina, S Ikejima, K
2. 発表標題 Dietary glycine prevents metabolic steatohepatitis in diabetic KK-Ay mice through remodeling of hepatic lipid profile
3. 学会等名 AASLD The Liver Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Eiji Yamamoto, Toshiyoshi Yamamoto, Junko Sasaki
2. 発表標題 Lipoquality of phosphoinositides
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木純子、佐々木雄彦
2. 発表標題 卵巣の性維持とイノシトールリン脂質
3. 学会等名 第18回生命科学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本利義、阿部史人、田川博之、佐々木雄彦.
2. 発表標題 リンパ腫細胞株ホスホイノシタイド脂肪酸組成の多変量解析を用いた抗がん剤感受性予測について
3. 学会等名 第18回生命科学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 良い脂質、悪い脂質、普通の脂質
3. 学会等名 文の京最先端生命科学講座第24回（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木純子，山本詠土，長谷川純矢，佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質のアシル基と生理機能
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高鳥翔，井口明優，木村新伍，佐々木純子，佐々木雄彦，高井俊行，齊藤貴志，西道隆臣，富田泰輔
2. 発表標題 アルツハイマー病遺伝学的リスク因子INPP5Dの病態関与に関する研究
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 成田伸太郎, 中西広樹, 松田芳教, 小泉淳, 江口賢史, 高須賀俊輔, 黄明国, 井上高光, 佐々木純子,
2. 発表標題 腎癌におけるイノシトールリン脂質発現プロファイル
3. 学会等名 日本癌学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井口明優, 高鳥翔, 木村新伍, 佐々木純子, 斉藤貴志, 西道隆臣, 高井俊行, 佐々木雄彦, 富田泰輔
2. 発表標題 アルツハイマー病リスク遺伝子INPP5D がTREM2 シグナル伝達において果たす役割の解明
3. 学会等名 Dementia Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junko Sasaki, Eiji Yamamoto, Toshiyoshi Yamamoto, Takehiko Sasaki
2. 発表標題 Molecular dissection of phosphoinositides
3. 学会等名 The 14th International Symposium of the Institute Network for Biomedical Sciences 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Eiji Yamamoto, Toshiyoshi Yamamoto, Junko Sasaki
2. 発表標題 Phosphoinositide Fingerprinting in Cancer
3. 学会等名 TOHOKU FORUM for CREATIVITY Thematic Program "Cancer - from Biology to Acceptance" International Symposium 2 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木雄彦、山本利義、佐々木純子
2. 発表標題 ホスホイノシタイトの分子解剖と新しい研究方法論
3. 学会等名 機能脂質シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Nuclear lipid droplets
3. 学会等名 EuroCellNet Workshop “ Nuclear architecture, lipids, and phase separation ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Lipid droplet formation in the nucleus
3. 学会等名 University of Zurich Institute of Molecular Life Science, Lecture series in molecular life sciences, 2019, 2019, 1, 1 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Lipid droplets in the hepatocyte nucleus
3. 学会等名 17th Chinese Biophysics Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Phospholipid landscape in cellular membranes
3. 学会等名 60th ICBL LipoQuality Satellite Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 脂質の細胞生物学 ~脂肪滴と脂質ドメインの解析~
3. 学会等名 The Future of Diabetes Conference 2020 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 肝細胞核内脂肪滴の生理的機能
3. 学会等名 第39回アルコール医学生物学研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 脂肪滴の謎を探る
3. 学会等名 認定NPO法人 総合画像研究支援 創立十五周年記念シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本豊土
2. 発表標題 脂肪滴と膜脂質の解析
3. 学会等名 生化学若い研究者の会 近畿支部主催 初夏のセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 蔵野 信, 西川 真子, 五十嵐 浩二, 村上 正巳, 矢富 裕
2. 発表標題 血中グリセロリソリン脂質産生酵素はバセドウ病で上昇する.
3. 学会等名 第116回 日本内科学会総会・講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 蔵野 信, 塚本 和久, 原 眞純, 矢富 裕
2. 発表標題 スフィンゴシン1-リン酸/アポ蛋白Mによる抗インスリン抵抗性作用の解明.
3. 学会等名 第62回 日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 蔵野 信, 住谷 昌彦, 坂井 英里, 可野 邦行, 青木 淳賢, 矢富 裕
2. 発表標題 髄液中リゾホスファチジン酸, リゾホスファチジルコリンは客観的疼痛マーカーである.
3. 学会等名 第44回 日本医用マスペクトル学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 蔵野 信, 森田 賢史, 坂井 英里, Uranbileg B, 青木 淳賢, 矢富 裕.
2. 発表標題 ヒトサンプルを用いた生理活性脂質測定系によるヒト疾患病態の解明と臨床検査への応用.
3. 学会等名 第66回 日本臨床検査医学会学術集会. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Ito, N., Kurano, M., Ikeda, H., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Involvement of LPA and its precursor LPC, in spinal cord stenosis: A study using a rat CEC model.
3. 学会等名 第59回 日本臨床化学会年次学術集会.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Kurano, M., Sato, M., Ikeda, H., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Possible involvement of PS-PLA1 and lysophosphatidylserine receptor (LPS1) in hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 第66回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kurano, M. and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Apolipoprotein M and sphingosine 1-phosphate prevents the progression of diabetic nephropathy.
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Ito, N., Kurano, M., Saigusa, D., Kano, K., Ikeda, H., Yamada, Y., Sekiguchi, M., Aoki, J., Sumitani, M., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Involvement of Lysiposphatidic acid and Autotaxin in neuropathic pain caused by spinal cord stenosis in rat models.
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yatomi, Y. and Kurano, M.
2. 発表標題 Lysophospholipids as disease biomarkers. 2nd International Conference on Lipoquality.
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yatomi, Y. and Kurano, M.
2. 発表標題 Involvement of dysregulation of apolipoprotein M, a sphingosine 1-phosphate carrier, in human diseases.
3. 学会等名 16th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Cheminformatics for Predicting Structures from Mass Spectra
3. 学会等名 1st Annual Conference of Chinese Society of Metabolomics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Data sharing and the power of omics integration
3. 学会等名 6th Global Forum of Leaders for Agricultural Science and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Promoting trans-omics study through the project of “Imaging Platform”
3. 学会等名 The 29th Hot Spring Harbor International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 生体試料を光で判別するための分析シート
3. 学会等名 ライフサイエンス 新技術説明会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 顕微質量分析法の分子解剖学への展開と新分野の開拓
3. 学会等名 日本学術振興会マイクロビームアナリシス141委員会 受賞記念講演 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡について
3. 学会等名 第15回日本ファブリー病フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Mass Spectrometry based imaging of LipoQuality
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量分析技術の老化研究への応用
3. 学会等名 第19回日本抗加齢学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 脂質のマスイメージング
3. 学会等名 第67回質量分析総合討論会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田口友彦、向井康治朗
2. 発表標題 自然免疫分子STINGの活性化を支えるゴルジ体脂質ドメイン
3. 学会等名 第61回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田口友彦、向井康治朗
2. 発表標題 自然免疫分子STINGの活性を厳密に制御する細胞内物質輸送
3. 学会等名 2019年生理学研究所研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 向井康治朗、仁木隆裕、新井洋由、田口友彦
2. 発表標題 自然免疫分子STINGの活性化分子機構
3. 学会等名 第92回生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomohiko Taguchi
2. 発表標題 Indication of the involvement of a Golgi sphingomyelin-enriched domain in the innate immunity signalling
3. 学会等名 GLYC025th（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 反町典子、田口友彦
2. 発表標題 Cis-interaction between NK receptor and MHC class I mediates bulk phagocytosis in macrophages
3. 学会等名 第48回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Dat Nguyen-Tien、小林俊彦、反町典子
2. 発表標題 SLC15A3 inhibits autophagy in macrophage and dendritic cells
3. 学会等名 第48回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noriko Toyama-Sorimachi.
2. 発表標題 Sphingolipid microdomains in innate immune cells.
3. 学会等名 2nd International Conference on LipoQuality 2019 (60th ICBL Satellite Symposium) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 反町典子
2. 発表標題 エンドリソソームに依存した炎症制御-疾患横断的治療標的の探索に向けて-
3. 学会等名 免疫サマースクール2019 in 愛媛 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawanabe A, Nishizawa M, Nishizawa K, Narita H, Yonezawa T, Jinno Y, Sakata S, Nakagawa A, Okamura Y.
2. 発表標題 The conformational change of the cytoplasmic region of voltage-sensing phosphatase
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第97回日本生理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kawai T, Okamura Y
2. 発表標題 Regulation of phosphoinositide distribution by voltage-sensing phosphatase in mouse spermatozoa
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第97回日本生理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sugimoto S, Kawai T, Okamura Y
2. 発表標題 Analyzing PI(4,5)P2 sensitivity of GABAA receptor by voltage sensing phosphatase
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第97回日本生理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mizutani N, Okamura Y
2. 発表標題 Alteration in the coupling between voltage sensor movement and phosphatase activity in voltage-sensing phosphatase with mutation in voltage sensor domain
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第97回日本生理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okochi Y, Tsutsui H, Okamura Y.
2. 発表標題 Establishment of a method measuring membrane potential in phagosomes
3. 学会等名 the 97th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (第97回日本生理学会大会) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mizutani N, Okamura Y
2. 発表標題 Coupling Mechanisms of VSD Mutants of Cl-VSP
3. 学会等名 64th Biophysical Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河合喬文、岡村康司
2. 発表標題 マウス精子に存在する電位依存性ホスファターゼの機能
3. 学会等名 第112回近畿生理学談話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y
2. 発表標題 Regulation of ion channels by distribution of phospholipids in mouse sperm
3. 学会等名 Ion Channel Modulation Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawanabe A, Mizutani N, Yonezawa T, Okamura Y
2. 発表標題 Improvement of voltage-sensing phosphatase as a molecular tool for phosphoinositide depletion in living cells
3. 学会等名 The 57th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y, Jinno Y, Hashimoto M, Nishino J, Sasakura Y, Nishino A, Kawai T
2. 発表標題 Evolutional insight into the origin of clustering of voltage-gated sodium channels
3. 学会等名 NEURO2019 (第42回日本神経科学大会、第62回日本神経化学会大会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y
2. 発表標題 Functional role of VSP in mouse sperm through its regulation of phosphoinositide distribution
3. 学会等名 The 7th International Ion Channel Conference (IICC-7) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okochi Y, Tsutsui H, Okamura Y.
2. 発表標題 Analysis of membrane potential of phagosome in phagocytes
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawanabe A, Hashimoto M, Yonezawa T, Jinno Y, Okamura Y.
2. 発表標題 The hydrophobic protein-membrane interface maintains an activity of a phosphoinositide phosphatase
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawai T, Miyata H, Nakanishi H, Sakata S, Okochi Y, Watanabe M, Fujimoto T, Sakimura K, Sasaki T, Ikawa M, Okamura Y
2. 発表標題 Function of voltage-sensing phosphatase in mouse sperm
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y, Kawai T, Kawanabe A
2. 発表標題 Voltage sensing phosphatase: crossroad of electrical signal and lipid signal
3. 学会等名 60th International Conference on the Bioscience of Lipids (ICBL2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y
2. 発表標題 Molecular mechanisms and physiological functions of voltage-sensing phosphatase, VSP
3. 学会等名 Seminar on Vollum Institute, Oregon Health & Science University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田正規
2. 発表標題 Open genome analysis in the post-genomic era
3. 学会等名 International Workshop on Data Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田正規
2. 発表標題 Computational Metabolomics
3. 学会等名 6th Annual Korea Metabolomics Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辻琢磨、藤本豊士
2. 発表標題 スクランブラーゼによる細胞内ホスファチジルセリン分布の変化
3. 学会等名 第124回日本解剖学会総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 脂肪滴：多様な機能を持つオルガネラ
3. 学会等名 第124回日本解剖学会総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻琢磨、藤本豊士
2. 発表標題 電子顕微鏡によるホスファチジルセリンの細胞内分布解析
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 A new look at subcellular distribution of phosphatidylserine
3. 学会等名 Lipid Transporter Symposium 2018 “Flippases, Floppases and Scramblases”（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Nuclear lipid droplets: how they form and what they do in hepatocytes
3. 学会等名 59th International Conference on the Bioscience of Lipids（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Nuclear lipid droplets in hepatocytes: Implications for hepatic steatosis
3. 学会等名 FASEB Science Research Conference “Lipid Droplets on the Move from Health to Disease”（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタノイドクオリティによる生体制御
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上里穂, 中尾優子, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦,
2. 発表標題 マスト細胞炎症性応答に対するプロスタサイクリンIP受容体の役割
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞のIL-33誘導性サイトカイン産生に対するPGI2-IP受容体シグナルの抑制機構
3. 学会等名 平成30年度日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Stimulation and modulation of inflammatory mast cell responses by prostaglandin receptors
3. 学会等名 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 村上里穂, 中尾優子, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞炎症性応答におけるプロスタサイクリンIP受容体の役割
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Stimulation and modulation of inflammatory mast cell responses by prostaglandin receptors
3. 学会等名 7th European Workshop on Lipid Mediators (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生におけるプロスタグランジンの役割,
3. 学会等名 第91回日本生化学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 猿渡淳二, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体は生理的な脂肪細胞機能を調節する
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンとその受容体による脂質代謝の恒常性調節
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 猿渡淳二, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂肪細胞機能の調節機構
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田ひかる, 大窪喜丸, 橋本美穂, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 子宮内膜症に關与するプロスタグランジンE受容体の解析
3. 学会等名 第40回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 衛藤勝喜, 北條寛典, 吉岡美樹, 土屋裕義, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦.
2. 発表標題 マウス視索前野神経の突起伸長に対するプロスタグランジンE2-EP4受容体の役割
3. 学会等名 第35回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾優子, 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンI2は、マスト細胞の障害性炎症応答を抑制する
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂本理紗, 稲住知明, 藤原拓司, 河野佑子, 土屋創健, 杉本幸彦,
2. 発表標題 胎盤形成期におけるプロスタグランジンの機能解析
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junko Sasaki, Satoshi Eguchi, Hiroki Nakanishi, Takehiko Sasaki
2. 発表標題 Molecular mechanisms of phosphoinositide signaling
3. 学会等名 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Satoshi Kofuji, Shunsuke Takasuga, Junko Sasaki
2. 発表標題 The lipid phosphatase INPP4B is a tumor suppressor in the context of PTEN insufficiency
3. 学会等名 Workshop on Frontiers in Phosphatase Research and Drug Discovery (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 ホスホイノシタイトの異常と疾患
3. 学会等名 第176回 東京脂質談話会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 細胞膜リン脂質動態の生理と病態：An overview
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本詠士、佐々木純子、Mark S.P. Sansom、佐々木雄彦
2. 発表標題 リボクオリティがプレクストリン相同ドメインと生体膜の相互作用に与える影響
3. 学会等名 第60回 日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森田 賢史，蔵野信，矢富裕．
2. 発表標題 癌性髄膜炎における髄液中リゾリン脂質の測定意義．
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会．
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川 真子, 蔵野 信, 五十嵐 浩二, 矢富 裕.
2. 発表標題 造血管腫瘍の病態生理におけるオートタキシンの関与.
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川 真子, 蔵野 信, 小室 由佳, 志村 拓也, 五十嵐 浩二, 矢富 裕.
2. 発表標題 オートタキシンはリンパ腫バイオマーカーとして可溶性IL-2レセプターと同等の診断能を有する.
3. 学会等名 第19回 日本検査血液学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川 尚子, 蔵野 信, Baasanjav Uranbileg, 池田 均, 矢富 裕
2. 発表標題 アラキドン酸またはDHA添加時の脂質メディエーターの解析: 肝癌細胞株および大腸癌細胞株における検討.
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 志村 拓也, 蔵野 信, 森田 賢史, 西川 真子, 吉川 直之, 田中 雅美, 下坂 浩則, 常名 政弘, 島本 怜史, 五十嵐 浩二, 矢富 裕.
2. 発表標題 髄液検体におけるsIL-2RとATX 造血管腫瘍の中樞神経浸潤バイオマーカーとしての有用性.
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 志村 拓也, 蔵野 信, 吉川 直之, 森田 賢史, 田中 雅美, 西川 真子, 常名 政弘, 五十嵐 浩二, 矢富 裕
2. 発表標題 造血管腫瘍の髄膜浸潤におけるATX/LPA axisの関与 臨床検体を用いた検討.
3. 学会等名 第19回 日本検査血液学会学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Ikeda, H., Kurano, M., Saigusa, D., Kano, K., Aoki, J., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 The importance of S1P lyase in the pathophysiology of hepatocellular carcinoma and colon cancer.
3. 学会等名 The 15th Congress of the Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine (ASCPaLM). (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Kurano, M., Nishikawa, T., Sato, M., IkedaH., and Yatomi, Y
2. 発表標題 The importance of S1P lyase in the pathophysiology of hepatocellular carcinoma and colon cancer.
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Hasegawa, K., Ito, N., Kurano, M., Saigusa, D., Kano, K., Ikeda, H., Sumitani, M., Aoki, J., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 The Status of the Sphingolipid Metabolism in Rat Cauda Equina Compression Model.
3. 学会等名 第58回 日本臨床化学会年次学術集会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 蔵野 信, 常山 幸一, 矢富 裕
2. 発表標題 中枢神経系のアポ蛋白Mの役割 .
3. 学会等名 第65回 日本臨床検査医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 蔵野 信, 塚本 和久, 原 眞純, 矢富 裕 .
2. 発表標題 アポ蛋白M/スフィンゴシン1-リン酸軸の糖尿病性腎症における役割
3. 学会等名 第33回 日本糖尿病合併症学会学術集会 .
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 蔵野 信, 矢富 裕 .
2. 発表標題 新規生理活性脂質リゾホスファチジルセリンの炎症への関与 : 分子種による作用の相違 .
3. 学会等名 第58回 日本臨床化学会年次学術集会 .
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 蔵野 信, 塚本 和久, 原 眞純, 矢富 裕 .
2. 発表標題 肝臓NPC1L1は血漿スフィンゴシン1-リン酸を増加させる
3. 学会等名 第50回 日本動脈硬化学会総会・学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 蔵野 信, 塚本 和久, 清水 知, 矢富 裕.
2. 発表標題 糖代謝異常におけるスフィンゴシン1-リン酸/アポ蛋白M軸の役割.
3. 学会等名 第60回 日本脂質生化学会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi, T., Toyama-Sorimachi, N.
2. 発表標題 Regulation of the allergic inflammation by non-canonical type I interferon signaling
3. 学会等名 6th Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi, T., Tsutsui, H., Toyama-Sorimachi, N.
2. 発表標題 Regulation of the allergic inflammation by non-canonical type I interferon signaling
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会・総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi, T., Toyama-Sorimachi, N.
2. 発表標題 Controlling the innate immune signaling by the proton-coupled peptide transporters
3. 学会等名 The 9th Federation of Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 反町典子、小林俊彦
2. 発表標題 リソソーム局在型アミノ酸トランスポーターに依存した炎症制御機構
3. 学会等名 感覚免疫研究会2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林俊彦、筒井俊充、反町典子
2. 発表標題 肺組織の炎症と修復におけるペプチドトランスポーター-SLC15A3の役割
3. 学会等名 第13回トランスポーター研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水谷夏希、大河内善史、岡村康司
2. 発表標題 Na-Pi cotransporter活性のPI(4,5)P2に対する感受性の解析
3. 学会等名 第111回 近畿生理学談話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香山建斗、河合喬文、辰巳翔基、山本浩靖、崎村建司、木原進士、岡村康司
2. 発表標題 電位依存性プロトンチャネルは肝臓の糖新生を調節する
3. 学会等名 第111回 近畿生理学談話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大河内善史、岡村康司
2. 発表標題 電位依存性プロトンチャネルHv1/VSOPは、活性酸素の産生量の制御を介して、好中球の走化性を抑制する
3. 学会等名 第111回 近畿生理学談話会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村 康司、河合 喬文、川鍋 陽、筒井 秀和、坂田 宗平、佐々木 雄彦
2. 発表標題 電位依存性ホスファターゼVSP：14年を経て見えたこと、見えないこと
3. 学会等名 心血管膜輸送研究会2018「心臓・血管系の頑健性と精緻な制御を支える分子基盤の統合的解明」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江口 夏生、神野 有香、橋本 真宜、河合 喬文、西野 純子、大塚 幸雄、川鍋陽、西野 敦雄、笹倉 靖徳、岡村 康司
2. 発表標題 脊椎動物の稠密な脳の起源をホヤのNav チャンネルから理解する
3. 学会等名 第4 回ホヤ研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村 康司、川鍋 陽、坂田 宗平、神野 有香
2. 発表標題 電位依存性ホスファターゼにおける膜電位変化から脱リン酸化反応の変換機構
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川鍋 陽, 橋本 真宜, 米澤 智子, 神野 有香, 岡村 康司
2. 発表標題 電位依存性ホスファターゼVSPの疎水性膜界面の役割
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirotaka Narita, Makoto Matsuda, Yasushi Okamura, Atsushi Nakagawa
2. 発表標題 Structural analysis of voltage-sensing phosphatase (VSP) on the electrochemical coupling
3. 学会等名 The 55th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Natsuki Mizutani, Yoshifumi Okochi, Yasushi Okamura
2. 発表標題 The analysis of sensitivity of Na-Pi cotransporter activity to phosphoinositides
3. 学会等名 Europhysiology 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 江口夏生, 橋本真宜, 神野有香, 川鍋陽, 河合喬文, 岡村康司
2. 発表標題 ホヤ由来電位依存性ナトリウムチャネルの機能解析
3. 学会等名 第41回日本神経科学学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takafumi Kawai, Keizo Takao, Kenji Sakimura, Tsuyoshi Miyakawa, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Age-dependent regulatory function of microglial voltage-gated proton channels
3. 学会等名 第41回日本神経科学学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Ion-permeable voltage sensor domains
3. 学会等名 WCP2018 KYOTO Satellite Symposia New Insights into Ion Channel Functions and Pharmacology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村 康司
2. 発表標題 膜電位感受性イノシトールリン脂質ホスファターゼの動作原理とその応用
3. 学会等名 2018年 生理学研究所研究会 オルガネラ膜ナドメインの機能と動態
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水谷夏希、大河内善史、岡村康司
2. 発表標題 イノシトールリン脂質によるナトリウム依存性リン酸トランスポーターの活性制御
3. 学会等名 新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第4回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川鍋陽、橋本真宜、米澤智子、神野有香、岡村康司
2. 発表標題 電位依存性脂質ホスファターゼにおける疎水性膜界面の役割
3. 学会等名 新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第4 回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村 康司、中川 敦史
2. 発表標題 膜の疎水領域でのリポクオリティ認識機構とナノ膜ドメインの解明
3. 学会等名 新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第4 回領域会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Adisorn Ratanayotha, Takafumi Kawai, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Zn <sup>2+</sup> sensitivity of Hv1 channel: an evolutionary perspective
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019) , 第96回日本生理学会年会 合同大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takafumi Kawai, Haruhiko Miyata, Hiroki Nakanishi, Souhei Sakata, Yoshifumi Okochi, Masahiko Watanabe, Kenji Sakimura, Takehiko Sasaki, Masahito Ikawa, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Functional analysis of voltage-sensing phosphatase in mouse sperm
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019) , 第96回日本生理学会年会 合同大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Zhuan Zhou, Yuan Wang, Hiroki Arima, Rong Huang, Yuqi Hang, Xingyu Du, Feipeng Zhu, Zuying Chai, Changhe Wang, Yasushi Okamura
2. 発表標題 A new mechanism of Ca <sup>2+</sup> -independent voltage-dependent secretion in dorsal root ganglion neurons
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019), 第96回日本生理学会年会 合同大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshifumi Okochi, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Hv1/VSOP voltage-gated proton channel inhibits migration in response to fMLF in neutrophils
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019), 第96回日本生理学会年会 合同大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Natsuki Mizutani, Yoshifumi Okochi, Yasushi Okamura
2. 発表標題 The comparison of sensitivity between NaPi-IIa and NaPi-IIb activity to phosphoinositides
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019), 第96回日本生理学会年会 合同大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akira Kawanabe, Tomoko Yonezawa, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Cytoplasmic conformational changes of VSP detected by voltage clamp fluorescence spectroscopy
3. 学会等名 The 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies Congress (FAOPS2019), 第96回日本生理学会年会 合同大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masayo Iwaki, Kohei Takeshita, Hiroko X. Kondo, Kengo Kinoshita, Yasushi Okamura, Yu Takano, Atsushi Nakagawa, Hideki Kandori
2. 発表標題 Metal binding to the voltage-gated proton channel Hv1/VSOP
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takafumi Kawai, Natsuki Eguchi, Masaki Hashimoto, Yuki Yabuuchi, Yuka Jinno, Akira Kawanabe, Junko Nishino, Atsuo Nishino, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Rapid gating of sea squirt Nav1 channel does not require auxiliary subunit
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshifumi Okochi, Hidekazu Tsutsui, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Toward understanding of membrane potential in phagosomal membrane
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Kawanabe, Masaki Hashimoto, Tomoko Yonezawa, Yuka Jinno, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Regulation of two-step cytoplasmic conformational changes of voltage sensing phosphatase
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akira Kawanabe, Masaki Hashimoto, Tomoko Yonezawa, Yuka Jinno, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Regulation of two-step cytoplasmic conformational changes of voltage sensing phosphatase
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Natsuki Mizutani, Yoshifumi Okochi, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Electrophysiological characterization of two types of Na-Pi cotransporters
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Okamura, Akira Kawanabe, Kazuhisa Nishizawa, Takafumi Kawai
2. 発表標題 Mechanisms and physiological roles of voltage-sensing phosphatase
3. 学会等名 The 49th NIPS International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chi Y., Saeki K., Yokomizo T.
2. 発表標題 Protective role of leukotriene B4 receptor type 2 in pneumolysin-induced epithelial injury.
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 折田創, 伊志嶺百々子, 李賢喆, 小泉明博, 村井勇太, 加藤永記, 山本陸, 上田脩平, 櫻庭駿介, 徳田智史, 朝倉孝延, 氷室貴規, 櫛田知志, 櫻田睦, 田中顕一郎, 前川博, 横溝岳彦, 佐藤浩一
2. 発表標題 薬物代謝酵素カルボキシルエステラーゼの消化器癌における発現調節機構の解明
3. 学会等名 第56回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jagusch H, Werner M, Okuno T, Yokomizo T, Watz O, Pohnert G
2. 発表標題 An algal precursor rearranges in a new 1,8-diol forming reaction to bioactive LTB4 enantiomers
3. 学会等名 European Lipid Meeting 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Okuno T, Gijon MA, Yokomizo T, Murphy RC
2. 発表標題 Phospholipid remodeling altered eicosanoid production during cell culture
3. 学会等名 European Lipid Meeting 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐伯和子, 重松美沙子, 古賀友紹, 奥野利明, 横溝岳彦
2. 発表標題 生理活性脂質12-HHTのBLT2受容体を介した生体保護的役割
3. 学会等名 第91回日本生化学会シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鶴澤博嗣, 古賀友紹, 佐伯和子, 宮塚健, 綿田裕孝, 横溝岳
2. 発表標題 ロイコトリエンA4水解酵素の代謝における役割の解析
3. 学会等名 第91回日本生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平形寿彬, 李賢哲, 大場麻衣, 佐伯和子, 奥野利明, 松田彰, 村上晶, 横溝岳彦
2. 発表標題 マウスアレルギー性結膜炎モデルにおけるオメガ3脂肪酸食効果の検証
3. 学会等名 第1回日本眼科アレルギー学会学術集会(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Okuno T, Hori T, Yokoyama S, Yokomizo T
2. 発表標題 Crystal structure of leukotriene B4 receptor 1 bound with an inverse agonist
3. 学会等名 International GPCR symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokomizo T
2. 発表標題 BLT1 and BLT2, two GPCRs for lipid mediators
3. 学会等名 International GPCR symposium (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4受容体BLT1発現が規定する単球・樹状細胞サブセット
3. 学会等名 第28回日本樹状細胞研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 生理活性脂質受容体の機能解析：ゼロから創薬への挑戦
3. 学会等名 New Insight Crosstalk Meeting 2018（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4受容体に関する最近の知見
3. 学会等名 Kobe Biological Science Forum（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鵜澤博嗣，古賀友紹，奥野利明，佐伯和子，横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンA4水解酵素の代謝における解析
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平形寿彬, 李賢哲, 大場麻衣, 佐伯和子, 奥野利明, 松田彰, 村上晶, 横溝岳彦
2. 発表標題 アレルギー性結膜炎におけるオメガ3脂肪酸の効果の検
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 生理活性脂質受容体研究への質量分析計の応用
3. 学会等名 第31回Future of Radiology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iwamoto S., Yokomizo T., Murakami A., Matsuda A
2. 発表標題 Control of mouse allergic conjunctivitis by resolvins
3. 学会等名 ARVO 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirakata T., Lee C. H., Ohba M., Okuno T., Murakami A., Matsuda A., Yokomizo T.
2. 発表標題 Dietary omega-3 fatty acids alleviate allergic conjunctivitis in a mouse model
3. 学会等名 ARVO 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokomizo T.
2. 発表標題 12-hydroxyheptadecatrienoic acid accelerates epithelial wound healing through leukotriene B4 receptor 2, BLT2
3. 学会等名 Keystone Symposium, the resolution of inflammation in health and disease (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Jo-Watanabe A., Shigematsu M., Saeki K., Koga T, Ohba M, Okuno T, Yokomizo T
2. 発表標題 Leukotriene B4 receptor type 2 protects against CysLT1 signaling-related acute lung injury
3. 学会等名 Keystone Symposium, GPCR Structure and Function (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokomizo T., Iwamoto S., Koga T., Ohba M., Okuno T., Koike M., Murakami A., Matsuda A.
2. 発表標題 A fatty acid 12-hydroxyheptadecatrienoic acid accelerates corneal wound healing through leukotriene B4 receptor 2, BLT2
3. 学会等名 Keystone Symposium, GPCR Structure and Function (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Uzawa H., T. Yokomizo
2. 発表標題 The role of leukotriene A4 hydrolase in metabolism.
3. 学会等名 Keystone Symposium, Obesity and Adipose Tissue Biology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 生体制御に関わる多彩なりボクオリティ
3. 学会等名 日本農芸化学会2019年度大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 第10回記念JBFシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3 脂肪酸が心臓を保護する仕組みと体内脂肪酸バランスの重要性
3. 学会等名 第5回東京心臓リハビリテーションセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems
3. 学会等名 3rd McGill-RIKEN Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Genetics and lipidomics of omega-3 polyunsaturated fatty acid biology
3. 学会等名 The 3rd International Symposium on Lipids Science and Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological systems (Keynote Lecture)
3. 学会等名 8th Mind-Body Interface International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 レドックス・ライフィノーション第170委員会、日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第189委員会合同シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 BioJapan2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティと脂質栄養（教育講演）
3. 学会等名 第40回日本臨床栄養学会総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 生体制御に関わる多彩なりポクオリティ
3. 学会等名 Fatty Acids at the Cutting Edge (FACE)研究会2018（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯野雄大、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎マウスにおける脂質代謝異常の網羅的解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋本怜暉、青柳良平、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 酸化脂肪酸の膜リン脂質アシル化を担う酵素の探索と機能解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田美桜、石原知明、有田誠
2. 発表標題 3 脂肪酸オキシゲナーゼの皮膚恒常性における役割
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大泉建貴、岡橋伸幸、宣旭、磯部洋輔、有田誠
2. 発表標題 レチノイン酸産生酵素Aldh1a1による腸管恒常性維持機構の解析
3. 学会等名 第17回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Advanced lipidomics strategy to identify bioactive lipids
3. 学会等名 ZPM-RIKEN Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究が解き明かすもの～ 3 脂肪酸の代謝と抗炎症作用～
3. 学会等名 第50回日本動脈硬化学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 第4回京都大学ウイルス・再生医科学研究所生命情報研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 健康維持における脂肪酸クオリティの重要性
3. 学会等名 第40回日本血栓止血学会サテライトシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質代謝とアレルギー（教育講演）
3. 学会等名 第67回日本アレルギー学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 富山県創薬研究開発センター開所記念シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯野雄大、永沼達郎、有田誠
2. 発表標題 アトピー性皮膚炎発症に関わる脂質代謝系の網羅的解析
3. 学会等名 第60回日本脂質生化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 酸化脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第71回日本酸化ストレス学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティを捉える最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第91回日本内分泌学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる生体制御
3. 学会等名 第55回日本臨床分子医学会学術集会「エネルギー代謝研究の新しいアプローチ」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 細胞外微粒子の質量分析による分子解剖
3. 学会等名 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 顕微鏡技術と質量分析技術の融合で見えてくる新しい細胞間コミュニケーション
3. 学会等名 京都大学大学院工学研究科
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡で見えてくるブレインサイエンス
3. 学会等名 鹿児島ブレインサイエンスカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 DESIイメージングの実際
3. 学会等名 Waters MS forum（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 DESIイメージングの実際
3. 学会等名 Waters MS forum（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量イメージング
3. 学会等名 AMED-CREST 質量分析講習会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Mass Spectrometry Imaging for Metabolomics in diseases and translational research
3. 学会等名 2018 Joint Meeting of 22nd International Symposium on MDO and 33rd JSSX Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 健康長寿を目指した光量子技術の開発
3. 学会等名 第91回日本生化学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 TC201/WG4:Surface Characterization of Biomaterials
3. 学会等名 Meeting of TC201 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 WG4-Biomaterials Handling for Surface Analysis
3. 学会等名 Meeting of TC201 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 TOF-SIMSの医学・生物学応用の最前線
3. 学会等名 第79回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 イメージングと質量分析
3. 学会等名 第43回日本医用マスペクトル学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 超臨界組織洗浄による高分子の組織内分布解析
3. 学会等名 第3回日本医用マスペクトル学会西部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡とその老化関連疾患研究への応用
3. 学会等名 第61回日本腎臓学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 分子の重さを可視化する:質量分析イメージングの最前線
3. 学会等名 第31回Future of Radiology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 病気の解明・診断や植物分野の研究への質量顕微鏡の活用
3. 学会等名 医学生物学電子顕微鏡技術学会第34回学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡とその老化・内分泌代謝疾患研究への応用
3. 学会等名 第22回日本心血管内分泌代謝学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Genetics and Lipidomics of Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acid Biology
3. 学会等名 Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology, The Resolution of Inflammation in Health and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リビドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of LipoQuality in biological system
3. 学会等名 7th International Singapore Lipid Symposium 2018 (iSLS7) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティによる病態制御
3. 学会等名 第5回病態制御内科学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティが解き明かす生命現象
3. 学会等名 Advanced Seminar Series on Microbiology and Immunology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティと疾患の制御
3. 学会等名 第20回動脈硬化研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 オメガ3 脂肪酸の機能性代謝物の同定を指向した最先端リポドミクス
3. 学会等名 日本薬物動態学会第32回年会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティ研究が解き明かすもの - 3 脂肪酸の代謝と抗炎症作用-
3. 学会等名 油脂物性フォーラム2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism in controlling inflammation and related diseases
3. 学会等名 7th Mind-Body Interface International Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティの最先端リポミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第25回東北生活習慣病研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Eosinophil polyunsaturated fatty acid metabolism and its potential control of inflammation and allergy
3. 学会等名 15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 The importance of lipoquality in biological systems
3. 学会等名 The 1st International Conference on Lipoquality（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポミクスによる機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 11th Shimadzu Evening Forum in JASIS2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 健康維持における脂肪酸クオリティの重要性
3. 学会等名 第12回アジレントメタボロミクスセミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝バランスによる炎症性疾患の制御
3. 学会等名 第38回日本炎症・再生医学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 健康における脂肪酸クオリティの重要性
3. 学会等名 第17回日本抗加齢医学会総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomics and discovery of novel bioactive omega-3 fatty acid metabolites
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Lipid Science and Biotechnology (ISLSB2017)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Identifying Metabolites with Theoretical References
3. 学会等名 The 26th International KOGO Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Prediction of Molecular Structures from their Spectra
3. 学会等名 The 4th International Conference on Plant Metabolism (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 炎症、免疫、バリア機能における2つのロイコトリエンB4受容体の役割
3. 学会等名 第14回肺研究フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 BLT2受容体の上皮保護作用
3. 学会等名 第38回日本炎症・再生学会 (シンポジウム) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yokomizo, T.
2. 発表標題 12-HHT/BLT2 axis protects acute lung injury
3. 学会等名 58th ICBL、 International Conference on the Bioscience of Lipids、 Invited lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 生理活性脂質研究の醍醐味
3. 学会等名 57回日本臨床化学会総会 特別講演 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yokomizo, T.
2. 発表標題 Biological roles of BLT receptors
3. 学会等名 15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer、 Inflammation and Related Diseases、 Invited Lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yokomizo, T., Iwamoto, S., Koga, T., Ohba, M., Okuno, T., Koike, M., Murakami, A., Matsuda, A.
2. 発表標題 A fatty acid 12-hydroxyheptadecatrienoic acid accelerates corneal wound healing through leukotriene B4 receptor 2、 BLT2
3. 学会等名 Keystone Symposium、 GPCR Structure and Function (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokomizo, T.
2. 発表標題 12-hydroxyheptadecatrienoic acid accelerates epithelial wound healing through leukotriene B4 receptor 2, BLT2
3. 学会等名 Keystone Symposium, the resolution of inflammation in health and disease (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 炎症性リン脂質シグナルを抑制する SHIP1
3. 学会等名 第 36 回日本認知症学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 生体脂質を見る、測る、理解する
3. 学会等名 第49回 日本臨床検査医学会東北支部総会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 リボクオリティの細胞内局在と細胞機能
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤本豊土
2. 発表標題 膜脂質・膜ドメインの可視化解析
3. 学会等名 第7回名古屋大学医学系研究科・生理学研究所 合同シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Analysis of lipid domains and lipid droplets
3. 学会等名 Academia Sinica Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤本豊土
2. 発表標題 オートファゴソームへの膜脂質供給機構の解析
3. 学会等名 ConBio2017 (2017年度生命科学系合同年次大会) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤本豊土
2. 発表標題 膜脂質・膜ドメインの可視化解析
3. 学会等名 京都大学学際融合教育推進センター 生理化学研究ユニット第6回シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 「第2回 臨床化学の進歩が変える薬物治療 ～ 臨床病態解析からのアプローチ～」臨床検体の質量分析イメージングについて
3. 学会等名 日本薬学会第138年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 Imaging in Drug Development and the application of DESI
3. 学会等名 第9回Japan Bioanalysis Forum シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量分析イメージングの生体応用の最近の進展
3. 学会等名 第1回共用設備基盤センターシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Launch of International Mass Imaging Center Japan
3. 学会等名 The 7th Asia Oceania Mass Spectrometry Conference (AOMSC) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Quantum Technology Based Life Science
3. 学会等名 11th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '17 (会期:12/3-12/8) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量分析技術と顕微鏡技術の融合～健康長寿を目指して～
3. 学会等名 第8回日本質量分析学会中部談話会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 国際セッション (オーガナイザー)
3. 学会等名 第42回日本医用マススペクトル学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 Quality of Lipids in Biological Systems
3. 学会等名 International Symposium on Imaging Frontier 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 リボクオリティのイメージング
3. 学会等名 新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」, 第3回領域会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 光・量子技術の脳と末梢の研究への応用
3. 学会等名 脳科学セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 GCIB-TOF-SIMSを用いた細胞内脂質分布の解析
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 リボクオリティの細胞内局在と細胞機能(オーガナイザー)
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量顕微鏡の開発と医学研究への応用展開
3. 学会等名 第73回日本顕微鏡学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 顕微鏡学とイオン分析の融合（座長）
3. 学会等名 第73回日本顕微鏡学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 顕微鏡技術と質量分析技術の融合
3. 学会等名 第17回日本NO学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤 光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法の病理学応用に向けて
3. 学会等名 第106回日本病理学会総会シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂質代謝調節機構
3. 学会等名 第90回日本内分泌学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 旧くて新しいプロスタグランジンの生理機能
3. 学会等名 第41回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体による生理と病態の調節機構
3. 学会等名 第31回カロテノイド研究談話会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 Prostaglandin E2 regulates physiological lipid storage status
3. 学会等名 15th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation, and Related Diseases（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 The importance of lipoquality in biological systems
3. 学会等名 The 1st International Conference on Lipoquality (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 雌性生殖生理におけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信, 長谷川 浩司, 国見 基瑩, 原 眞純, 矢富 裕, 塚本 和久.
2. 発表標題 物ステロール吸収促進は, 肥満による慢性炎症を抑制する.
3. 学会等名 第60回 日本糖尿病学会年次学術集会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信, 西川 真子, 矢富 裕.
2. 発表標題 K562細胞は, リゾホスファチジルセリンにより巨核球への分化誘導が修飾される.
3. 学会等名 第39回 日本血栓止血学会学術集会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信, 可野 邦行, 小林 玉宜, 青木 淳賢, 矢富 裕.
2. 発表標題 リボ蛋白代謝・修飾によるグリセロリゾリン脂質の変動.
3. 学会等名 第59回 日本脂質生化学会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信, 可野 邦之, 青木 淳賢, 矢富 裕.
2. 発表標題 酸化, 糖化によるリボ蛋白中のリゾリン脂質変化とその意義
3. 学会等名 第32回 日本糖尿病合併症学会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信, 五十嵐 浩二, 池田 均, 塚本 和久, 矢富 裕.
2. 発表標題 ホスファチジルセリン特異的ホスホリパーゼA1, リゾホスファチジルセリンの糖尿病の病態生理への関与の解明
3. 学会等名 第64回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 蔵野 信.
2. 発表標題 リボ蛋白によるスフィンゴシン1-リン酸の代謝・機能の修飾.
3. 学会等名 2017年度 生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017). (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi, T., Kurano, M., Mishima, Y., Nojiri, T., Ohkawa, R., Tozuka, M., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Glycation of Apolipoprotein M attenuated its capacity to bind Sphingosine-1 Phosphate.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kurano, M., Kano, K., Dohi, T., Ikeda, H., Aoki, J., and Yatomi Y.
2. 発表標題 Possible involvement of glycerol-lysophospholipids in the pathogenesis of ACS, revealed by an LC/MS technique.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mishima, Y., Kurano, M., Kobayashi, T., Nishikawa, M., Ohkawa, R., Tozuka, M., Yatomi, Y.
2. 発表標題 Difference between sphingosine 1-phosphate and dihydrosphingosine 1-phosphate in their preference to HDL or albumin.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishikawa, M., Kurano, M., Shimamoto, S., Igarashi, K., Yatomi, Y.
2. 発表標題 Clinical Significance of Autotaxin in the field of Hematology.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nojiri, T., Kurano, M., Nakawatari, K. Shimamoto,S., Igarashi, K., Sone, S., Ikeda, H., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Serum autotaxin is increased and correlated with thyroid hormone in Graves' disease.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Nishikawa,T., Ikeda, H., Kurano, M., Sato, M., Saigusa, D., Aoki, J., Watanabe, T., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 S1P is actively metabolized and transported to extracellular spaces with increased receptors expression in colon cancer.
3. 学会等名 The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM). (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本田 哲也.
2. 発表標題 Identification of resolvin E1, an omega-3 poly-unsaturated fatty acids-derived lipid mediator, as an inhibitor for psoriatic dermatitis.
3. 学会等名 第42回日本研究皮膚科学会.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢富 裕
2. 発表標題 リポクオリティに着目した新しい臨床検査の可能性
3. 学会等名 第42回日本医用マススペクトル学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yatomi Y.
2. 発表標題 Development of clinical laboratory tests from the viewpoint of lipoquality.
3. 学会等名 International Conference on Lipoquality 2017. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林俊彦、反町典子
2. 発表標題 炎症シグナルのハブとしてのエンドリソソームとその制御機構
3. 学会等名 第69回日本細胞生物学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林俊彦, 筒井英充, 大島大輔, 反町典子
2. 発表標題 リソソーム局在型オリゴペプチドトランスポーターSLC15A4によるマスト細胞の炎症応答制御機構
3. 学会等名 第12回トランスポーター研究会年会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi T, Tsutsui H, Ohshima D, Toyama-Sorimachi N
2. 発表標題 Regulatory role of SLC15A3 in the systemic inflammation.
3. 学会等名 第46回日本免疫学会総会・学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi T, Tsutsui H, Ohshima D, Toyama-Sorimachi N.
2. 発表標題 Regulatory role of a lysosome-resident oligopeptide transporter SLC15A4 in the inflammatory responses of mast cells.
3. 学会等名 Annual meeting of the International Cytokine and Interferon Society (Cytokines 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noriko Toyama-Sorimachi, Toshihiko Kobayashi
2. 発表標題 Lysosome-resident amino acid/oligopeptide transporter, SLC15A4, as a therapeutic target for systemic lupus erythematosus
3. 学会等名 第32回年会薬物動態学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noriko Toyama-Sorimachi
2. 発表標題 トランスポータータンパク質を標的とした自己免疫疾患治療薬の探索
3. 学会等名 第138年会日本薬学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Voltage-sensor domain proteins; from structural mechanisms to voltage reporter
3. 学会等名 KI-OU Joint Symposium in Neuroscience (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Coupling Mechanisms of Voltage-sensing Phosphatase
3. 学会等名 the Palacio de la Autonomia, Mexico city (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Okamura, Akira Kawanabe, Kazuhisa Nishizawa, Souhei Sakata
2. 発表標題 Roles of membrane interaction in electrochemical coupling in voltage-sensing phosphatase
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Conferences Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Laboratory for Metabolomics, RIKEN-IMS
3. 学会等名 University of Strasbourg-RIKEN Workshop on Membrane Lipidology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masanori Arita
2. 発表標題 Computational Lipidomics
3. 学会等名 University of Strasbourg-RIKEN Workshop on Membrane Lipidology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究から解き明かす生命現象
3. 学会等名 第41回皮膚科免疫セミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Omega-3 fatty acid metabolism in controlling inflammation and related diseases
3. 学会等名 4th International Forum on Omega-3 and human Health 4th International Forum on Omega-3 and human Health (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomics & Discovery of Novel Bioactive Omega-3 Metabolites
3. 学会等名 ISOR Inaugural Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポドミクス新技術による機能性脂質の探索研究
3. 学会等名 日本食品免疫学会第11回宿泊セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 Advanced lipidomics to understand the quality difference of fatty acids in biological systems
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会（MBSJ2016）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 3脂肪酸はなぜ体に良いのか、その分子メカニズムに迫る
3. 学会等名 日本抗加齢医学会エデュケーショナルセミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義の解明
3. 学会等名 第27回クロマトグラフィー科学会議（SCS27）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第168回東京脂質談話会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第50回千葉大学リーディング大学院セミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 慢性炎症の生物学：脂肪酸代謝バランスによる炎症性疾患の制御
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 ランス賞学術賞受賞講演： 3脂肪酸の代謝と抗炎症作用に関する研究
3. 学会等名 脂質栄養学会第25回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 病態解明に向けたリポクオリティ研究の最前線
3. 学会等名 第48回日本動脈硬化学会・学術集会モーニングセミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第43回BMSコンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティによる疾患制御
3. 学会等名 第4回Hepato-Diabetology Conference(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 魚油に含まれるオメガ3脂肪酸の代謝と抗炎症作用
3. 学会等名 第70回日本栄養・食糧学会中部支部大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティによる炎症病態の制御
3. 学会等名 第4回信濃町消化器病カンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 好酸球の脂肪酸代謝と炎症・アレルギーの制御
3. 学会等名 第65回日本アレルギー学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Emerging roles of lipid metabolism in phagocyte function
3. 学会等名 The 24th International Symposium on Molecular Cell Biology of Macrophages (MMCB2016)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティから解き明かす生命現象
3. 学会等名 第11回TRPs and SOCs研究会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 n-3系脂肪酸の代謝と抗炎症作用
3. 学会等名 第18回マリンバイオテクノロジー学会大会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 (Plenary Lecture) Lipidomic approach to uncover anti-inflammatory properties of omega-3 polyunsaturated fatty acids
3. 学会等名 2016 Korea-Japan Bioactive Lipid Joint Symposium(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 細胞膜リン脂質の動態と機能
3. 学会等名 東京工業大学科学技術創成研究院セミナー(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 リピドミクスによる疾患研究
3. 学会等名 神戸大学医学部セミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質代謝と疾患
3. 学会等名 九州大学大学院歯学府セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takehiko Sasaki, Hiroki Nakanishi, Satoshi Eguchi, Masaki Ishikawa, Akira Suzuki, Junko Sasaki
2. 発表標題 A method for studying quality of phosphoinositides
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会（MBSJ2016）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 イノシトールリン脂質代謝と病態
3. 学会等名 脂質栄養学会第25回大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐々木雄彦
2. 発表標題 ホスホイノシタイドによる生体調節機構
3. 学会等名 第28回高遠・分子細胞生物学シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 森井真也子、上野紀子、中西広樹、蛇口琢、渡部亮、吉野裕顕、佐々木雄彦
2. 発表標題 3系脂肪酸代謝産物による肝庇護作用
3. 学会等名 第15回生命科学研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上浩司
2. 発表標題 一次繊毛の切断および繊毛断片の放出
3. 学会等名 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 堀川誠
2. 発表標題 TOF-SIMSを用いた細胞内脂肪酸分布のイメージング
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉山栄二
2. 発表標題 神経突起内局所脂質代謝動態を解析可能にする分析系の構築
3. 学会等名 日本薬学会第137回年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 心血管分子イメージングの未来：基礎 臨床の連携
3. 学会等名 第81回日本循環器学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量分析イメージングが可能にしたヘルスケア新製品開発
3. 学会等名 日本化学会第97春季年会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 最近のマスイメージングの進歩
3. 学会等名 第37回日本トリプトファン研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Koji Ikegami, Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Evidence for release of ciliary components into extracellular fluid
3. 学会等名 シリア・中心体国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 TOF-SIMSを用いたナノイメージングと医学分野への応用
3. 学会等名 第44回 薄膜・表面物理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 武井史郎、中嶋裕子、山崎文義、正木紀隆、杉山栄二、松下祥子、瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法を用いた超微形態レベルでの脂質解析における酢酸ウランの有用性
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第72回学術講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池上浩司
2. 発表標題 刺激に対する繊毛のレスポンス
3. 学会等名 琉球大学リサーチカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Imaging mass spectrometry of lipids for spinal cord neuropathology.
3. 学会等名 日本脂質生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Platform of functional metabolic imaging
3. 学会等名 11th Asia-Pacific Microscopy Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 武井史郎、中嶋裕子、山崎文義、正木紀隆、杉山栄二、松下祥子、瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法を用いた超微形態レベルでの脂質解析における酢酸ウランの有用性
3. 学会等名 医学生物学電子顕微鏡技術学会 第32回学術講演会および総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Lipid droplet, more than just a fat ball
3. 学会等名 Hong Kong University of Science and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Lipids and Lipid Domains of the Yeast Vacuole
3. 学会等名 Gordon Research Conference "Lysosomes and Endocytosis" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤本豊土
2. 発表標題 電子顕微鏡による脂肪滴と膜脂質の探索
3. 学会等名 第67回東北臨床超微形態懇話会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Lipid droplets and the nuclear membrane
3. 学会等名 FASEB Science Research Conference on Lipid Droplets: Dynamic Orgnaelles in Metabolism and Beyond（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Membrane lipid domain and autophagy of lipid droplets
3. 学会等名 111th Annual Meeting of the Anatomische Gesellschaft（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 出芽酵母リポファジーの解析
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Freeze-fracture Electron Microscopy to Define Distribution of Lipids and Lipid Domains at the Nanoscale
3. 学会等名 Keystone Symposium, Lipidomics and Bioactive Lipids in Metabolism and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Okamura, Akira Kawanabe, Souhei Sakata
2. 発表標題 Crossroad of electricity and lipid signaling: voltage-sensing phosphoinositide phosphatase (VSP)
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Molecular mechanisms of voltage-sensing phosphatase, VSP
3. 学会等名 2016 International Conference of Physiological Sciences (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Okamura, Souhei Sakata, Akira Kawanabe, Yuichiro Fujiwara, Yuka Jinno
2. 発表標題 How does voltage sensor domain regulate downstream effector?: lesson from voltage-sensor domain proteins
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Principle and biodiversity of voltage sensor domain proteins
3. 学会等名 Dutch Neuroscience Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Okamura, Akira Kawanabe, Kazuhisa Nishizawa, Atsushi Nakagawa, Hirotaka Narita, Souhei Sakata, Yuka Jinno
2. 発表標題 Mechanisms and roles of lipid interaction in voltage-sensing phosphatase
3. 学会等名 第94回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Principle and biodiversity of voltage sensor domain in channels and enzyme
3. 学会等名 Campus Asia KickOff Symposium (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noriko Toyama-Sorimachi
2. 発表標題 Environmental control of endosomes/lysosomes by SLC15A4 is crucial for inflammatory responses and disease pathogenesis.
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 反町典子
2. 発表標題 自己免疫疾患の新規治療標的としてのエンドリソソームシステムと創薬への取り組み
3. 学会等名 千葉大学リーディング大学院セミナー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi T, Ohshima D, Toyama-Sorimachi N
2. 発表標題 Regulatory role of an oligopeptide transporter SLC15A4 in inflammatory responses in mast cells.
3. 学会等名 16th International Congress of Immunology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi T, Ohshima D, Toyama-Sorimachi N.
2. 発表標題 Transporter SLC15A4 Regulates Allergic Reactions by Controlling Mast Cell Homeostasis and Inflammatory Response
3. 学会等名 Gordon Research Conference “Membrane Transport Proteins” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hisasue, N., Kurano, M., Morimoto, Y., Tsuneyama, K., Kubota, T., Yatomi, Y.
2. 発表標題 Detection and Regulation of Apolipoprotein M in Central Nervous System.
3. 学会等名 The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science 2016 IFBLS. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi, T., Kurano, M., Nojiri, T., Ohkawa, R., Tozuka, M., Okubo, S., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Oxidation and Glycation Modulate HDL Capacity to Carry Sphingosine 1-Phosphate, an Anti-Atherosclerotic Bioactive Lipid.
3. 学会等名 The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science 2016 IFBLS. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takahashi, C., Kurano, M., Nishikawa, M., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Carrier-dependent Effects of Sphingosine 1-phosphate on Plasminogen Activator Inhibitor-1 Expression in Adipocytes.
3. 学会等名 The 9th Congress of the Asia Pacific Society on Thrombosis and Hemostasis. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takahashi, C., Kurano, M., Nishikawa, M., Kano, K., Dohi, T., Miyauchi, K., Daida, H., Shimizu, T., Aoki, J., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Sphingosine 1-Phosphate Possesses the Carrier-dependent Effects on the Plasminogen Activator Inhibitor 1 Expression in Adipocytes.
3. 学会等名 AHA Scientific Sessions 2016. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yatomi, Y., Kurano, M., Ikeda, H., and Aoki, J.
2. 発表標題 The laboratory medicine of lysophospholipids.
3. 学会等名 Korea-Japan Bioactive Lipid Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 蔵野 信, 常山 幸一, 常名 政弘, 矢富 裕.
2. 発表標題 アポ蛋白Mを用いた播種性血管内凝固症候群, 多臓器不全の新規治療法の開発.
3. 学会等名 第38回 日本血栓止血学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 蔵野 信, 清水 知, 五十嵐 浩二, 原 眞純, 塚本 和久, 矢富 裕.
2. 発表標題 2型糖尿病患者におけるリゾリン脂質関連蛋白と合併症の関係.
3. 学会等名 第48回 日本動脈硬化学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 蔵野 信, 矢富 裕.
2. 発表標題 IgA腎症におけるスフィンゴシン1-リン酸の役割.
3. 学会等名 第63回 日本臨床検査医学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 蔵野 信, 塚本 和久, 矢富 裕.
2. 発表標題 アポ蛋白Mの抗糖尿病性腎症作用.
3. 学会等名 第31回 日本糖尿病合併症学会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 蔵野 信, 矢富 裕 .
2. 発表標題 リコンビナントアポ蛋白Mを利用した多臓器不全に対する新規治療法の開発 .
3. 学会等名 第56回 日本臨床化学会年次学術集会 .
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Ikeda, H., Kurano, M., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 A potential role of LPA receptors in pathophysiology of hepatocellular Carcinoma.
3. 学会等名 第63回 日本臨床検査医学会学術集会 .
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Uranbileg, B., Ikeda, H., Kurano, M., and Yatomi, Y.
2. 発表標題 Involvement of Lysophosphatidylserine in the Pathophysiology of hepatocellular carcinoma.
3. 学会等名 第56回 日本臨床化学会年次学術集会 .
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ichiki, T., Koga, T., Okuno, T., Saeki, K., Yamamoto, Y., Sakaguchi, M., Yokomizo, T.
2. 発表標題 Receptor for advanced glycation endproducts modulates leukotriene B4 receptor 1 signaling
3. 学会等名 ASBMB meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Ikeda, K., Sasaki, F., Ueno, A., Okuno, T., Koga, T.,Yokomizo, T.
2 . 発表標題 Generation of chimeric high-affinity monoclonal antibody for FLAG tag
3 . 学会等名 ASBMB meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Ishii, Y., Saeki, K.,Yokomizo, T.
2 . 発表標題 Leukotriene B4 receptor type 2 (BLT2) enhances skin barrier function by regulating tight junction proteins
3 . 学会等名 ASBMB meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Luo, L., Tanaka, R., Lu, F., Kanazawa, S., Yokomizo, T.,Mizuno, H.
2 . 発表標題 A synthetic BLT2 agonist accelerates impaired wound healing by enhancing keratinocyte migration and fibroblast proliferation in diabetic rat
3 . 学会等名 Joint meeting of American association of plastic surgeons and plastic surgery research council ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Shigematsu, M., Koga, T., Saeki, K., Okuno, T.,Yokomizo, T.
2 . 発表標題 BLT2 receptor protects against lethal acute lung injury induced by a pneumococcal toxin pneumolysin
3 . 学会等名 ASBMB meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigematsu, M., Koga, T., Saeki, K., Okuno, T., Yokomizo, T.
2. 発表標題 The roles of 12-hydroxyheptadecatrienoic acid/BLT2 axis in skin
3. 学会等名 57th ICBL, International Conference on the Bioscience of Lipids (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yokomizo, T.
2. 発表標題 Roles of leukotriene B4 receptor type 2 on skin barrier function and wound healing
3. 学会等名 2016 Korea-Japan Bioactive Lipid Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yokomizo, T., Y, I., Shimegatsu, M., Saeki, K., Okuno, T.
2. 発表標題 12-hydroxyheptadecatrienoic acid (12-HHT) as a novel lipid mediator
3. 学会等名 第58回日本脂質生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川西範明, 高木香奈, 李賢哲, 奥野, 利., 横溝岳彦, 町田修一
2. 発表標題 持久的運動トレーニングおよび高脂肪食餌負荷が骨格筋のリン脂質分子種濃度に及ぼす影響
3. 学会等名 第58回日本脂質生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 市木貴子, 古賀友紹, 奥野利明, 佐伯和子, 阪口政清, 山本靖彦, 横溝岳彦
2. 発表標題 RAGEはロイコトリエンB4第一受容体BLT1と機能的に相互作用する
3. 学会等名 第89回日本生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中島禎吾, 玉田賢弥, 佐藤聡, 吉森篤史, 市木貴子, 佐々木文之, 横溝岳彦, 田沼靖一
2. 発表標題 HMGB1及びLPSに誘導される炎症を抑制する新規低分子化合物の創製
3. 学会等名 第89回日本生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 李賢哲, ベンジャミン, ク., 横溝岳彦
2. 発表標題 N-アシルリン脂質代謝酵素ABHD4の生化学的解析および脂質解析
3. 学会等名 第89回日本生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエン受容体と皮膚機能
3. 学会等名 第31回日本乾癬学会 教育講演(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 上皮創傷治癒を促進する生理活性脂質の同定とその応用
3. 学会等名 第1回Ocular Surface & Glaucoma Seminar (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 皮膚バリア機能を維持する生理活性脂質12-HHT
3. 学会等名 第9回セラミド研究会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 玉田賢弥, 中島楨吾, 佐藤聡, 吉森篤史, 市木貴子, 佐々木文之, 横溝岳彦, 鈴木雄祐, 渡邊伸央, 井上茂亮, 田沼靖一
2. 発表標題 HMGB1/RAGE相互作用を阻害する新規低分子化合物の創製
3. 学会等名 第89回日本生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shigematsu, M., Koga, T., Saeki, K., Ohba, M., Okuno, T., Yokomizo, T.
2. 発表標題 Protective roles of 12-hydroxyheptadecatrienoic acid/BLT2 in acute lung injury
3. 学会等名 Keystone Symposium, Lipidomics and Bioactive Lipids in Metabolism and Disease (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 村上里穂, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞の炎症性応答に対するプロスタサイクリン受容体IPの抑制機構
3. 学会等名 日本薬学会第137年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦.
2. 発表標題 着床ならびに胎児のスペーシングにおけるプロスタグランジンの役割
3. 学会等名 日本薬学会第137年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲住知明, 山田清隆, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 脂質代謝におけるプロスタグランジンEP4受容体の生理機能解析
3. 学会等名 第90回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北條寛典, 吉岡美樹, 平川昌樹, 土屋裕義, 土屋創健, 瀬木-西田恵里, 杉本幸彦
2. 発表標題 オス特異的神経回路形成におけるPGE2-EP受容体の役割
3. 学会等名 第90回日本薬理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村上里穂, 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタサイクリンIP受容体がマスト細胞炎症性応答に与える影響
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 橋本美穂, 大窪喜丸, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 高 3脂肪酸含有食が雌マウスの生殖生理・養育行動に与える影響
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 沼田さおり, 告恭史郎, 江口幸臣, 松永拓子, 北條寛典, 杉本聡子, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン受容体のGタンパク質ならびに $\beta$ -arrestinシグナル検出系の確立とバイアス型作動薬の探索
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジンI2受容体IPの生理的意義の探索
3. 学会等名 第33回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto
2. 発表標題 PGE2-EP3 receptor signaling induces inflammatory swelling by mast cell activation
3. 学会等名 PSK-PSJ joint-international symposium in 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田清隆, 稲住 知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体を介した脂質代謝調節機構
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジンI2受容体IPの役割
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北條寛典, 吉岡美樹, 平川昌樹, 土屋裕義, 土屋創健, 三隅将吾, 瀬木-西田恵里, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンE受容体による脳のオス化の分子機構
3. 学会等名 第89回日本生化学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 マスト細胞の炎症性応答に対するプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィオーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床時子宮におけるプロスタグランジン受容体の役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィオーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩崎亮, 告恭史郎, 岸本幸一朗, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期胚血管形成におけるプロスタノイドの役割
3. 学会等名 第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィオーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床時子宮におけるプロスタグランジン受容体の役割
3. 学会等名 第58回日本脂質生化学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yabuki Y, Koide T, Miyasaka N, Wakisaka N, Masuda M, Ohkura M, Nakai J, Tsuge K, Tsuchiya S, Sugimoto Y, Yoshihara Y.
2. 発表標題 Olfactory receptor for prostaglandin F2a mediates courtship behavior of male zebrafish
3. 学会等名 第17回嗅覚・味覚国際シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yukihiko Sugimoto, Tomoaki Inazumi, Soken Tsuchiya, Shuh Narumiya
2. 発表標題 Roles of prostaglandin EP4 receptor in adipose tissue
3. 学会等名 The 7th International conference on phospholipase A2 and Lipid Mediators (PLM2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタノイドIP受容体によるマスト細胞の炎症性応答の抑制機構
3. 学会等名 日本生化学会九州支部例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 豊田洋輔, 森本和志, 寿野良二, 関口雄介, 山下恵太郎, 平田邦夫, 安田賢司, 白石充典, 堀田韻虹, 浅田秀基, 中根崇智, 椎村祐樹, 中北智哉, 稲住知明, 告恭史郎, 梶原佑太, 清水朋子, 漆畑祐司, 吉田 優, 栗原ともこ, 細谷孝充, 木下正弘, 杉本幸彦, 野村紀通, 村田武士, 高山喜好, 山本雅貴, 成宮 周, 岩田 想, 小林拓也
2. 発表標題 抗体を用いたプロスタグランジン受容体のX線結晶構造解析
3. 学会等名 第13回GPCR研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 中長期企画講演：脂肪酸クオリティの最先端リポドミクスと生理的意義
3. 学会等名 日本化学会第96春季年会2016（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Quality of Lipids in Health and Disease
3. 学会等名 Academia Sinica IBMS-RIKEN IMS Joint Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Quality of Lipids in Health and Disease
3. 学会等名 Environment controlling normal and diseased hematopoietic and immune systems（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リポクオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第1回生活習慣病とがんの代謝栄養メカニズム研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティの修飾による生体制御
3. 学会等名 国際高等研究所プロジェクト「生命活動を生体高分子への修飾から俯瞰する」平成27年度研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 第三世代の脂質メディエーター・ 3 脂肪酸代謝物の抗炎症作用
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リピドミクス新技術による機能性脂質の探索研究の新展開
3. 学会等名 第8回セラミド研究会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝と炎症・アレルギーの制御
3. 学会等名 アレルギー・好酸球研究会2015（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸クオリティと炎症の制御
3. 学会等名 日本食品免疫学会第11回学術集会 (JAFI2015) (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 リボクオリティ研究から解き明かす生命現象
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田和貴、妹尾勇弥、有田誠
2. 発表標題 リボクオリティを識別するノンターゲット解析
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂質クオリティから解き明かす病態・バイオロジー研究
3. 学会等名 第40回医用マススペクトル学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Emerging roles of omega-3 fatty acid metabolites in controlling inflammation and tissue homeostasis
3. 学会等名 12th World Congress of Inflammation (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Makoto Arita
2. 発表標題 Lipidomic approach to uncover anti-inflammatory properties of omega-3 polyunsaturated fatty acids
3. 学会等名 14th International Conference of Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有田誠
2. 発表標題 脂肪酸代謝バランスと炎症の制御
3. 学会等名 第20回シェーグレン症候群セミナー (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hiroki Nakanishi <sup>1,3</sup> , Satoshi Eguchi <sup>2</sup> , Masaki Ishikawa <sup>1</sup> , Akira Suzuki <sup>4</sup> , Junko Sasaki <sup>2</sup> , Takehiko Sasaki
2. 発表標題 Measuring Phosphoinositides at Molecular Species Level
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回生化学会大会 合同大会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 木村洋貴、江口賢史、久場敬司、今井由美子、高須賀俊輔、伊藤玲悦、中村亮太郎、中西広樹、石川将己、佐々木純子、山崎正和、佐々木雄彦
2. 発表標題 心肥大におけるホスホイノシタイド代謝酵素Vps34のタンパク質分解機構の役割
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回生化学会大会 合同大会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 マスイメージングが明らかにする脂質の分布とその意義
3. 学会等名 日本化学会第96春季年会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法による肝癌、食道癌バイオマーカーの探索
3. 学会等名 東京大学医科学研究所共同研究拠点事業 H27年度成果報告会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 リボクオリティの可視化
3. 学会等名 第36回白金シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法による肝癌、食道癌バイオマーカーの探索
3. 学会等名 東京大学医科学研究所共同研究拠点事業 H27年度成果報告会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 Development and application of imaging mass spectrometry
3. 学会等名 第8回NAGOYAグローバルリトリート（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 硫安添加に超臨界、質量分析イメージングの新しいテクニックについて
3. 学会等名 第16回日本質量分析学会北海道談話会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法によるリポクオリティの可視化
3. 学会等名 CVMW2015 (Cardiovascular and Metabolic Week 2015)（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Single cell lipidomics approach for diseases
3. 学会等名 Biochemistry and Molecular Biology 2015 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 イメージングMSとマトリックス効果
3. 学会等名 第7回LC/MSワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡の世界
3. 学会等名 第56回日本組織細胞化学会 総会・学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 リボクオリティの可視化
3. 学会等名 第9回メタボロームシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Mitsutoshi Setou
2. 発表標題 Three-Dimensional Image of Cleavage Bodies in Nuclei Is Configured Using Gas Cluster Ion Beam with Time-of-Flight Secondary Ion Mass Spectrometry
3. 学会等名 IV International Conference on Analytical Proteomics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 質量顕微鏡法による組織細胞化学
3. 学会等名 第40回組織細胞化学講習会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 健康管理のためのバイオイメーjing計測の現状と課題
3. 学会等名 京都バイオ計測センターシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 網羅的脂質解析を用いた抗癌剤感受性機構の解析
3. 学会等名 機器分析ユーザーズフォーラム2015 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 瀬藤光利
2. 発表標題 網羅的脂質解析を用いた抗癌剤感受性機構の解析
3. 学会等名 機器分析ユーズフォーラム2015 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 河合喬文、宮田治彦、中西広樹、坂田宗平、有馬大貴、宮脇奈那、大河内善史、渡辺雅彦、崎村建司、佐々木雄彦、伊川正人、岡村康司
2. 発表標題 マウス精子における電位依存性ホスファターゼの機能
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川鍋 陽、神野 有香、坂田 宗平、岡村康司
2. 発表標題 膜脂質と相互作用する可能性のある騒動領域による電位依存性ホスファターゼVSPとPTENの機能制御
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡村康司、川鍋陽、坂田宗平、筒井秀和、中川敦史、成田宏隆、鷹野優、神取秀樹
2. 発表標題 電位依存性ホスファターゼVSPの構造基盤の解明
3. 学会等名 ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端の基盤技術 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 How is VSP 's enzyme activity activated by intrinsic voltage sensor?
3. 学会等名 RECI V 5th Spanish Ion Channel Network Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Molecular mechanisms of voltage sensing phosphatase, VSP
3. 学会等名 岡崎総合バイオサイエンスセンター サマースクール2015 "Development of Biosensing Research" (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Okamura
2. 発表標題 Determinants of activation rate of voltage-gated
3. 学会等名 TMMU Neuroscience Symposium : Ion Channels, Third Military Medical University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岡村康司
2. 発表標題 最小イオンチャネルHv1/VSOPによる貪食細胞の活性酸素産生の多重制御
3. 学会等名 日本バイオイメージング学会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Akira Kawanabe, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Mutation of a hydrophobic residue in S4 enhances the difference between monomeric and dimeric voltage-gated proton channels
3. 学会等名 第53回日本生物物理学会大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 河合 篤文、大河内 善史、井村 誉史雄、崎村 建司、小泉 修一、岡村 康司
2. 発表標題 電位依存性プロトンチャネルによるミクログリア活性酸素産生の制御
3. 学会等名 第38回日本神経科学大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大河内善史、岡村康司
2. 発表標題 好中球の走化性における電位依存性プロトンチャネルの役割
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 筒井秀和、神野有香、坂田宗平、岡村康司
2. 発表標題 非天然アミノ酸Anapで検出された電位センサーの動き
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有馬大貴、筒井秀和、竹下浩平、中川敦史、坂本恵香、吉田学、岡村康司
2. 発表標題 CatSperの電位センサードメインはカルシウム透過性を持つ
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Adisorn Ratanayota, Takafumi Kawai, Yasushi Okamura
2. 発表標題 Characterization of voltage-gated proton channel in zebrafish
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroyuki Arima, Hidekazu Tsutsui, Kohei Takeshita, Atsushi Nakagawa, Ayako Sakamoto, Manabu Yoshida and Yasushi Okamura
2. 発表標題 CatSper has a calcium-permeable voltage sensor domain.
3. 学会等名 The Biophysical Society 60th Annual Meeting
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 有馬大貴、筒井秀和、岡村康司
2. 発表標題 カルシウムイオン透過性を持つ電位センサードメインの機能解析
3. 学会等名 第108回近畿生理談話会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 有馬大貴、筒井秀和、岡村康司
2. 発表標題 カルシウムイオン透過性を持つ電位センサードメインの機能解析
3. 学会等名 生理研研究会 ” 膜システムの機能的・構造的統合 ” ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大崎雄樹、程晶磊、川合毅、藤本豊士
2. 発表標題 核内に存在する脂肪滴の意義
3. 学会等名 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会 ( 招待講演 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 辻琢磨
2. 発表標題 リポファジー～マイクロオートファジーによる脂肪滴分解～
3. 学会等名 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Electron Microscopy to observe the nano-scale distribution of membrane lipids
3. 学会等名 The 7th Asia-Pacific Congress of Anatomy ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 今井則博, 伊藤隆徳, 安田諭, 川口彩, 加藤幸一郎, 新家卓郎, 阿知波宏一, 石津洋二, 葛谷貞二, 本多隆, 林和彦, 石上雅敏, 廣岡芳樹, 石川哲也, 藤本豊士, 後藤秀実
2. 発表標題 肝臓特異的UBXD8 ノックアウトはNASHモデルにおける線維化形成を促進する
3. 学会等名 第41回日本肝臓学会西部会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大崎雄樹, 程晶磊, 川合毅, 藤本豊士
2. 発表標題 核質内脂肪滴とPML
3. 学会等名 BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会合同大会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 藤本豊士
2. 発表標題 急速凍結・凍結割断レプリカ電顕法による膜脂質解析
3. 学会等名 BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会合同大会) (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Norihiko Imai, Yoji Ishizu, Teiji Kuzuya, Takashi Honda, Kazuhiko Hayashi, Masatoshi Ishigami, Yoshiki Hirooka, Toyoshi Fujimoto, Hidemi Goto
2. 発表標題 Hepatocyte-specific depletion of UBXD8 accelerates fibrosis in a mouse non-alcoholic steatohepatitis model
3. 学会等名 The Liver Meeting 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大崎雄樹、程晶磊、川合毅、藤本豊士
2. 発表標題 核内における脂肪滴形成メカニズム
3. 学会等名 第56回日本組織細胞化学会総会・学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Toyoshi Fujimoto
2. 発表標題 Looking at the nano-level membrane lipid distribution by electron microscopy
3. 学会等名 The 12th Multinational Congress on Microscopy (MCM2015) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 辻琢磨
2. 発表標題 出芽酵母リポファジーにおける膜脂質動態に関する研究
3. 学会等名 第67回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大崎雄樹、程晶磊、川合毅、藤本豊士
2. 発表標題 核内脂肪滴の脂質代謝への寄与
3. 学会等名 第67回日本細胞生物学会大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kobayashi T, Ohshima D, Toyama-Sorimachi N.
2. 発表標題 The Histidine transporter SLC15A4 regulates allergic responses by tuning the endo/lysosomal condition of mast cells.
3. 学会等名 第 4 4 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Machida A, Kobayashi T, Toyama-Sorimachi N.
2. 発表標題 A possible involvement of endo-exocytosis coupling machinery in granule-dependent NK cytotoxicity.
3. 学会等名 第 4 4 回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yutaka Handa, Noriko Toyama-Sorimachi
2. 発表標題 Role of inhibitory receptor Ly49Q on SCV formation and inflammatory response triggered by Salmonella
3. 学会等名 第 8 9 回 日本細菌学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yutaka Handa, Noriko Toyama-Sorimachi
2. 発表標題 A cis-interaction MHC class I receptor, Ly49Q mediates macropinocytic uptake of extracellular antigens
3. 学会等名 第 4 4 回 日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Noriko Toyama-Sorimachi, Yutaka Handa
2. 発表標題 MHC class I and its cis-interacting receptor shape GPCR signaling platform and orchestrate neutrophil chemotaxis
3. 学会等名 第44回 日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 半田 浩、反町 典子
2. 発表標題 サルモネラ感染における抑制性レセプターLy49Qの機構解析
3. 学会等名 日本細菌学会関東支部インターラボセミナー（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Y. Ishii, M. Liu, K. Saeki, K. Kabashima, T. Yokomizo
2. 発表標題 Roles of leukotriene B4 receptor type 2 in skin barrier function and wound healing
3. 学会等名 Keystone Symposium, Immunity in Skin Development, Homeostasis and Disease (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 重松美沙子, 古賀友紹, 佐伯和子, 奥野利明, 横溝岳彦
2. 発表標題 Pneumolysin誘導性急性肺傷害におけるBLT2の肺保護作用
3. 学会等名 第12回東京呼吸器リサーチフォーラム 最優秀発表賞
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 市木貴子, 古賀友紹, 奥野利明, 佐伯和子, 阪口政清, 山本靖彦, 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4第一受容体BLT1とRAGEは機能的に相互作用する
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩本伶, 古賀友紹, 奥野利明, 松田彰, 村上晶, 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4第二受容体(BLT2)は角膜創傷治癒を促進する
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 古賀友紹, 奥野利明, 佐伯和子, 中村衣里, 多田昇弘, 横溝岳彦
2. 発表標題 CRISPR/Cas9によるロイコトリエンA4水解酵素欠損マウスの作製
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田恒基, 佐々木文之, 上野あゆみ, 佐伯和子, 奥野利明, 古賀友紹, 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4第一受容体(BLT1)とFLAGタグに対するマウス単クローン抗体のヒトキメラ化
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐伯和子, 石井由美子, 横溝岳彦
2. 発表標題 上皮バリア機能維持における12-HHT受容体BLT2の役割
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 重松美沙子, 古賀友紹, 佐伯和子, 奥野利明, 外須美夫, 横溝岳彦
2. 発表標題 ロイコトリエンB4第二受容体BLT2は急性肺傷害時に肺保護作用を発揮する
3. 学会等名 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岩本怜, 古賀友紹, 奥野利明, 村上晶, 横溝岳彦, 松田彰
2. 発表標題 角膜損傷の新規治療薬としての脂質メディエーターの可能性
3. 学会等名 第35回日本眼薬理学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 横溝岳彦
2. 発表標題 生理活性脂質受容体BLT1とBLT2: 眼疾患治療応用の可能性
3. 学会等名 第35回日本眼薬理学会 特別講演(招待講演)
4. 発表年 2015年

1 . 発表者名 M. Shigematsu, T. Koga, K. Saeki, T. Okuno, S. Hoka, T. Yokomizo
2 . 発表標題 BLT2 protects against mouse acute lung injury caused by a pneumococcal toxin pneumolysin
3 . 学会等名 14th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 M. Asahara, N. Ito, T. Yokomizo, M. Nakamura, T. Shimizu, Y. Yamada
2 . 発表標題 The absence of the leukotriene B4 receptor BLT1 attenuates peripheral inflammation and spinal nociceptive processing following intraplantar formalin injury
3 . 学会等名 14th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 T. Yokomizo
2 . 発表標題 Distinct roles of two leukotriene B4 receptors
3 . 学会等名 14th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1 . 発表者名 M. Liu, K. Saeki, T. Okuno, T. Koga, T. Yokomizo
2 . 発表標題 Crucial role of the 12-HHT receptor BLT2 in epidermal wound healing
3 . 学会等名 14th International Conference on Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases ( 国際学会 )
4 . 発表年 2015年

1. 発表者名 Sugimoto Y, Tsuchiya S, Inazumi T, Narumiya S
2. 発表標題 Roles of prostaglandin E2 in acute inflammation of skin
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Iwasaki R, Tsuge K, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostanoid receptor signaling is involved in vasculogenesis during early development of zebrafish
3. 学会等名 The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 告恭史郎, 岩崎亮, 岸本幸一朗, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュにおけるプロスタノイド受容体の機能解析
3. 学会等名 第14回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム2015
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Inazumi T, Tsuchiya S, Narumiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostaglandin E2 contributes lipid homeostasis in adipose tissue
3. 学会等名 International Symposium on Chronic Inflammatory Diseases, Kumamoto (ISCIDK2015) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Iwasaki R, Tsuge K, Inazumi T, Kawahara A, Tsuchiya S, Sugimoto Y
2. 発表標題 Prostanoid receptor signaling is involved in vasculogenesis during early developmental stage of zebrafish
3. 学会等名 International Symposium on Chronic Inflammatory Diseases, Kumamoto (ISCIDK2015) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンの炎症作用:生理と病態を繋ぐもの
3. 学会等名 第22回日本血液代替物学会年次大会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンE2による皮膚炎症惹起の分子機構
3. 学会等名 第19回日本ヒスタミン学会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 第一世代の脂質メディエーター・プロスタグランジンの生理病態作用
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小野明日香, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 食道扁平上皮癌におけるプロスタノイドの機能解明
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 橋本美穂, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 堀越裕佳, 竹尾透, 中瀧直己, 杉本幸彦
2. 発表標題 着床に關与するプロスタグランジン受容体の解析
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 村上里穂, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジン I2によるマスト細胞応答の制御
3. 学会等名 第37回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 岸本幸一朗, 告恭史郎, 岩崎亮, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 ゼブラフィッシュ初期発生におけるプロスタグランジン I2受容体の機能探索
3. 学会等名 第32回日本薬学会九州支部大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 平川昌樹, 北條寛典, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 オス特有の脳構造構築におけるプロスタグランジンE2-EP4受容体の役割
3. 学会等名 第32回日本薬学会九州支部大会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 土屋創健, 岩崎亮, 告恭史郎, 杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生におけるプロスタグランジン受容体の新規機能: モデル生物としてゼブラフィッシュを用いた解析から
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 稲住知明, 土屋創健, 猿渡淳二, 中川和子, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンEP4受容体による脂肪細胞機能の調節
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大窪喜丸, 馬驍彦, 稲住知明, 杉本聡子, 土屋創健, 堀越裕佳, 竹尾透, 中瀧直己, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 プロスタグランジンは複数の受容体を介して着床に必須の役割を果たす
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 渡辺真由帆, 森本和志, 土屋創健, 成宮周, 杉本幸彦
2. 発表標題 IL-33誘導性マスト細胞応答におけるプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 第88回日本生化学会大会 (BMB2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Toyoda Y, Morimoto K, Suno R, Sekiguchi Y, Yamashita K, Hirata K, Yasuda S, Asada H, Nakane T, Shiimura Y, Nakagita T, Inazumi T, Tsuge K, Kajiwara Y, Shimizu T, Urushibata Y, Yoshida S, Kuribara T, Hosoya T, Kinoshita M, Sugimoto Y, Nomura N, Murata T, Takayama K, Yamamoto M, Narumiya S, Iwata S, Kobayashi T
2. 発表標題 Towards structure determination of the human prostanoid receptor bound to the antibody
3. 学会等名 GPCR Workshop 2015 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 杉本幸彦
2. 発表標題 旧くて新しいプロスタグランジンの生理機能
3. 学会等名 第165回東京脂質談話会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岩崎亮, 告恭史郎, 岸本幸一朗, 川原敦雄, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 初期発生の血管形成におけるゼブラフィッシュ・プロスタノイド受容体の役割
3. 学会等名 日本薬学会第136年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宮本卓馬, 鈴木佑治, 村上里穂, 渡辺真由帆, 森本和志, 稲住知明, 土屋創健, 杉本幸彦
2. 発表標題 IL-33誘導性マスト細胞応答におけるプロスタサイクリン受容体IPの役割
3. 学会等名 日本薬学会第136年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yutaka Yatomi
2. 発表標題 Autotaxin and lysophosphatidic acid as clinical biomarkers
3. 学会等名 14th International Conference of Bioactive Lipids in Cancer, Inflammation and Related Diseases (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 蔵野 信, 池田 均, 矢富 裕
2. 発表標題 CETPは, リポ蛋白におけるアポ蛋白M, スフィンゴシン1-リン酸の分布を変化させる
3. 学会等名 第55回 日本臨床化学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 蔵野 信
2. 発表標題 アポ蛋白Mを通じたスフィンゴシン1-リン酸学の構築
3. 学会等名 第55回 日本臨床化学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 蔵野 信, 清水 知, 矢富 裕
2. 発表標題 糖尿病性腎症におけるアポ蛋白Mの役割
3. 学会等名 第61回 日本臨床検査医学会学術集会
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計24件

1. 著者名 佐々木雄彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 8
3. 書名 脂質解析ハンドブック	

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 6
3. 書名 脂質解析ハンドブック	

1. 著者名 蔵野 信, 矢富 裕	4. 発行年 2019年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 9
3. 書名 脂質解析ハンドブック	

1. 著者名 田口友彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 9
3. 書名 The Lipid	

1. 著者名 田口友彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 5
3. 書名 The Lipid	

1. 著者名 西野 敦雄、岡村 康司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本生化学学会	5. 総ページ数 8
3. 書名 生化学	

1. 著者名 Okamura Y.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 24
3. 書名 Reference Module in Life Sciences, "Voltage-gated proton channels"	

1. 著者名 河合喬文、岡村康司	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカル ドゥ	5. 総ページ数 2
3. 書名 脳内環境事典, “ 電位依存性プロトンチャネル ”	

1. 著者名 池田和貴、有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 6
3. 書名 今すぐ始めるメタゲノム解析実験プロトコール	

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 9
3. 書名 そうだったんだ脂質異常症	

1. 著者名 Makoto Arita	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 8
3. 書名 Chronic Inflammation, Mechanisms and Regulation (Miyasaka M, Takatsu K, eds.)	

1. 著者名 瀬藤光利	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本化学会	5. 総ページ数 2
3. 書名 先端計測 研究を支える機器開発	

1. 著者名 Y. Okamura	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 33
3. 書名 Comprehensive Biophysics	

1. 著者名 河合喬文、岡村康司	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルDo	5. 総ページ数 2
3. 書名 脳内環境事典	

1. 著者名 磯部洋輔、池田和貴、有田誠	4. 発行年 2016年
2. 出版社 NTS	5. 総ページ数 6
3. 書名 ヒトマイクロバイオーム研究最前線	

1. 著者名 有田誠	4. 発行年 2015年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 3
3. 書名 サイトカイン・増殖因子キーワード事典（宮園浩平，秋山徹，宮島篤，宮澤恵二編）	

1. 著者名 Yosuke Isobe, Makoto Arita	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 8
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators: Current Reviews and Protocols	

1. 著者名 佐々木雄彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 エル・アイ・シー社	5. 総ページ数 2
3. 書名 脂質代謝異常と関連疾患	

1. 著者名 高須賀俊輔、佐々木雄彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 エル・アイ・シー社	5. 総ページ数 11
3. 書名 脂質代謝異常と関連疾患	

1. 著者名 村上誠、横溝岳彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 222
3. 書名 脂質疾患学	

1. 著者名 Makoto Murakami, Takehiko Yokomizo	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 426
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators: Current Reviews and Protocols	

1. 著者名 北條寛典, 土屋創健, 杉本幸彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 エル・アイ・シー	5. 総ページ数 13
3. 書名 疾患モデルの作製と利用：脂質代謝異常と関連疾患・下巻（尾池雄一，佐々木雄彦，村上誠，矢作直也編）	

1. 著者名 杉本幸彦	4. 発行年 2015年
2. 出版社 羊土社	5. 総ページ数 3
3. 書名 サイトカイン・増殖因子キーワード事典（宮園浩平，秋山徹，宮島篤，宮澤恵二編）	

1. 著者名 Inazumi T, Sugimoto Y	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 10
3. 書名 Bioactive Lipid Mediators, Current Reviews and Protocols	

〔出願〕 計6件

産業財産権の名称 慢性特発性蕁麻疹の重症度マーカー、及びその使用	発明者 村上誠	権利者 日本大学・東京大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-101289	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 ミトコンドリア機能改善剤	発明者 伊藤孝、瀬藤光利、 浅見幸夫、尾崎悟、 溝口智奈弥	権利者 浜松医科大学、 株式会社明治
産業財産権の種類、番号 特許、-	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 分析用シート	発明者 瀬藤光利、山崎文 義、中嶋裕子	権利者 浜松医科大学
産業財産権の種類、番号 特許、-	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 新規リン脂質およびその利用ならびにリン脂質分離測定法の開発	発明者 佐々木雄彦ほか6名	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2018-528909	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 ホスホイノシタイド分離測定法の開発	発明者 中西広樹、佐々木雄 彦、佐々木純子、江 口賢史、中西貴代	権利者 秋田大学、Akita Lipid Technologies
産業財産権の種類、番号 特許、特願2016-144177	出願年 2016年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 新規リン脂質およびその利用	発明者 佐々木雄彦、中西広 樹、石川将己、上野 紀子、江口賢史、	権利者 秋田大学、Akita Lipid Technologies
産業財産権の種類、番号 特許、特願2017-51354	出願年 2017年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計2件

産業財産権の名称 質量分析データ処理方法及び装置	発明者 瀬藤光利、梶原茂樹、 小河潔、涌井昌俊、松 浦正明、牛嶋大	権利者 浜松医科大、島 津製作所、慶 應、癌研
産業財産権の種類、番号 特許、10012572	取得年 2018年	国内・外国の別 外国

産業財産権の名称 質量分析データ処理方法及び装置	発明者 涌井昌俊（慶応）、 瀬藤光利、梶原茂樹 （島津）、小河潔	権利者 公益財団法人が ん研究会、慶応 義塾大学、浜松
産業財産権の種類、番号 特許、第6207036号	取得年 2017年	国内・外国の別 国内

〔その他〕

リポクオリティ領域HP  
<https://sites.google.com/site/lipoqualityjpn/>  
 理研IMSメタボローム研究チームHP  
[http://www.ims.riken.jp/labo/53/index\\_j.html](http://www.ims.riken.jp/labo/53/index_j.html)  
 慶應義塾大学薬学部代謝生理化学講座HP  
<http://www.pha.keio.ac.jp/research/pcm/index.html>  
 横浜市大大学院生命医科学研究科代謝エビゲノム科学HP  
<http://www-mls.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp/lab/cme.html>  
 順天堂大学医学部生化学第一講座HP  
[http://plaza.umin.ac.jp/j\\_bio/](http://plaza.umin.ac.jp/j_bio/)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	有田 正規  (Arita Masanori)  (10356389)	国立遺伝学研究所・生命情報研究センター・教授   (63801)	
研究分担者	瀬藤 光利  (Setou Mitsutoshi)  (20302664)	浜松医科大学・国際マスメーキングセンター・センター長   (13802)	
研究分担者	反町 典子  (Sorimachi Noriko)  (30217468)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・その他部局等・分子炎症制御プロジェクト長   (82610)	
研究分担者	藤本 豊士  (Fujimoto Toyoshi)  (50115929)	順天堂大学・医学(系)研究科(研究院)・特任教授   (32620)	
研究分担者	佐々木 雄彦  (Sasaki Takehiko)  (50333365)	東京医科歯科大学・難治疾患研究所・教授   (12602)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	矢富 裕 (Yatomi Yutaka) (60200523)	東京大学・医学部附属病院・教授  (12601)	
研究分担者	横溝 岳彦 (Yokomizo Takehiko) (60302840)	順天堂大学・医学(系)研究科(研究院)・教授  (32620)	
研究分担者	岡村 康司 (Okamura Yasushi) (80201987)	大阪大学・医学系研究科・教授  (14401)	
研究分担者	杉本 幸彦 (Sugimoto Yukihiro) (80243038)	熊本大学・大学院生命科学研究部(薬)・教授  (17401)	